
中野市のまちづくりに関するアンケート調査報告書

(令和3年9月実施)

令和4年3月

中野市 建設水道部 都市計画課

《 目 次 》

| | |
|---|----|
| 1 調査の概要 | |
| 1-1 調査目的 | 1 |
| 1-2 調査概要 | 1 |
| 1-3 回収結果 | 1 |
| 1-4 集計上の留意点 | 1 |
| 2 アンケート調査結果 | |
| 2-1 回答者属性【質問1～5】 | 3 |
| 2-2 現在のお住まい周辺の住みやすさなどについて【質問6～7】 | 4 |
| 2-3 将来の住み替え(転居)に関する意向について【質問8～10】 | 26 |
| 2-4 あなたの日常生活について【質問11～12】 | 37 |
| 2-5 日常生活を支える施設のあり方について【質問13～14】 | 41 |
| 2-6 安心・安全なまちづくりについて【質問15～16】 | 51 |
| 【資料編】 | |
| ■ 依頼文 | 59 |
| ■ 調査票 | 61 |

1 調査の概要

1-1 調査目的

まちづくり基本計画の策定にあたり、お住まい周辺の住みやすさの評価や将来の住み替え（転居）に関する意向、日常生活を支える施設のあり方、安心・安全なまちづくりなどに関する住民意向を把握し、計画に反映させることを目的として、アンケート調査を実施しました。

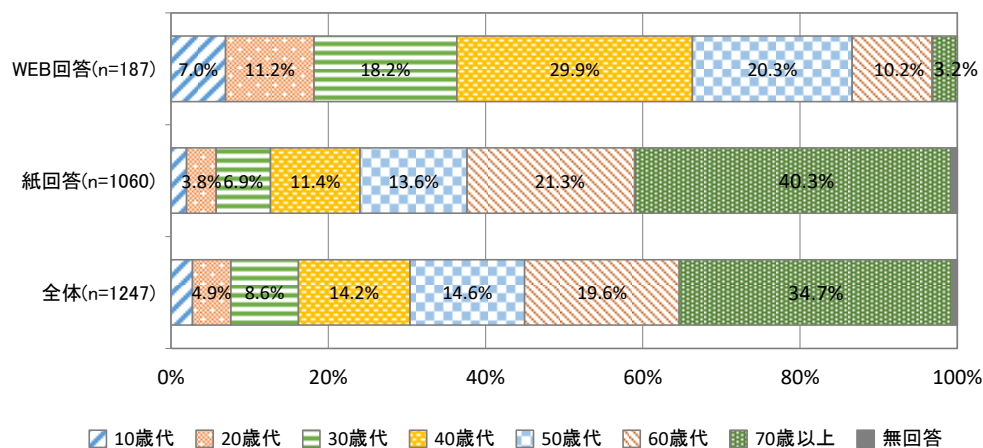
1-2 調査概要

| | |
|----------|--|
| 調査対象者 | 中野市内在住の16歳以上の方 3,000人 |
| 対象者の抽出方法 | 人口構成比に基づき、地区別・性別・年齢別のサンプル数を算定し、その中から無作為抽出 |
| 配布・回収方法 | 配布：郵送による配布 回収：①郵送による回答（回収） ②インターネットによる回答（回収） ※インターネットによる回答は、「ながの電子申請サービス」を活用。 |
| 実施時期 | 配布：令和3年9月17日（金） 回収期限：令和3年9月28日（火） ※令和3年10月末までの回収分を集計対象とする。 |

1-3 回収結果

| | |
|-----|--|
| 配布数 | 3,000件 |
| 回収数 | 1,247件（回収率：41.6%） ※回収方法による内訳 ・郵送回収：1,060件（85.0%） ・Web回答：187件（15.0%） |

《回収方法による年齢別の内訳》

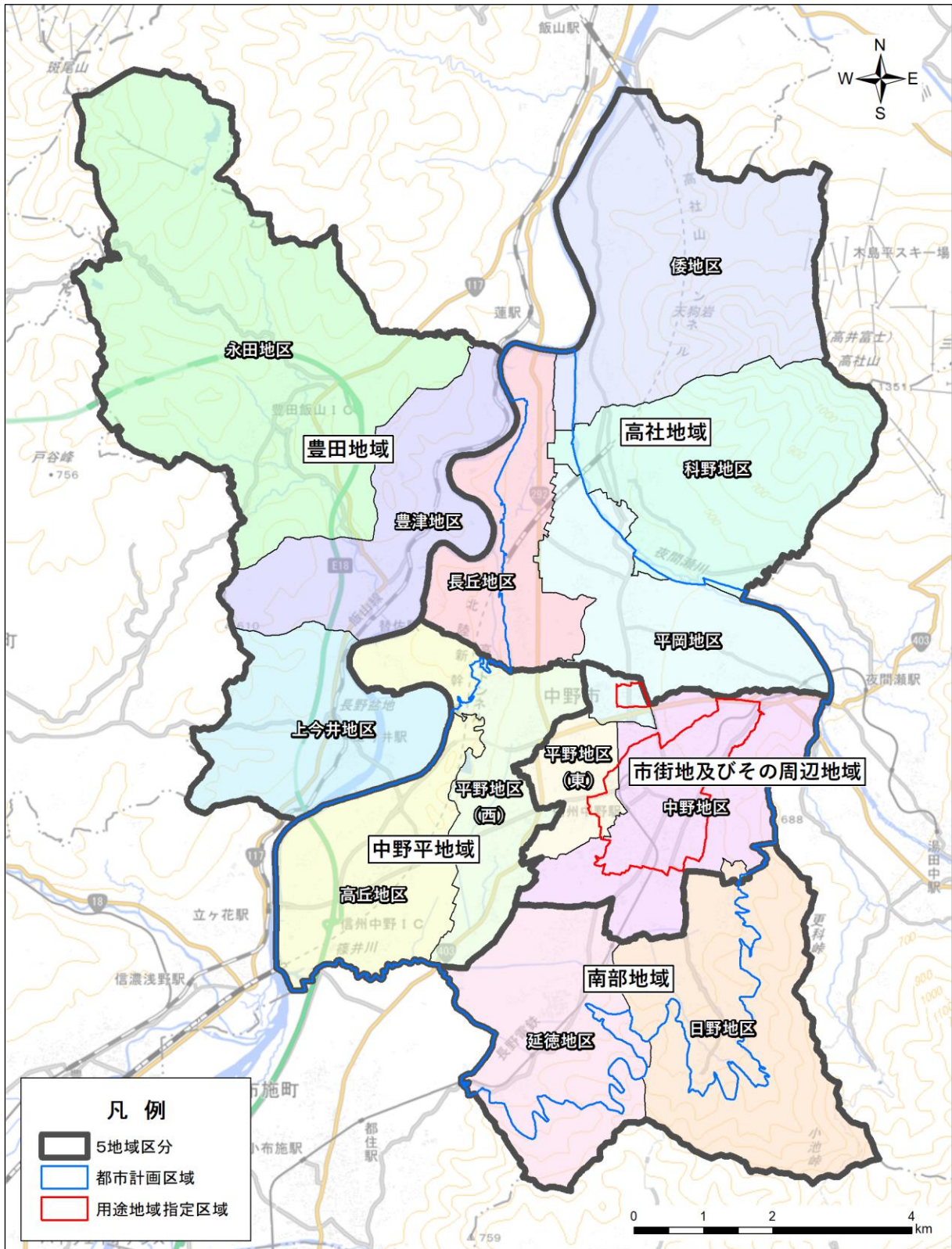


1-4 集計上の留意点

- 回答率（割合％）は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表記しました。このため、合計が100%にならない場合があります。
- グラフ中の「n=〇〇」は、有効回答数を示します。
- クロス集計結果については、特長のあった主な項目を抜粋し、掲載しています。

- クロス集計における「居住地域」の単位については、まちづくり基本計画における地域別構想などの検討の際の基礎資料とするため、5地域単位（市街地及びその周辺地域、南部地域、中野平地域、高社地域、豊田地域）で集計を行いました。

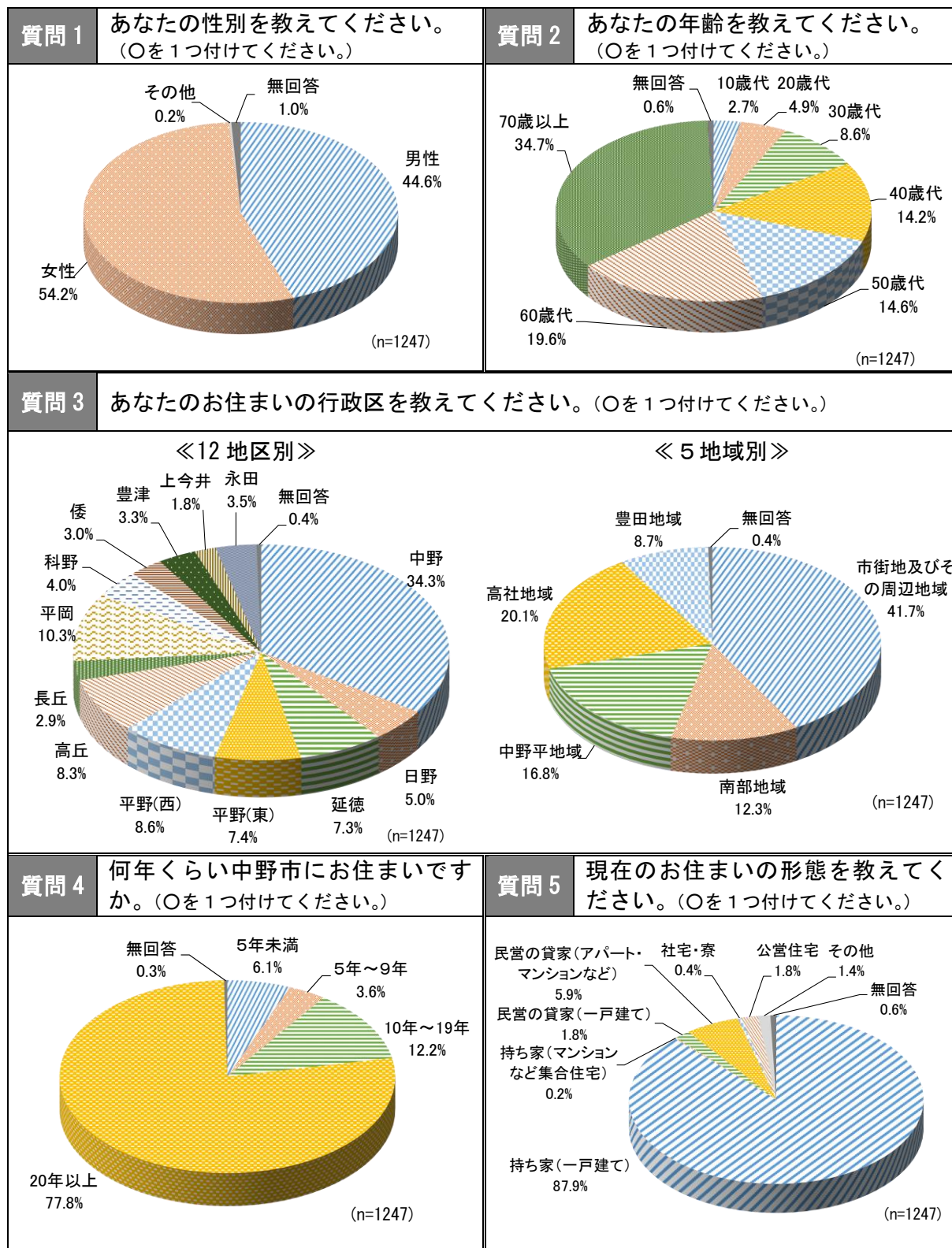
【居住地域の設定：5地域】



2 アンケート調査結果

2-1 回答者属性【質問1～5】

アンケートに回答された方の属性は、以下のとおりです。



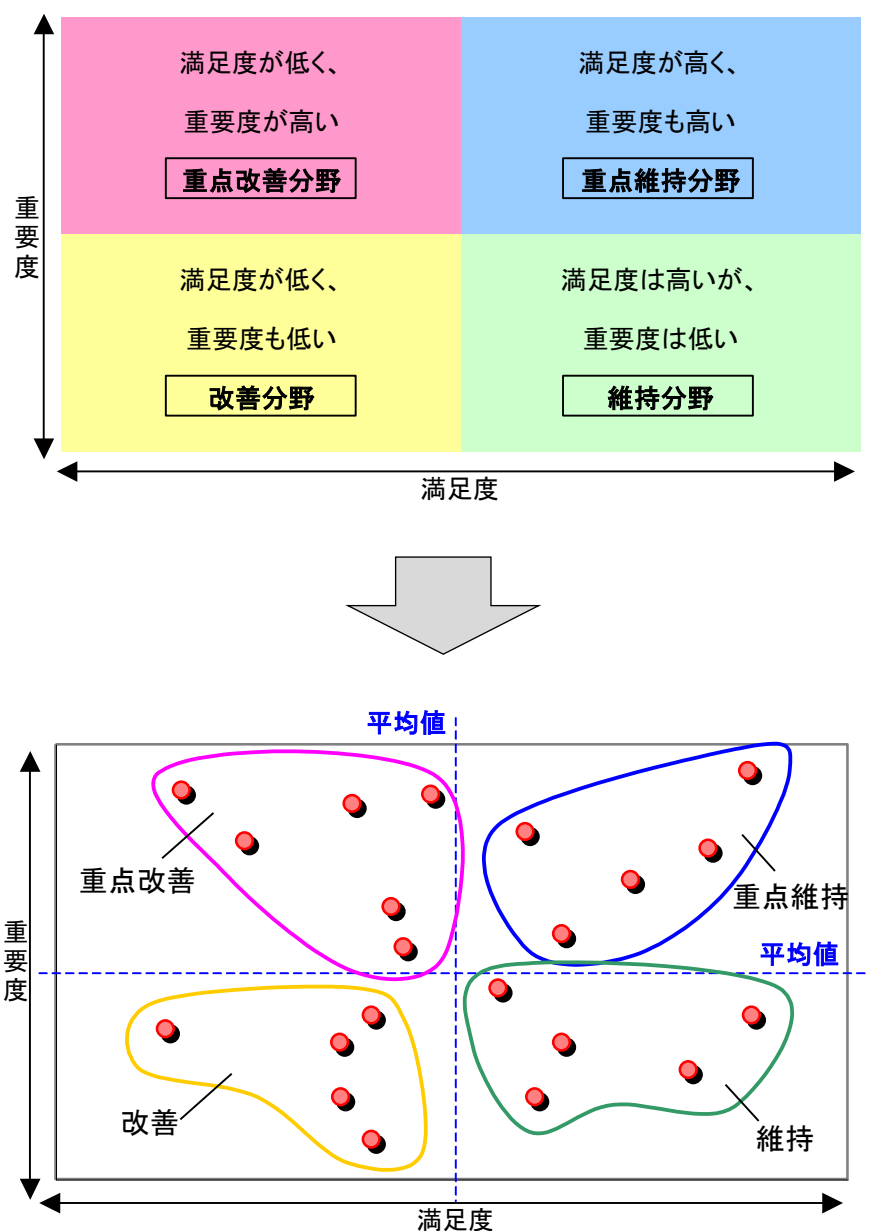
2-2 現在のお住まい周辺の住みやすさなどについて【質問6~7】

質問6 あなたのお住まい周辺における「住みやすさ」について、あなたがどの程度満足しているか（満足度）、どの程度重要と考えているか（重要度）を教えてください。（○を満足度・重要度に1つずつ付けてください。）

《住みやすさに関する評価の方法：ポートフォリオ分析》

住みやすさに関する評価を行うため、満足度と重要度の評価点（加重平均値）を算定し、下図のような散布図を作成します。

この整理によって、「住みやすさ」に関して「① 重点改善」「② 重点維持」「③ 改善」「④ 維持」すべき分野の傾向を見ることができます。



①【質問6】単純集計

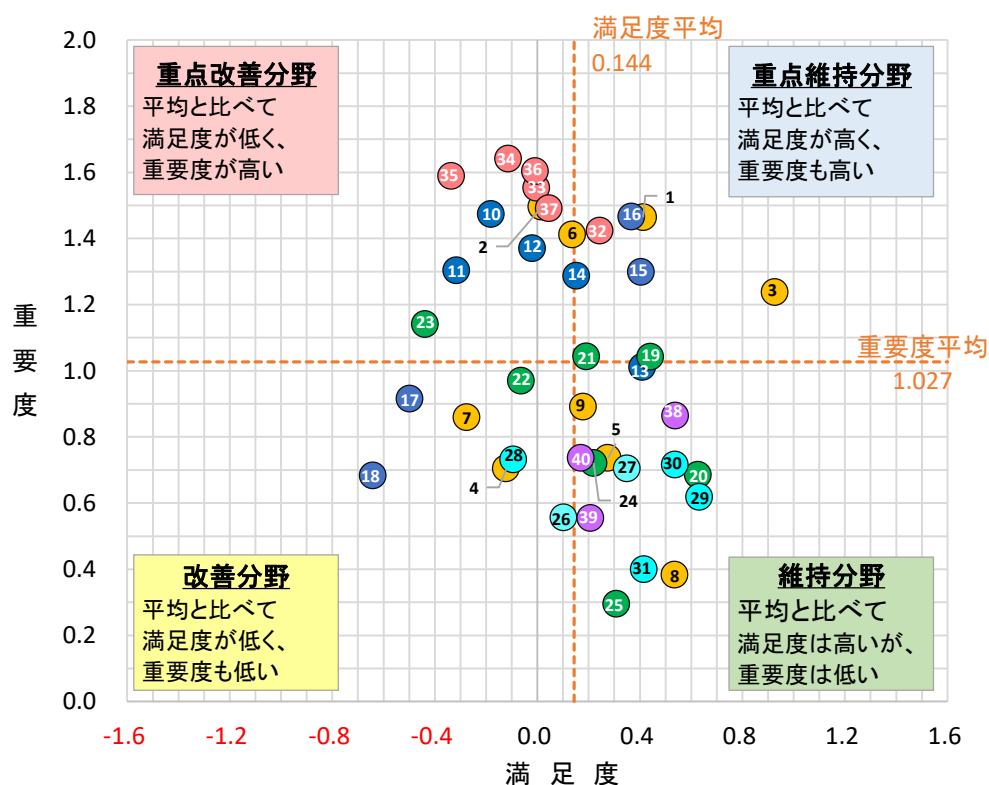
全40項目の内訳をみると、重点維持分野（平均値と比べて満足度・重要度ともに高い）項目は、8項目、重点改善分野（平均値と比べて満足度が低く、重要度が高い）が11項目、維持分野（平均値と比べて満足度が高く、重要度が低い）が14項目、改善分野（平均値と比べて満足度・重要度ともに低い）が7項目となっています。

このうち、特に優先度が高い分野である「重点改善分野」の内訳をみると、「安全・安心」が5項目、「道路・交通」が3項目、「土地利用・居住環境」が2項目、「公園・緑地」が1項目となっています。

施策の重要度をみると、全ての項目が「0」を上回っており、中でも、「③土砂災害・風水害に対する安全性」、「⑩避難場所・避難路のわかりやすさ」、「⑤雪害に対する安全性」、「③地震災害に対する安全性」のいずれも「安全・安心」に関する項目が上位を占めています。

施策の満足度を見ると、「③日照や静かさのある環境」、「⑨田園景観の美しさ」、「⑩寺社の境内地などの森の保全」が上位となっています。一方、「⑩バスの利用しやすさ」、「⑩鉄道の利用しやすさ」、「⑩身近にある子どもの遊び場の整備」は満足度が低い項目となっています。

【質問8：単純集計結果】



【住みやすさに関する満足度と重要度の評価点（加重平均値）】

| 設問項目 | 満足度 | 重要度 | 傾向 | |
|-------------------|----------------------------|---------------|--------------|--------|
| 土地利用・ 居住環境 | 1. 子ども・子育て世代の生活のしやすさ | 0.413 | 1.464 | 重点維持分野 |
| | 2. 高齢者・障がい者の生活のしやすさ | 0.017 | 1.495 | 重点改善分野 |
| | 3. 日照や静かさのある環境 | 0.927 | 1.237 | 重点維持分野 |
| | 4. 空き家・空き店舗の少なさ | -0.122 | 0.704 | 改善分野 |
| | 5. 近隣の建物の密集や老朽の程度 | 0.275 | 0.737 | 維持分野 |
| | 6. 近所での買い物の便利さ | 0.137 | 1.412 | 重点改善分野 |
| | 7. 市内の中心部での買い物の便利さ | -0.276 | 0.859 | 改善分野 |
| | 8. 工業団地の整備・工場などの立地状況 | 0.536 | 0.383 | 維持分野 |
| | 9. 優良な農地の保全 | 0.179 | 0.891 | 維持分野 |
| | 平均値(土地利用・居住環境) | 0.232 | 1.026 | |
| 道路・交通 | 10. 歩行者に対する安全性 | -0.180 | 1.474 | 重点改善分野 |
| | 11. 道路の通行のしやすさ（自転車・バイク） | -0.316 | 1.303 | 重点改善分野 |
| | 12. 道路の通行のしやすさ（自動車） | -0.020 | 1.370 | 重点改善分野 |
| | 13. 広域（市外）への行きやすさ | 0.409 | 1.011 | 維持分野 |
| | 14. 通勤・通学のしやすさ | 0.153 | 1.287 | 重点維持分野 |
| | 15. 買い物への行きやすさ | 0.404 | 1.298 | 重点維持分野 |
| | 16. 医療・福祉施設などへの行きやすさ | 0.368 | 1.466 | 重点維持分野 |
| | 17. 鉄道の利用しやすさ | -0.498 | 0.916 | 改善分野 |
| | 18. バスの利用しやすさ | -0.642 | 0.683 | 改善分野 |
| 平均値(道路・交通) | -0.033 | 1.202 | | |
| 公園・緑地 | 19. 森林など自然環境の保全 | 0.442 | 1.042 | 重点維持分野 |
| | 20. 寺社の境内地などの森の保全 | 0.627 | 0.685 | 維持分野 |
| | 21. 河川や湖など水辺空間の環境保全 | 0.192 | 1.042 | 重点維持分野 |
| | 22. スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備 | -0.063 | 0.969 | 改善分野 |
| | 23. 身近にある子どもの遊び場の整備 | -0.438 | 1.140 | 重点改善分野 |
| | 24. 道路や公共施設の敷地の緑化 | 0.220 | 0.721 | 維持分野 |
| | 25. 民間施設や工場の敷地の緑化 | 0.309 | 0.295 | 維持分野 |
| 平均値(公園・緑地) | 0.183 | 0.844 | | |
| 景観 | 26. 沿道や街並み、家並みの美しさ | 0.102 | 0.556 | 改善分野 |
| | 27. 水辺や眺望などの風景の美しさ | 0.350 | 0.704 | 維持分野 |
| | 28. 駅周辺や中心街の都市景観の美しさ | -0.093 | 0.731 | 改善分野 |
| | 29. 田園景観の美しさ | 0.632 | 0.618 | 維持分野 |
| | 30. 寺社や文化財など歴史的・文化的景観の保全状況 | 0.537 | 0.715 | 維持分野 |
| | 31. 看板やサインなど屋外広告物の規制 | 0.417 | 0.400 | 維持分野 |
| 平均値(景観) | 0.324 | 0.621 | | |
| 安全・安心 | 32. 火災・延焼に対する安全性 | 0.244 | 1.423 | 重点維持分野 |
| | 33. 地震災害に対する安全性 | -0.003 | 1.553 | 重点改善分野 |
| | 34. 土砂災害・風水害に対する安全性 | -0.113 | 1.641 | 重点改善分野 |
| | 35. 雪害に対する安全性 | -0.335 | 1.588 | 重点改善分野 |
| | 36. 避難場所・避難路の分かりやすさ | -0.008 | 1.603 | 重点改善分野 |
| | 37. まちの防犯対策 | 0.045 | 1.491 | 重点改善分野 |
| | 平均値(安全・安心) | -0.029 | 1.550 | |
| 市民参画等 | 38. ご近所付き合いの機会 | 0.538 | 0.864 | 維持分野 |
| | 39. まちづくりへの市民参画の機会 | 0.208 | 0.554 | 維持分野 |
| | 40. まちづくりに関する情報提供 | 0.170 | 0.736 | 維持分野 |
| | 平均値(市民参画等) | 0.309 | 0.719 | |
| 平均値(全体) | 0.144 | 1.027 | | |

満足度・重要度が平均値(全体)を上回る場合⇒赤

※評価点は、満足度及び重要度について、以下のように点数を付与して算出した。

| 選択肢 | 点数 |
|------------------|-----|
| 非常に満足 / 非常に重要 | 2点 |
| ほぼ満足 / やや重要 | 1点 |
| やや不満 / あまり重要ではない | -1点 |
| 不満 / 重要ではない | -2点 |

②【質問6】クロス集計：居住地域（市街地及びその周辺地域）

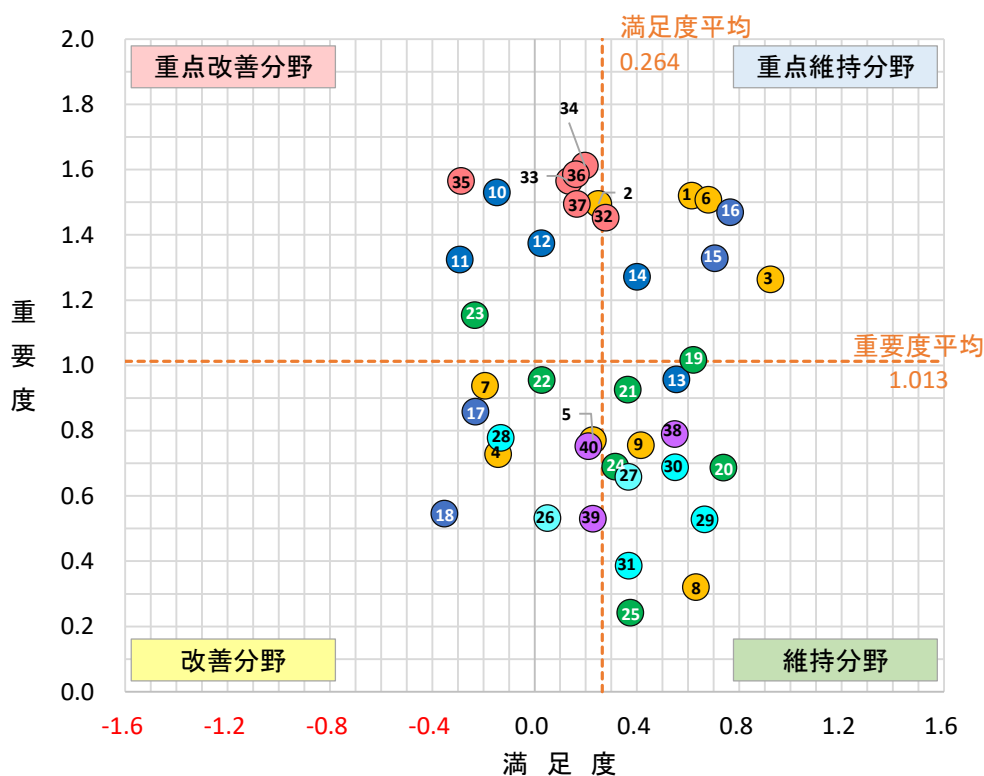
市街地及びその周辺地域は、満足度の平均が 0.264 であり、市全体の平均値 (0.144) を 0.12 ポイント上回っています。

全 40 項目の内訳をみると、重点維持分野（平均値と比べて満足度・重要度ともに高い）項目は、8 項目、重点改善分野（平均値と比べて満足度が低く、重要度が高い）が 10 項目、維持分野（平均値と比べて満足度が高く、重要度が低い）が 12 項目、改善分野（平均値と比べて満足度・重要度ともに低い）が 10 項目となっています。

「重点改善分野」の内訳では、「⑪道路の通行のしやすさ(自動車・バイク)」、「⑳雪害に対する安全性」、「㉓身近にある子どもの遊び場の整備」が特に満足度が低い項目となっています。

また、全体としては、「⑱バスの利用しやすさ」が最も満足度が低い項目となっていますが、重要度は平均値を下回っています。

【質問6：クロス集計結果（居住地域：市街地及びその周辺地域）】



【住みやすさに関する満足度と重要度の評価点（加重平均値）：市街地及びその周辺地域】

| | 設問項目 | 満足度 | 重要度 | 傾向 |
|-------------------|----------------------------|--------------|--------------|--------|
| 土地利用・ 居住環境 | 1. 子ども・子育て世代の生活のしやすさ | 0.616 | 1.520 | 重点維持分野 |
| | 2. 高齢者・障がい者の生活のしやすさ | 0.250 | 1.494 | 重点改善分野 |
| | 3. 日照や静かさのある環境 | 0.923 | 1.262 | 重点維持分野 |
| | 4. 空き家・空き店舗の少なさ | -0.142 | 0.727 | 改善分野 |
| | 5. 近隣の建物の密集や老朽の程度 | 0.229 | 0.771 | 改善分野 |
| | 6. 近所での買い物の便利さ | 0.680 | 1.507 | 重点維持分野 |
| | 7. 市内の中心部での買い物の便利さ | -0.192 | 0.936 | 改善分野 |
| | 8. 工業団地の整備・工場などの立地状況 | 0.631 | 0.320 | 維持分野 |
| | 9. 優良な農地の保全 | 0.416 | 0.755 | 維持分野 |
| | 平均値(土地利用・居住環境) | 0.380 | 1.038 | |
| 道路・交通 | 10. 歩行者に対する安全性 | -0.147 | 1.529 | 重点改善分野 |
| | 11. 道路の通行のしやすさ（自転車・バイク） | -0.292 | 1.323 | 重点改善分野 |
| | 12. 道路の通行のしやすさ（自動車） | 0.028 | 1.373 | 重点改善分野 |
| | 13. 広域（市外）への行きやすさ | 0.555 | 0.957 | 維持分野 |
| | 14. 通勤・通学のしやすさ | 0.401 | 1.270 | 重点維持分野 |
| | 15. 買い物への行きやすさ | 0.706 | 1.327 | 重点維持分野 |
| | 16. 医療・福祉施設などへの行きやすさ | 0.765 | 1.468 | 重点維持分野 |
| | 17. 鉄道の利用しやすさ | -0.231 | 0.857 | 改善分野 |
| | 18. バスの利用しやすさ | -0.352 | 0.545 | 改善分野 |
| | 平均値(道路・交通) | 0.163 | 1.185 | |
| 公園・緑地 | 19. 森林など自然環境の保全 | 0.622 | 1.016 | 重点維持分野 |
| | 20. 寺社の境内地などの森の保全 | 0.739 | 0.686 | 維持分野 |
| | 21. 河川や湖など水辺空間の環境保全 | 0.366 | 0.925 | 維持分野 |
| | 22. スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備 | 0.029 | 0.954 | 改善分野 |
| | 23. 身近にある子どもの遊び場の整備 | -0.233 | 1.153 | 重点改善分野 |
| | 24. 道路や公共施設の敷地の緑化 | 0.316 | 0.689 | 維持分野 |
| 25. 民間施設や工場の敷地の緑化 | 0.375 | 0.242 | 維持分野 | |
| | 平均値(公園・緑地) | 0.314 | 0.811 | |
| 景観 | 26. 沿道や街並み、家並みの美しさ | 0.051 | 0.531 | 改善分野 |
| | 27. 水辺や眺望などの風景の美しさ | 0.367 | 0.657 | 維持分野 |
| | 28. 駅周辺や中心街の都市景観の美しさ | -0.131 | 0.778 | 改善分野 |
| | 29. 田園景観の美しさ | 0.665 | 0.528 | 維持分野 |
| | 30. 寺社や文化財など歴史的・文化的景観の保全状況 | 0.551 | 0.687 | 維持分野 |
| | 31. 看板やサインなど屋外広告物の規制 | 0.370 | 0.385 | 維持分野 |
| | 平均値(景観) | 0.312 | 0.595 | |
| 安全・安心 | 32. 火災・延焼に対する安全性 | 0.279 | 1.452 | 重点維持分野 |
| | 33. 地震災害に対する安全性 | 0.136 | 1.564 | 重点改善分野 |
| | 34. 土砂災害・風水害に対する安全性 | 0.197 | 1.611 | 重点改善分野 |
| | 35. 雪害に対する安全性 | -0.287 | 1.564 | 重点改善分野 |
| | 36. 避難場所・避難路の分かりやすさ | 0.163 | 1.585 | 重点改善分野 |
| | 37. まちの防犯対策 | 0.167 | 1.494 | 重点改善分野 |
| | 平均値(安全・安心) | 0.108 | 1.545 | |
| 市民参画等 | 38. ご近所付き合いの機会 | 0.549 | 0.789 | 維持分野 |
| | 39. まちづくりへの市民参画の機会 | 0.229 | 0.529 | 改善分野 |
| | 40. まちづくりに関する情報提供 | 0.212 | 0.752 | 改善分野 |
| | 平均値(市民参画等) | 0.333 | 0.691 | |
| | 平均値(全体) | 0.264 | 1.013 | |

満足度・重要度が平均値(全体)を上回る場合⇒赤

③【質問6】クロス集計：居住地域（南部地域）

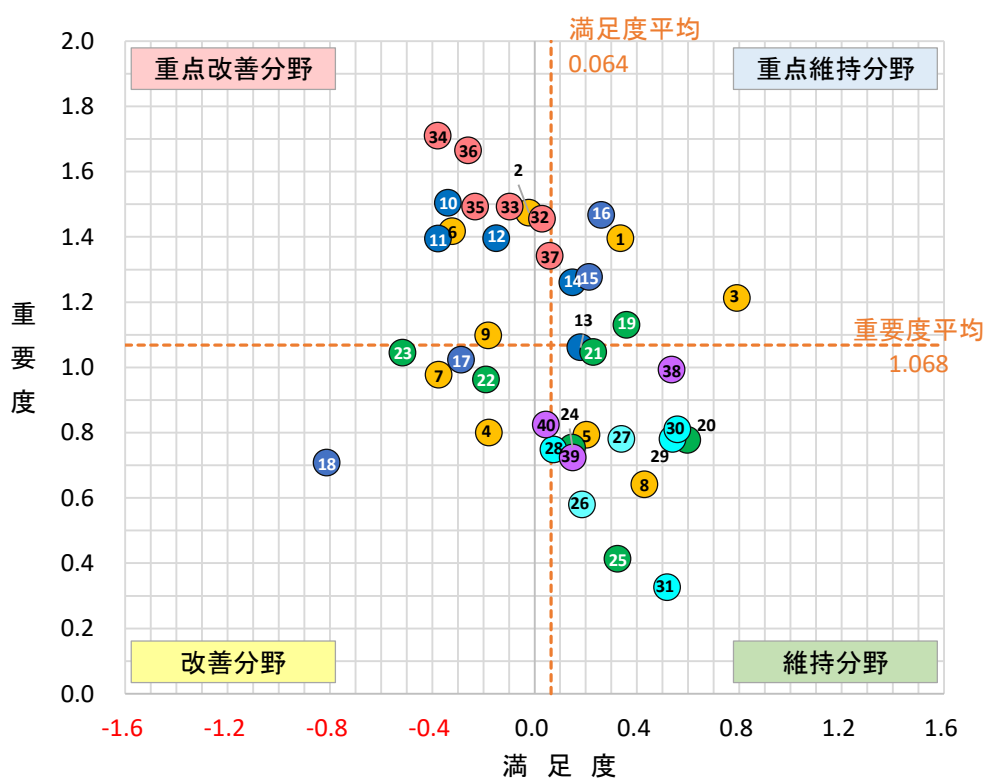
南部地域は、満足度の平均が 0.064 であり、市全体の平均値 (0.144) を 0.08 ポイント下回っています。

全 40 項目の内訳をみると、重点維持分野 (平均値と比べて満足度・重要度ともに高い) 項目は、6 項目、重点改善分野 (平均値と比べて満足度が低く、重要度が高い) が 12 項目、維持分野 (平均値と比べて満足度が高く、重要度が低い) が 15 項目、改善分野 (平均値と比べて満足度・重要度ともに低い) が 7 項目となっています。

「重点改善分野」の内訳では、「③④土砂災害・風水害に対する安全性」、「⑩道路の通行のしやすさ(自動車・バイク)」、「⑩歩行者に対する安全性」が特に満足度が低い項目となっています。

また、全体としては、「⑱バスの利用しやすさ」が最も満足度が低い項目となっていますが、重要度は平均値を下回っています。

【質問6：クロス集計結果（居住地域：南部地域）】



【住みやすさに関する満足度と重要度の評価点（加重平均値）：南部地域】

| | 設問項目 | 満足度 | 重要度 | 傾向 |
|-------------------|----------------------------|---------------|--------------|--------|
| 土地利用・ 居住環境 | 1. 子ども・子育て世代の生活のしやすさ | 0.336 | 1.395 | 重点維持分野 |
| | 2. 高齢者・障がい者の生活のしやすさ | -0.022 | 1.474 | 重点改善分野 |
| | 3. 日照や静かさのある環境 | 0.791 | 1.212 | 重点維持分野 |
| | 4. 空き家・空き店舗の少なさ | -0.178 | 0.800 | 改善分野 |
| | 5. 近隣の建物の密集や老朽の程度 | 0.204 | 0.792 | 維持分野 |
| | 6. 近所での買い物の便利さ | -0.321 | 1.417 | 重点改善分野 |
| | 7. 市内の中心部での買い物の便利さ | -0.374 | 0.977 | 改善分野 |
| | 8. 工業団地の整備・工場などの立地状況 | 0.430 | 0.641 | 維持分野 |
| | 9. 優良な農地の保全 | -0.180 | 1.098 | 重点改善分野 |
| | 平均値(土地利用・居住環境) | 0.073 | 1.092 | |
| 道路・交通 | 10. 歩行者に対する安全性 | -0.338 | 1.504 | 重点改善分野 |
| | 11. 道路の通行のしやすさ（自転車・バイク） | -0.377 | 1.394 | 重点改善分野 |
| | 12. 道路の通行のしやすさ（自動車） | -0.149 | 1.396 | 重点改善分野 |
| | 13. 広域（市外）への行きやすさ | 0.180 | 1.061 | 維持分野 |
| | 14. 通勤・通学のしやすさ | 0.149 | 1.260 | 重点維持分野 |
| | 15. 買い物への行きやすさ | 0.214 | 1.276 | 重点維持分野 |
| | 16. 医療・福祉施設などへの行きやすさ | 0.261 | 1.467 | 重点維持分野 |
| | 17. 鉄道の利用しやすさ | -0.287 | 1.023 | 改善分野 |
| | 18. バスの利用しやすさ | -0.812 | 0.708 | 改善分野 |
| | 平均値(道路・交通) | -0.126 | 1.234 | |
| 公園・緑地 | 19. 森林など自然環境の保全 | 0.360 | 1.130 | 重点維持分野 |
| | 20. 寺社の境内地などの森の保全 | 0.599 | 0.777 | 維持分野 |
| | 21. 河川や湖など水辺空間の環境保全 | 0.230 | 1.046 | 維持分野 |
| | 22. スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備 | -0.189 | 0.962 | 改善分野 |
| | 23. 身近にある子どもの遊び場の整備 | -0.515 | 1.045 | 改善分野 |
| | 24. 道路や公共施設の敷地の緑化 | 0.148 | 0.754 | 維持分野 |
| 25. 民間施設や工場の敷地の緑化 | 0.325 | 0.413 | 維持分野 | |
| | 平均値(公園・緑地) | 0.138 | 0.878 | |
| 景観 | 26. 沿道や街並み、家並みの美しさ | 0.187 | 0.579 | 維持分野 |
| | 27. 水辺や眺望などの風景の美しさ | 0.341 | 0.780 | 維持分野 |
| | 28. 駅周辺や中心街の都市景観の美しさ | 0.075 | 0.748 | 維持分野 |
| | 29. 田園景観の美しさ | 0.541 | 0.780 | 維持分野 |
| | 30. 寺社や文化財など歴史的・文化的景観の保全状況 | 0.560 | 0.809 | 維持分野 |
| | 31. 看板やサインなど屋外広告物の規制 | 0.519 | 0.326 | 維持分野 |
| | 平均値(景観) | 0.370 | 0.671 | |
| 安全・安心 | 32. 火災・延焼に対する安全性 | 0.030 | 1.455 | 重点改善分野 |
| | 33. 地震災害に対する安全性 | -0.096 | 1.492 | 重点改善分野 |
| | 34. 土砂災害・風水害に対する安全性 | -0.378 | 1.709 | 重点改善分野 |
| | 35. 雪害に対する安全性 | -0.231 | 1.492 | 重点改善分野 |
| | 36. 避難場所・避難路の分かりやすさ | -0.259 | 1.664 | 重点改善分野 |
| | 37. まちの防犯対策 | 0.060 | 1.341 | 重点改善分野 |
| | 平均値(安全・安心) | -0.146 | 1.526 | |
| 市民参画等 | 38. ご近所付き合いの機会 | 0.536 | 0.992 | 維持分野 |
| | 39. まちづくりへの市民参画の機会 | 0.150 | 0.723 | 維持分野 |
| | 40. まちづくりに関する情報提供 | 0.045 | 0.824 | 改善分野 |
| | 平均値(市民参画等) | 0.248 | 0.848 | |
| | 平均値(全体) | 0.064 | 1.068 | |

満足度・重要度が平均値(全体)を上回る場合⇒赤

④【質問6】クロス集計：居住地域（中野平地域）

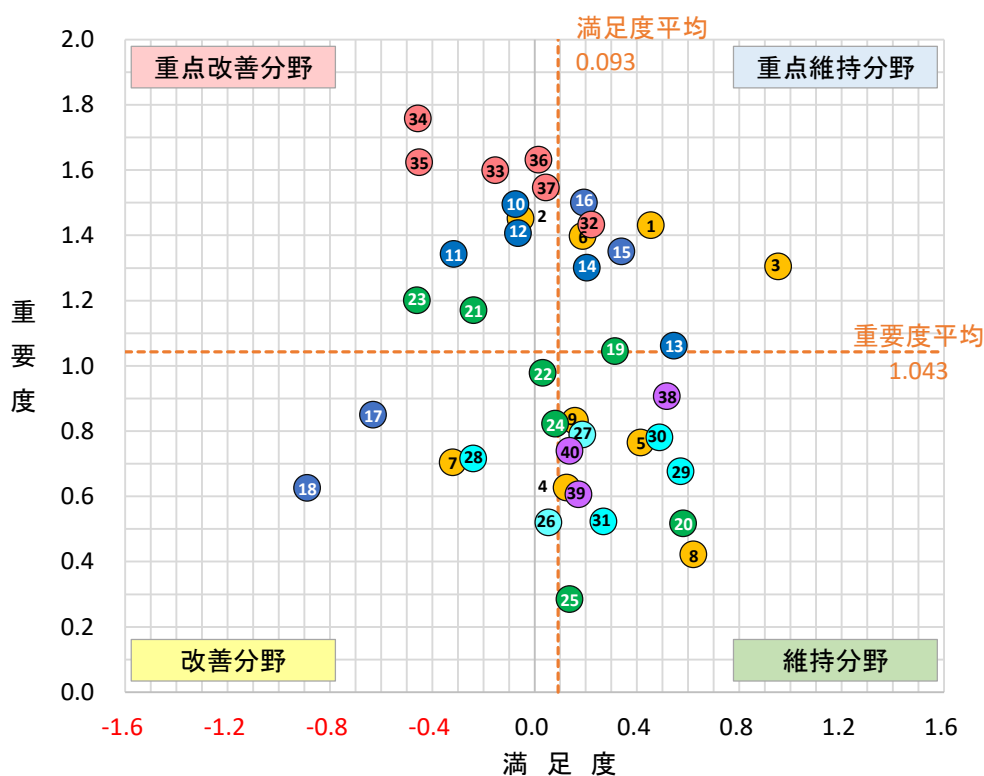
南部地域は、満足度の平均が 0.093 であり、市全体の平均値 (0.144) を 0.051 ポイント下回っています。

全 40 項目の内訳をみると、重点維持分野 (平均値と比べて満足度・重要度ともに高い) 項目は、9 項目、重点改善分野 (平均値と比べて満足度が低く、重要度が高い) が 11 項目、維持分野 (平均値と比べて満足度が高く、重要度が低い) が 13 項目、改善分野 (平均値と比べて満足度・重要度ともに低い) が 7 項目となっています。

「重点改善分野」の内訳では、「㉓身近にある子どもの遊び場」、「㉔土砂災害・風水害に対する安全性」、「㉕雪害に対する安全性」が特に満足度が低い項目となっています。

また、「㉖バスの利用しやすさ」、「㉗鉄道の利用しやすさ」は、満足度が低い上位 2 項目となっていますが、重要度はいずれも平均を下回っています。

【質問6：クロス集計結果（居住地域：中野平地域）】



【住みやすさに関する満足度と重要度の評価点（加重平均値）：中野平地域】

| | 設問項目 | 満足度 | 重要度 | 傾向 |
|----------------|----------------------------|-----------------------|--------------|--------------|
| 土地利用・ 居住環境 | 1. 子ども・子育て世代の生活のしやすさ | 0.455 | 1.430 | 重点維持分野 |
| | 2. 高齢者・障がい者の生活のしやすさ | -0.054 | 1.451 | 重点改善分野 |
| | 3. 日照や静かさのある環境 | 0.953 | 1.304 | 重点維持分野 |
| | 4. 空き家・空き店舗の少なさ | 0.126 | 0.626 | 維持分野 |
| | 5. 近隣の建物の密集や老朽の程度 | 0.416 | 0.764 | 維持分野 |
| | 6. 近所での買い物の便利さ | 0.189 | 1.397 | 重点維持分野 |
| | 7. 市内の中心部での買い物の便利さ | -0.319 | 0.703 | 改善分野 |
| | 8. 工業団地の整備・工場などの立地状況 | 0.622 | 0.421 | 維持分野 |
| | 9. 優良な農地の保全 | 0.159 | 0.831 | 維持分野 |
| | | 平均値(土地利用・居住環境) | 0.283 | 1.000 |
| 道路・交通 | 10. 歩行者に対する安全性 | -0.074 | 1.495 | 重点改善分野 |
| | 11. 道路の通行のしやすさ（自転車・バイク） | -0.316 | 1.343 | 重点改善分野 |
| | 12. 道路の通行のしやすさ（自動車） | -0.064 | 1.406 | 重点改善分野 |
| | 13. 広域（市外）への行きやすさ | 0.545 | 1.061 | 重点維持分野 |
| | 14. 通勤・通学のしやすさ | 0.205 | 1.300 | 重点維持分野 |
| | 15. 買い物への行きやすさ | 0.340 | 1.350 | 重点維持分野 |
| | 16. 医療・福祉施設などへの行きやすさ | 0.194 | 1.500 | 重点維持分野 |
| | 17. 鉄道の利用しやすさ | -0.631 | 0.849 | 改善分野 |
| | 18. バスの利用しやすさ | -0.888 | 0.626 | 改善分野 |
| | 平均値(道路・交通) | -0.077 | 1.215 | |
| 公園・緑地 | 19. 森林など自然環境の保全 | 0.316 | 1.044 | 重点維持分野 |
| | 20. 寺社の境内地などの森の保全 | 0.582 | 0.517 | 維持分野 |
| | 21. 河川や湖など水辺空間の環境保全 | -0.238 | 1.169 | 重点改善分野 |
| | 22. スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備 | 0.032 | 0.978 | 改善分野 |
| | 23. 身近にある子どもの遊び場の整備 | -0.459 | 1.200 | 重点改善分野 |
| | 24. 道路や公共施設の敷地の緑化 | 0.082 | 0.822 | 改善分野 |
| | 25. 民間施設や工場の敷地の緑化 | 0.137 | 0.284 | 維持分野 |
| | 平均値(公園・緑地) | 0.065 | 0.861 | |
| 景観 | 26. 沿道や街並み、家並みの美しさ | 0.055 | 0.520 | 改善分野 |
| | 27. 水辺や眺望などの風景の美しさ | 0.188 | 0.789 | 維持分野 |
| | 28. 駅周辺や中心街の都市景観の美しさ | -0.239 | 0.715 | 改善分野 |
| | 29. 田園景観の美しさ | 0.572 | 0.676 | 維持分野 |
| | 30. 寺社や文化財など歴史的・文化的景観の保全状況 | 0.489 | 0.780 | 維持分野 |
| | 31. 看板やサインなど屋外広告物の規制 | 0.271 | 0.522 | 維持分野 |
| | 平均値(景観) | 0.222 | 0.666 | |
| 安全・安心 | 32. 火災・延焼に対する安全性 | 0.223 | 1.433 | 重点維持分野 |
| | 33. 地震災害に対する安全性 | -0.153 | 1.599 | 重点改善分野 |
| | 34. 土砂災害・風水害に対する安全性 | -0.456 | 1.757 | 重点改善分野 |
| | 35. 雪害に対する安全性 | -0.451 | 1.624 | 重点改善分野 |
| | 36. 避難場所・避難路の分かりやすさ | 0.016 | 1.631 | 重点改善分野 |
| | 37. まちの防犯対策 | 0.045 | 1.546 | 重点改善分野 |
| | 平均値(安全・安心) | -0.129 | 1.598 | |
| 市民参画等 | 38. ご近所付き合いの機会 | 0.518 | 0.906 | 維持分野 |
| | 39. まちづくりへの市民参画の機会 | 0.172 | 0.606 | 維持分野 |
| | 40. まちづくりに関する情報提供 | 0.138 | 0.739 | 維持分野 |
| | 平均値(市民参画等) | 0.281 | 0.752 | |
| 平均値(全体) | | 0.093 | 1.043 | |

満足度・重要度が平均値(全体)を上回る場合⇒赤

⑤【質問6】クロス集計：居住地域（高社地域）

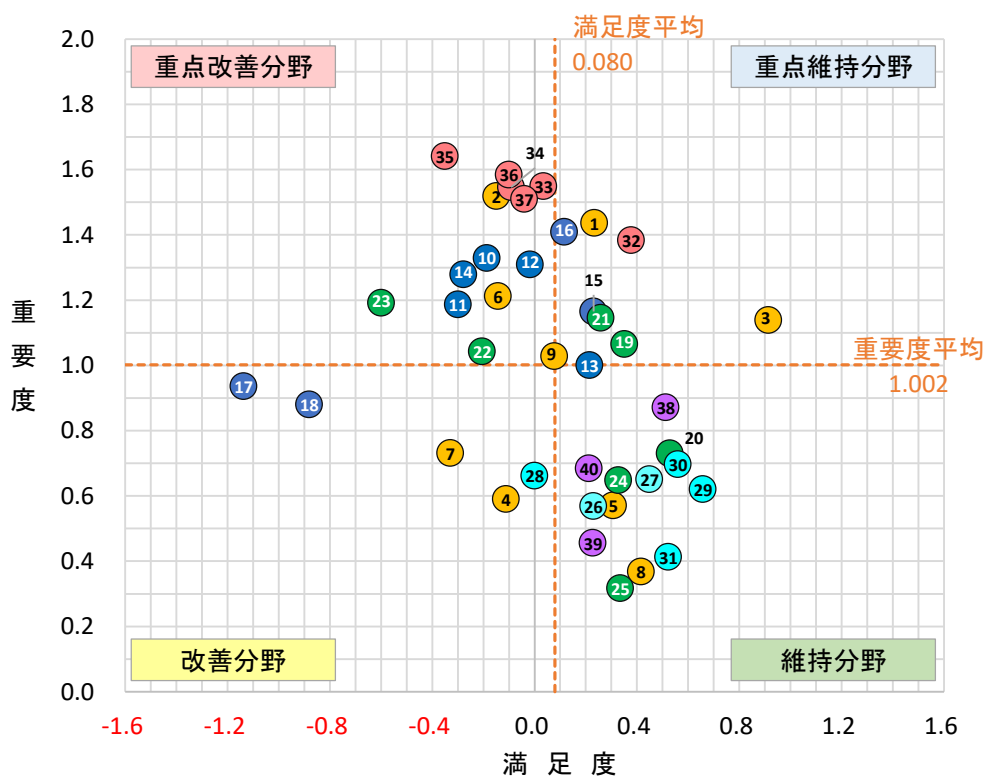
高社地域は、満足度の平均が 0.080 であり、市全体の平均値 (0.144) を 0.064 ポイント下回っています。

全 40 項目の内訳をみると、重点維持分野 (平均値と比べて満足度・重要度ともに高い) 項目は、7 項目、重点改善分野 (平均値と比べて満足度が低く、重要度が高い) が 14 項目、維持分野 (平均値と比べて満足度が高く、重要度が低い) が 14 項目、改善分野 (平均値と比べて満足度・重要度ともに低い) が 5 項目となっています。

「重点改善分野」の内訳では、「㉓身近にある子どもの遊び場」、「㉕雪害に対する安全性」、「㉑道路の通行のしやすさ(自動車・バイク)」、が特に満足度が低い項目となっています。

また、「㉒バスの利用しやすさ」、「㉔鉄道の利用しやすさ」は、満足度が低い上位 2 項目となっていますが、重要度はいずれも平均を下回っています。

【質問6：クロス集計結果（居住地域：高社地域）】



【住みやすさに関する満足度と重要度の評価点（加重平均値）：高社地域】

| | 設問項目 | 満足度 | 重要度 | 傾向 |
|-------------------|----------------------------|-----------------------|--------------|--------------|
| 土地利用・ 居住環境 | 1. 子ども・子育て世代の生活のしやすさ | 0.234 | 1.437 | 重点維持分野 |
| | 2. 高齢者・障がい者の生活のしやすさ | -0.148 | 1.518 | 重点改善分野 |
| | 3. 日照や静かさのある環境 | 0.914 | 1.139 | 重点維持分野 |
| | 4. 空き家・空き店舗の少なさ | -0.111 | 0.590 | 改善分野 |
| | 5. 近隣の建物の密集や老朽の程度 | 0.308 | 0.571 | 維持分野 |
| | 6. 近所での買い物の便利さ | -0.142 | 1.212 | 重点改善分野 |
| | 7. 市内の中心部での買い物の便利さ | -0.329 | 0.731 | 改善分野 |
| | 8. 工業団地の整備・工場などの立地状況 | 0.417 | 0.368 | 維持分野 |
| | 9. 優良な農地の保全 | 0.077 | 1.028 | 重点改善分野 |
| | | 平均値(土地利用・居住環境) | 0.135 | 0.959 |
| 道路・交通 | 10. 歩行者に対する安全性 | -0.187 | 1.329 | 重点改善分野 |
| | 11. 道路の通行のしやすさ（自転車・バイク） | -0.300 | 1.187 | 重点改善分野 |
| | 12. 道路の通行のしやすさ（自動車） | -0.017 | 1.308 | 重点改善分野 |
| | 13. 広域（市外）への行きやすさ | 0.215 | 1.000 | 維持分野 |
| | 14. 通勤・通学のしやすさ | -0.278 | 1.279 | 重点改善分野 |
| | 15. 買い物への行きやすさ | 0.231 | 1.165 | 重点維持分野 |
| | 16. 医療・福祉施設などへの行きやすさ | 0.116 | 1.409 | 重点維持分野 |
| | 17. 鉄道の利用しやすさ | -1.137 | 0.935 | 改善分野 |
| | 18. バスの利用しやすさ | -0.881 | 0.880 | 改善分野 |
| | 平均値(道路・交通) | -0.244 | 1.166 | |
| 公園・緑地 | 19. 森林など自然環境の保全 | 0.351 | 1.065 | 重点維持分野 |
| | 20. 寺社の境内地などの森の保全 | 0.529 | 0.730 | 維持分野 |
| | 21. 河川や湖など水辺空間の環境保全 | 0.259 | 1.145 | 重点維持分野 |
| | 22. スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備 | -0.205 | 1.042 | 重点改善分野 |
| | 23. 身近にある子どもの遊び場の整備 | -0.599 | 1.192 | 重点改善分野 |
| | 24. 道路や公共施設の敷地の緑化 | 0.327 | 0.648 | 維持分野 |
| 25. 民間施設や工場の敷地の緑化 | 0.335 | 0.316 | 維持分野 | |
| | 平均値(公園・緑地) | 0.143 | 0.877 | |
| 景観 | 26. 沿道や街並み、家並みの美しさ | 0.230 | 0.568 | 維持分野 |
| | 27. 水辺や眺望などの風景の美しさ | 0.449 | 0.651 | 維持分野 |
| | 28. 駅周辺や中心街の都市景観の美しさ | 0.000 | 0.662 | 改善分野 |
| | 29. 田園景観の美しさ | 0.658 | 0.620 | 維持分野 |
| | 30. 寺社や文化財など歴史的・文化的景観の保全状況 | 0.561 | 0.697 | 維持分野 |
| | 31. 看板やサインなど屋外広告物の規制 | 0.522 | 0.413 | 維持分野 |
| | 平均値(景観) | 0.405 | 0.602 | |
| 安全・安心 | 32. 火災・延焼に対する安全性 | 0.378 | 1.383 | 重点維持分野 |
| | 33. 地震災害に対する安全性 | 0.035 | 1.549 | 重点改善分野 |
| | 34. 土砂災害・風水害に対する安全性 | -0.092 | 1.546 | 重点改善分野 |
| | 35. 雪害に対する安全性 | -0.351 | 1.641 | 重点改善分野 |
| | 36. 避難場所・避難路の分かりやすさ | -0.100 | 1.584 | 重点改善分野 |
| | 37. まちの防犯対策 | -0.040 | 1.509 | 重点改善分野 |
| | 平均値(安全・安心) | -0.028 | 1.536 | |
| 市民参画等 | 38. ご近所付き合いの機会 | 0.513 | 0.872 | 維持分野 |
| | 39. まちづくりへの市民参画の機会 | 0.228 | 0.455 | 維持分野 |
| | 40. まちづくりに関する情報提供 | 0.212 | 0.684 | 維持分野 |
| | 平均値(市民参画等) | 0.320 | 0.672 | |
| 平均値(全体) | | 0.080 | 1.002 | |

満足度・重要度が平均値(全体)を上回る場合⇒赤

【住みやすさに関する満足度と重要度の評価点（加重平均値）：豊田地域】

| | 設問項目 | 満足度 | 重要度 | 傾向 |
|-------------------|----------------------------|-----------------------|---------------|--------------|
| 土地利用・ 居住環境 | 1. 子ども・子育て世代の生活のしやすさ | -0.101 | 1.438 | 重点改善分野 |
| | 2. 高齢者・障がい者の生活のしやすさ | -0.533 | 1.567 | 重点改善分野 |
| | 3. 日照や静かさのある環境 | 1.117 | 1.247 | 重点維持分野 |
| | 4. 空き家・空き店舗の少なさ | -0.443 | 0.860 | 改善分野 |
| | 5. 近隣の建物の密集や老朽の程度 | 0.267 | 0.802 | 維持分野 |
| | 6. 近所での買い物の便利さ | -1.292 | 1.462 | 重点改善分野 |
| | 7. 市内の中心部での買い物の便利さ | -0.330 | 0.912 | 改善分野 |
| | 8. 工業団地の整備・工場などの立地状況 | 0.317 | 0.238 | 維持分野 |
| | 9. 優良な農地の保全 | -0.156 | 1.011 | 改善分野 |
| | | 平均値(土地利用・居住環境) | -0.136 | 1.069 |
| 道路・交通 | 10. 歩行者に対する安全性 | -0.326 | 1.467 | 重点改善分野 |
| | 11. 道路の通行のしやすさ（自転車・バイク） | -0.402 | 1.261 | 重点改善分野 |
| | 12. 道路の通行のしやすさ（自動車） | 0.053 | 1.385 | 重点維持分野 |
| | 13. 広域（市外）への行きやすさ | 0.242 | 1.121 | 重点維持分野 |
| | 14. 通勤・通学のしやすさ | -0.154 | 1.398 | 重点改善分野 |
| | 15. 買い物への行きやすさ | -0.298 | 1.400 | 重点改善分野 |
| | 16. 医療・福祉施設などへの行きやすさ | -0.495 | 1.522 | 重点改善分野 |
| | 17. 鉄道の利用しやすさ | -0.298 | 1.135 | 重点改善分野 |
| | 18. バスの利用しやすさ | -0.723 | 0.956 | 改善分野 |
| | 平均値(道路・交通) | -0.266 | 1.294 | |
| 公園・緑地 | 19. 森林など自然環境の保全 | 0.165 | 0.966 | 維持分野 |
| | 20. 寺社の境内地などの森の保全 | 0.455 | 0.759 | 維持分野 |
| | 21. 河川や湖など水辺空間の環境保全 | 0.011 | 1.090 | 重点維持分野 |
| | 22. スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備 | -0.146 | 0.898 | 改善分野 |
| | 23. 身近にある子どもの遊び場の整備 | -0.885 | 0.966 | 改善分野 |
| | 24. 道路や公共施設の敷地の緑化 | -0.101 | 0.784 | 改善分野 |
| 25. 民間施設や工場の敷地の緑化 | 0.247 | 0.333 | 維持分野 | |
| | 平均値(公園・緑地) | -0.036 | 0.830 | |
| 景観 | 26. 沿道や街並み、家並みの美しさ | 0.000 | 0.663 | 維持分野 |
| | 27. 水辺や眺望などの風景の美しさ | 0.345 | 0.761 | 維持分野 |
| | 28. 駅周辺や中心街の都市景観の美しさ | -0.106 | 0.671 | 改善分野 |
| | 29. 田園景観の美しさ | 0.659 | 0.685 | 維持分野 |
| | 30. 寺社や文化財など歴史的・文化的景観の保全状況 | 0.465 | 0.614 | 維持分野 |
| | 31. 看板やサインなど屋外広告物の規制 | 0.552 | 0.273 | 維持分野 |
| | 平均値(景観) | 0.319 | 0.611 | |
| 安全・安心 | 32. 火災・延焼に対する安全性 | 0.057 | 1.310 | 重点維持分野 |
| | 33. 地震災害に対する安全性 | -0.307 | 1.511 | 重点改善分野 |
| | 34. 土砂災害・風水害に対する安全性 | -0.596 | 1.681 | 重点改善分野 |
| | 35. 雪害に対する安全性 | -0.433 | 1.648 | 重点改善分野 |
| | 36. 避難場所・避難路の分かりやすさ | -0.322 | 1.589 | 重点改善分野 |
| | 37. まちの防犯対策 | -0.386 | 1.544 | 重点改善分野 |
| | 平均値(安全・安心) | -0.333 | 1.549 | |
| 市民参画等 | 38. ご近所付き合いの機会 | 0.600 | 0.932 | 維持分野 |
| | 39. まちづくりへの市民参画の機会 | 0.207 | 0.573 | 維持分野 |
| | 40. まちづくりに関する情報提供 | 0.093 | 0.670 | 維持分野 |
| | 平均値(市民参画等) | 0.304 | 0.725 | |
| | 平均値(全体) | -0.075 | 1.053 | |

満足度・重要度が平均値(全体)を上回る場合⇒赤

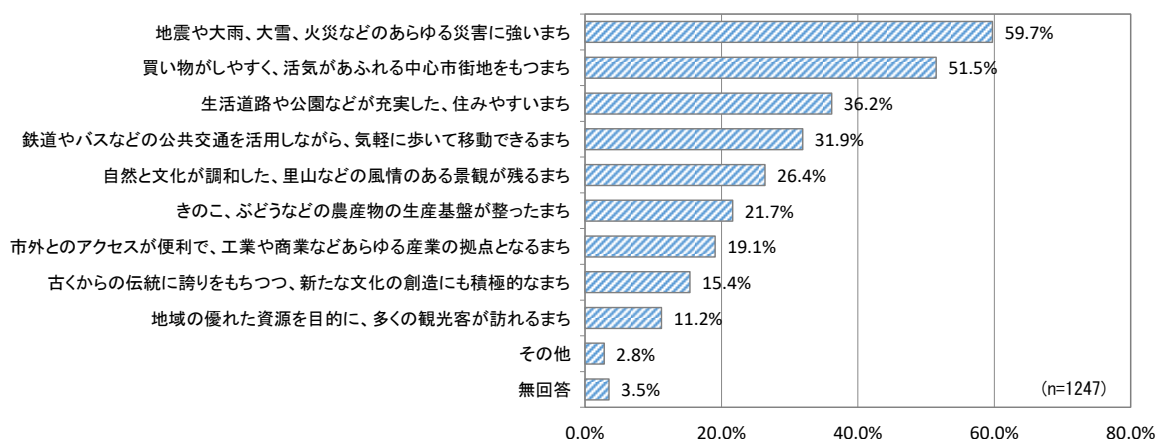
質問 7

あなたは、中野市が将来どのようなまちになってほしいと考えていますか。(該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。)

①【質問7】単純集計

「地震や大雨、大雪、火災などのあらゆる災害に強いまち(59.7%)」が最も多く、以下、「買い物がしやすく、活気があふれる中心市街地をもつまち(51.5%)」、「生活道路や公園などが充実した、住みやすいまち(36.2%)」の順となっています。

【質問7：単純集計結果】



《「その他」の回答一覧》

[子育て・学校教育]

- 子育て、共働きのしやすいまち
- 子育てしやすい環境になっているまち、子供たちが被災にあわないよう防犯が整っているまちになったらいいと思います←不審者に会うととても危険
- 子育てしやすい中野市になって欲しい
- 子育てのしやすい所
- 子供の居ない場所で将来に希望は持てない

[健康・福祉]

- 医療に優れたまち
- 運動施設が整っていて、三大疾病にかかる人が少ないまち
- 高齢者が安心して生活出来るまち（買い物医療など）
- 高齢者が生活しやすい町（病院、買い物等バスタクシーが利用しやすい）
- 高齢者に優しい街
- 人と人が助け合えるまち。医療や介護福祉に不安がないまち
- 福利厚生のしっかりした、安心して生活、暮らしていけるまち

[産業・雇用]

- 映画館などの娯楽施設があったらいいな。
- 企業が強い。
- 周辺の市や町へのアクセス拠点になるような道の駅的な市
- 農産物と工業・商業で多くの観光客をよぶ市に・水害のない市にしたい。

[文化・生涯学習]

- 教育を核とした文化発信の可能な文化都市基盤の整備
- 市民会館を中野市の中心部に建てるべきである。子育て、共働きのしやすいまち

[定住環境]

- I T技術などの進み（フリーW i e F i等）をフル活用でき、都会に負けないサービスを受けられる町
- ペットにも優しい町。災害時にペットと避難できるようになると良い。
- まず道路1つ1つがせまい！偏って大きい道路や1本入ると車が行き来するのにやっと→子供や自転車にも危ない。公共交通機関にも偏りが激しい
- 安心して通学通勤できる道路の整備
- 県の中心地へのアクセスがよく市外への通勤・通学のしやすいまち
- 散歩道や自転車道の整備
- 子どもからお年寄まで住み良くなると思います。
- 若い人が家庭を持って中野市に居続けてくれる環境
- 住む人のニーズに合った、柔軟に変化できるまち
- 生活がし易い町（生活物資の購入、交通機関の充実、医療施設の充実）
- 生活基盤が整った住みやすいまち医療に優れたまち

[協働・行政経営]

- 旧（小）学校区内での人との結びつき・連帯感が高揚できるまち
- 市政の健全化、透明化映画館などの娯楽施設があったらいいな。

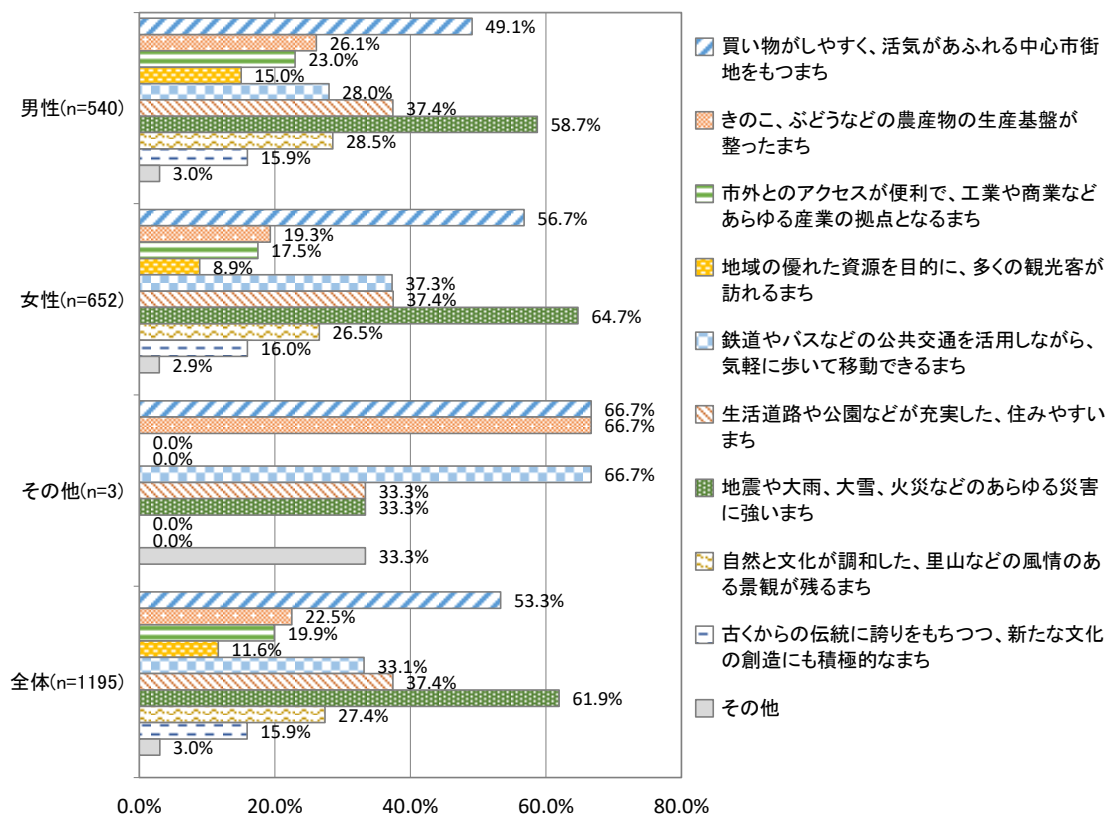
[自然環境・景観]

- パチンコ店多くて街なみもよくない。もっとデザインしてほしい。
- 人を1ヶ所に集めて、森、農地をふやす。
- 地産地消、エネルギーや資源の有効活用・再利用など、少し不便でも動物とも共存できるまち
- 農地保全と景観の活用

②【質問7】クロス集計：性別

男性、女性とも、「地震や大雨、大雪、火災などのあらゆる災害に強いまち」が最も多く、次いで「買い物がしやすく、活気があふれる中心市街地をもつまち」、「生活道路や公園などが充実した、住みやすいまち」の順となっていますが、「鉄道やバスなどの公共交通を活用しながら、気軽に歩いて移動できるまち」については、女性の回答割合が男性を上回っています。

【質問7：クロス集計結果（性別）】

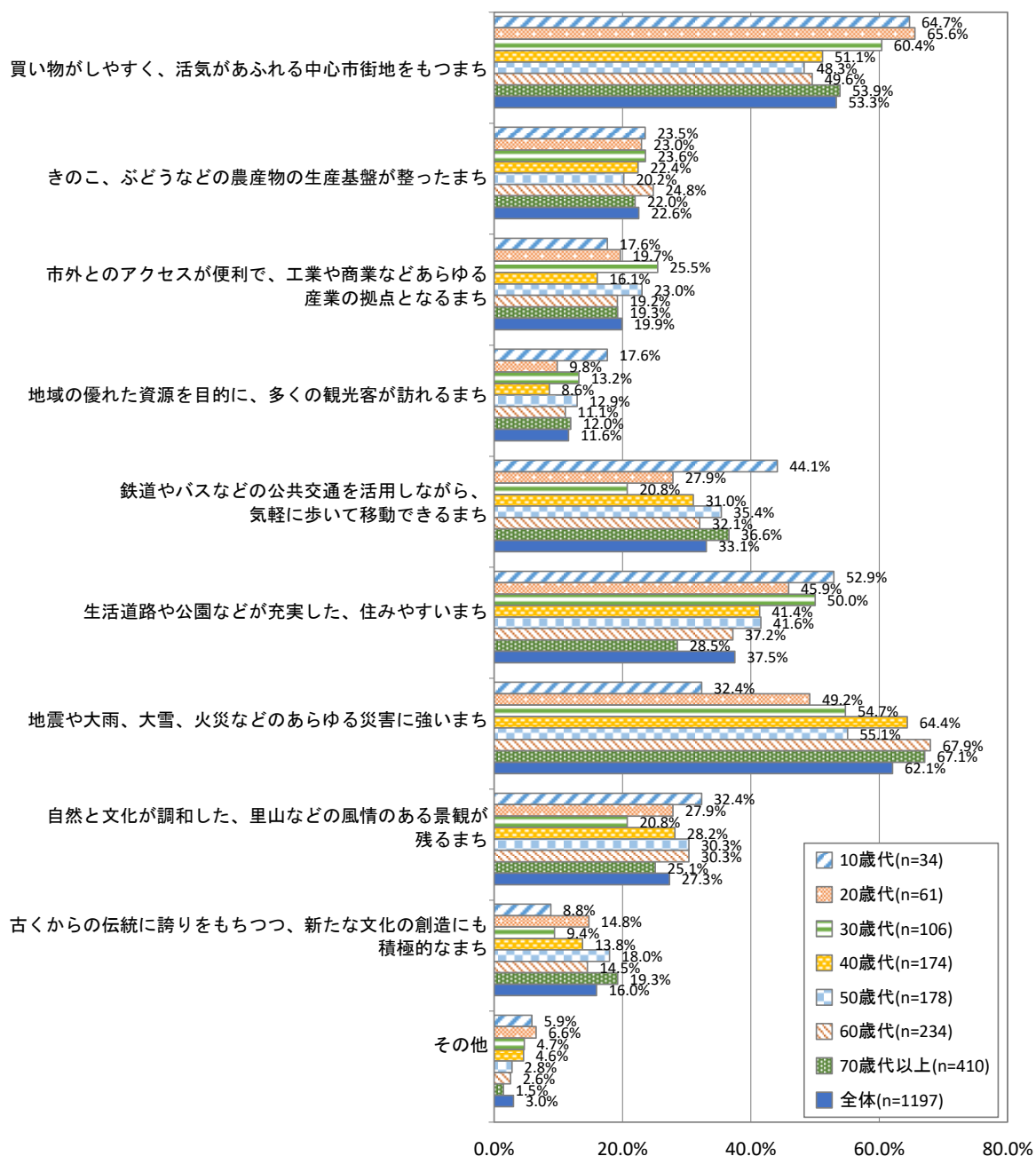


③【質問7】クロス集計：年齢

「買い物がしやすく、活気があふれる中心市街地をもつまち」の回答割合は若い世代の方が高い傾向があります。また、「地震や大雨、大雪、火災などのあらゆる災害に強いまち」は若年層の回答割合がやや低くなっています。

また、「鉄道やバスなどの公共交通を活用しながら、気軽に歩いて移動できるまち」については10歳代の回答割合が高くなっています。

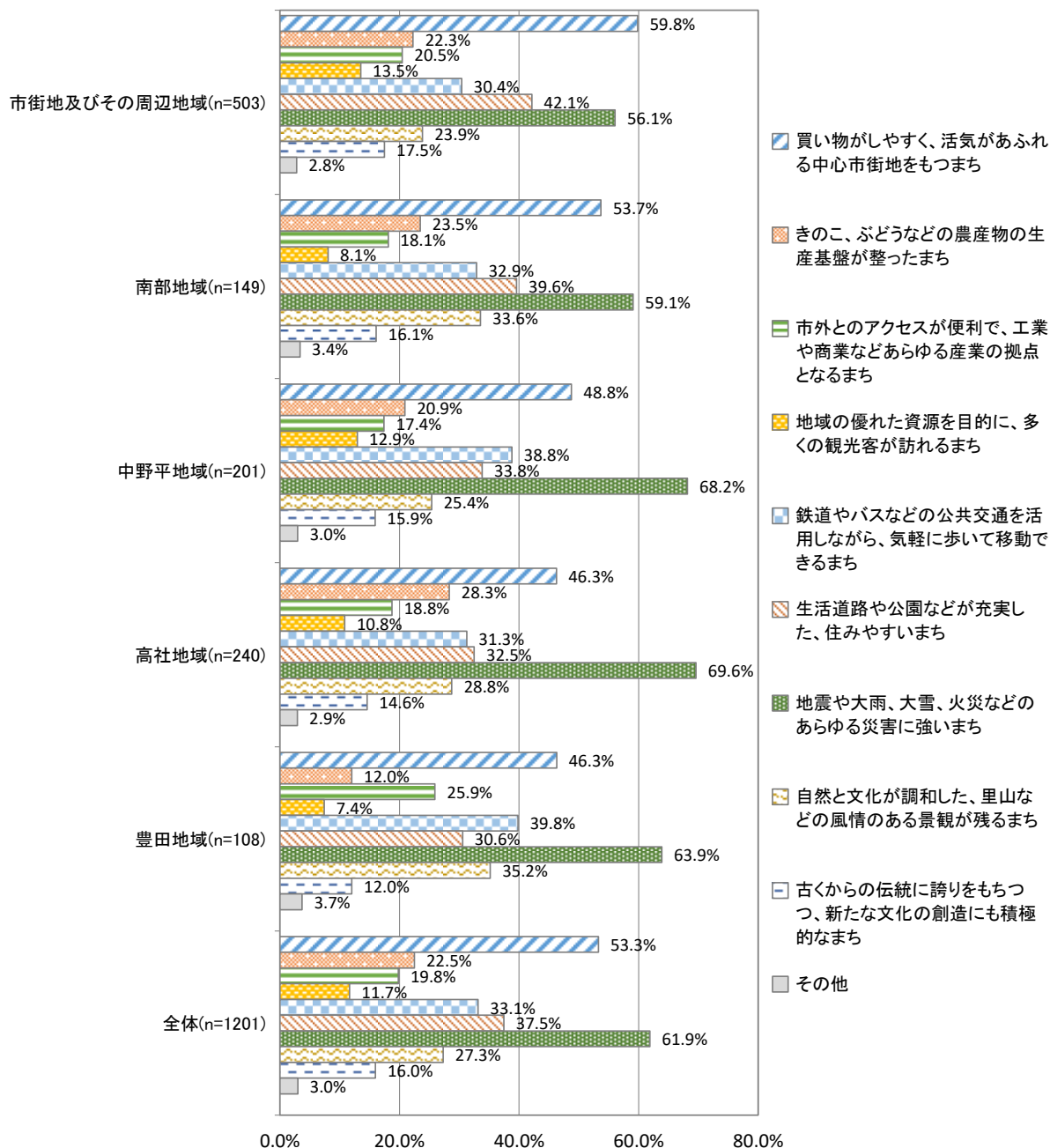
【質問7：クロス集計結果（年齢）】



④【質問7】クロス集計：居住地域

市街地及びその周辺地域は「買い物がしやすく、活気があふれる中心市街地をもつまち」の回答割合が最も高くなっていますが、それ以外の地域では、「地震や大雨、大雪、火災などのあらゆる災害に強いまち」の回答割合が最も高くなっています。

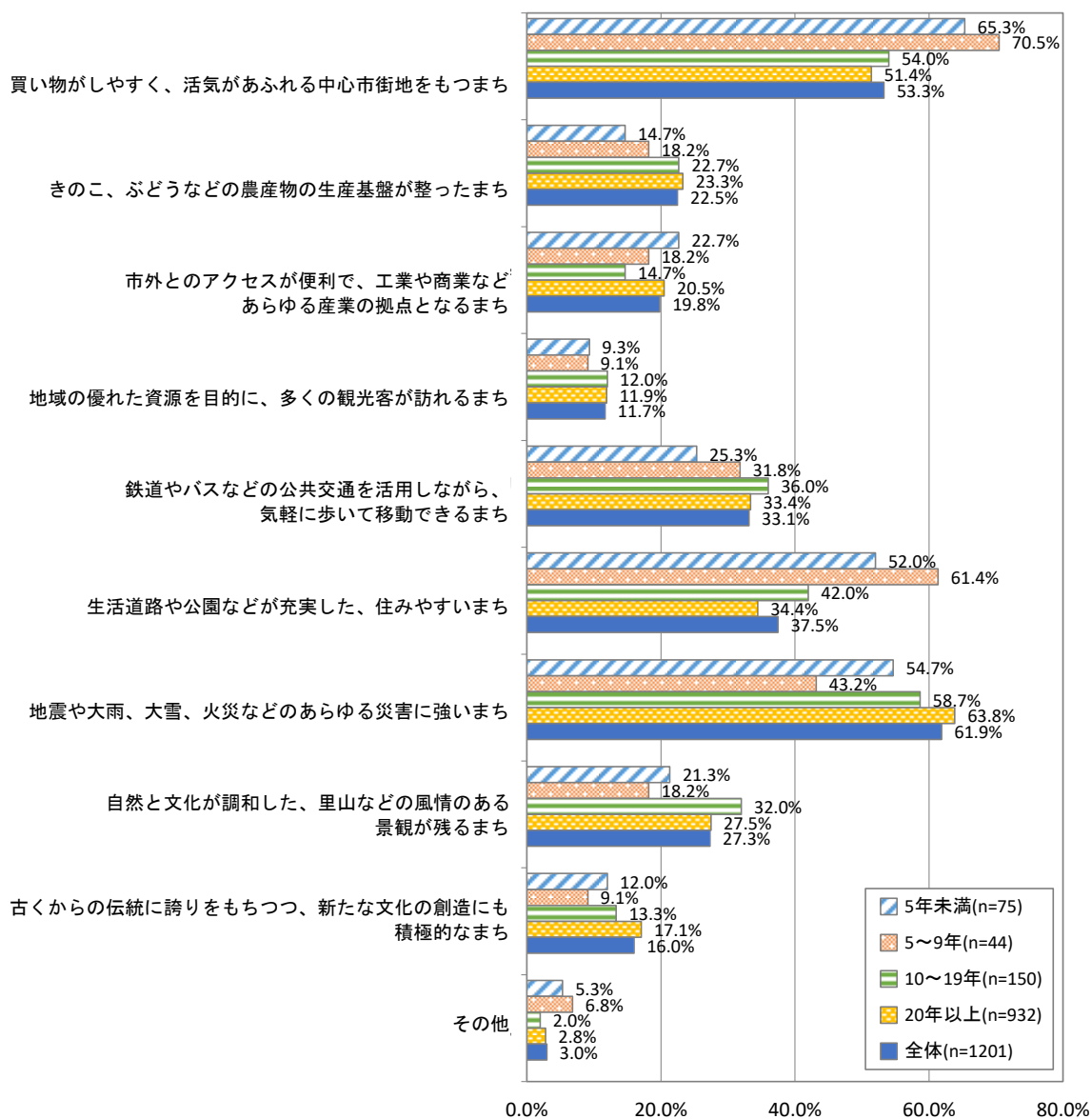
【質問7：クロス集計結果（居住地域）】



⑤【質問7】クロス集計：居住年数

居住年数が10年未満の居住者は、「買い物がしやすく、活気があふれる中心市街地をもつまち」、「生活道路や公園などが充実した、住みやすいまち」の回答割合が高い傾向がみられます。「地震や大雨、大雪、火災などのあらゆる災害に強いまち」は居住年数が長いほど回答割合が高くなっています。

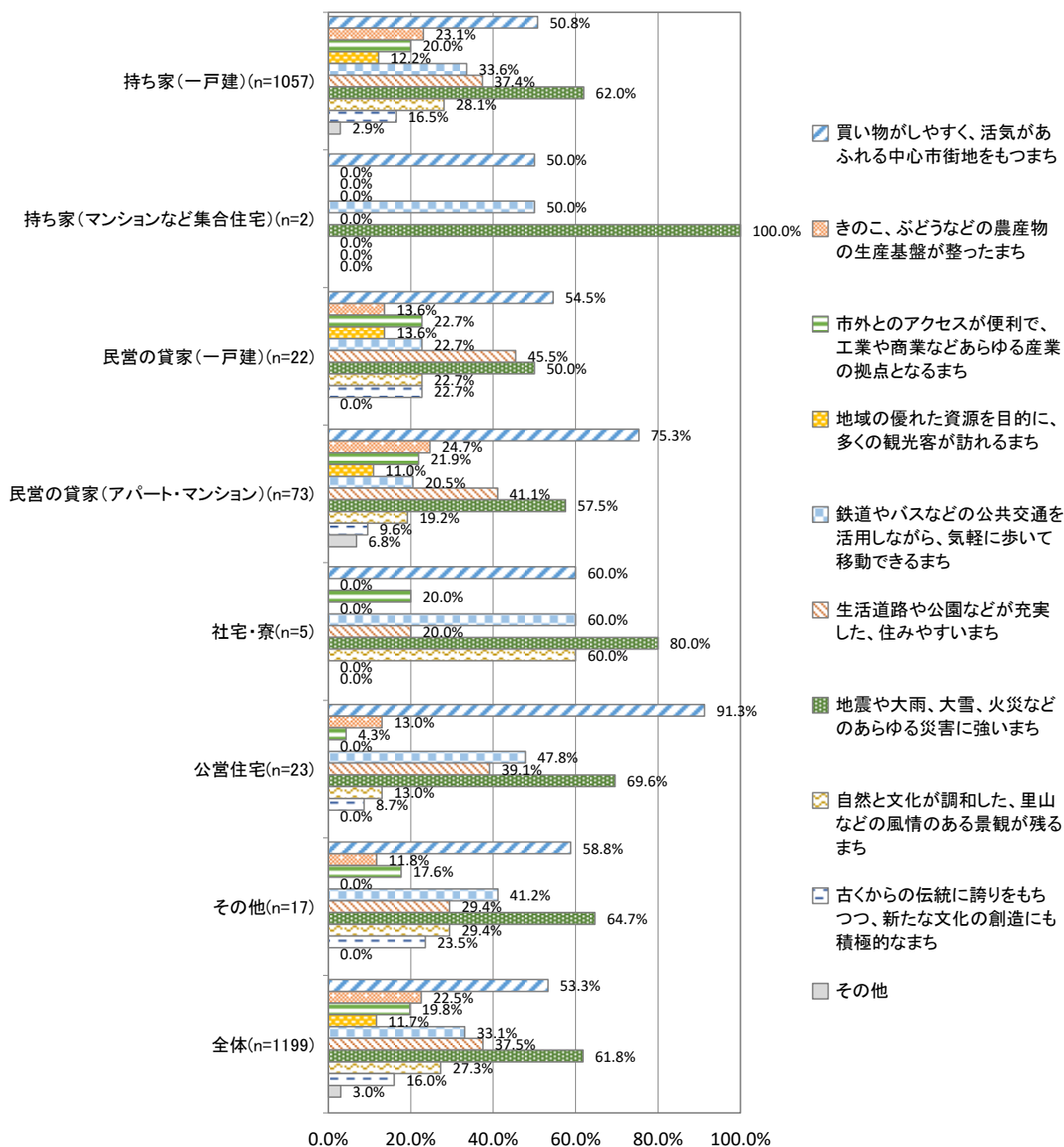
【質問7：クロス集計結果（居住年数）】



⑥【質問7】クロス集計：居住形態

民間の貸家（一戸建）、民間の貸家（アパート・マンション）、公営住宅においては、「買い物がしやすく、活気があふれる中心市街地をもつまち」の回答割合が最も高くなっています。

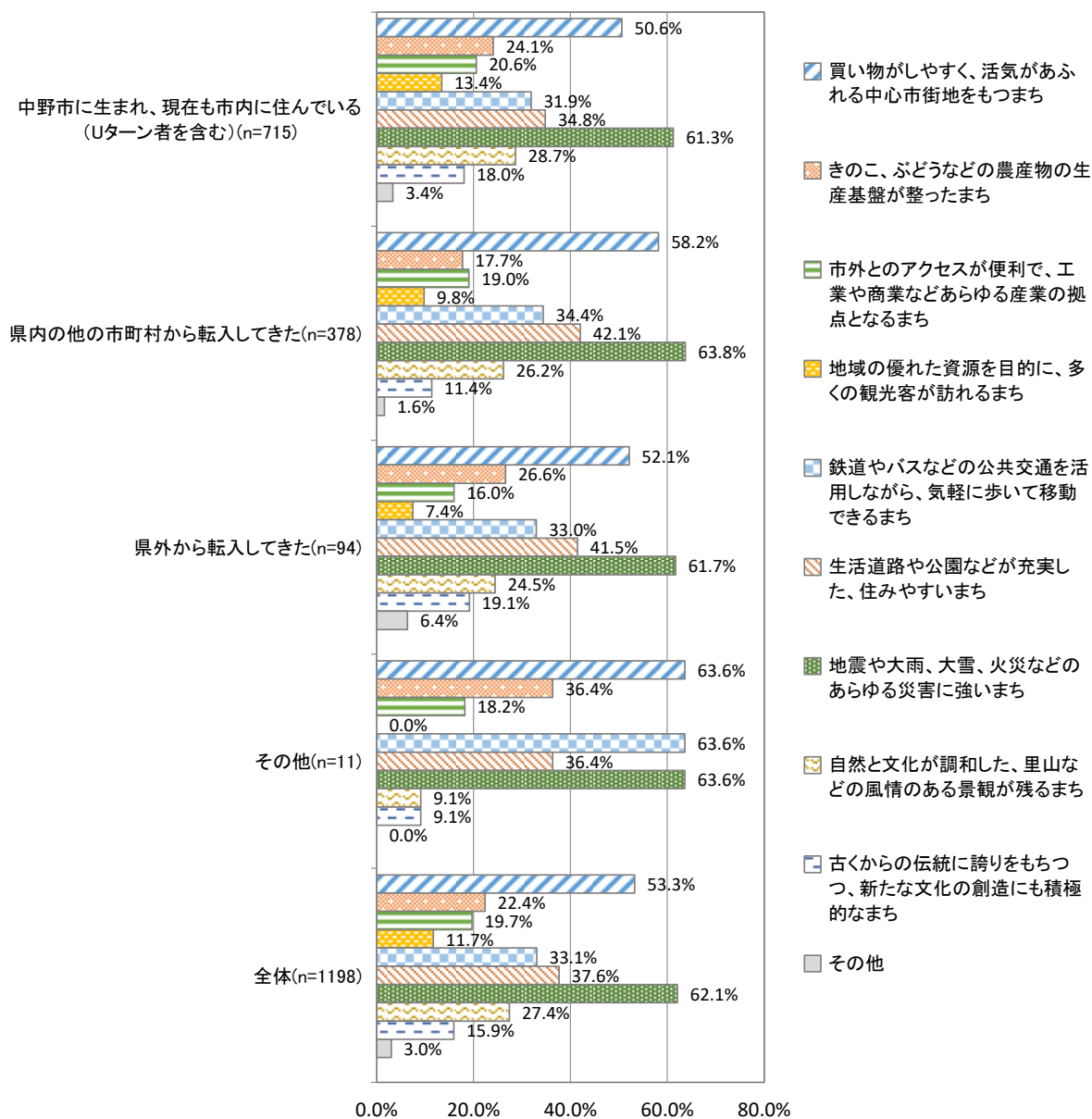
【質問7：クロス集計結果（居住形態）】



⑦【質問7】クロス集計：居住履歴

居住履歴間の比較では、県内の他の市町村から転入してきた人の回答の中で「買い物がしやすく、活気があふれる中心市街地をもつまち」が他と比べてやや高くなっているものの、回答傾向の大きな違いは見られません。

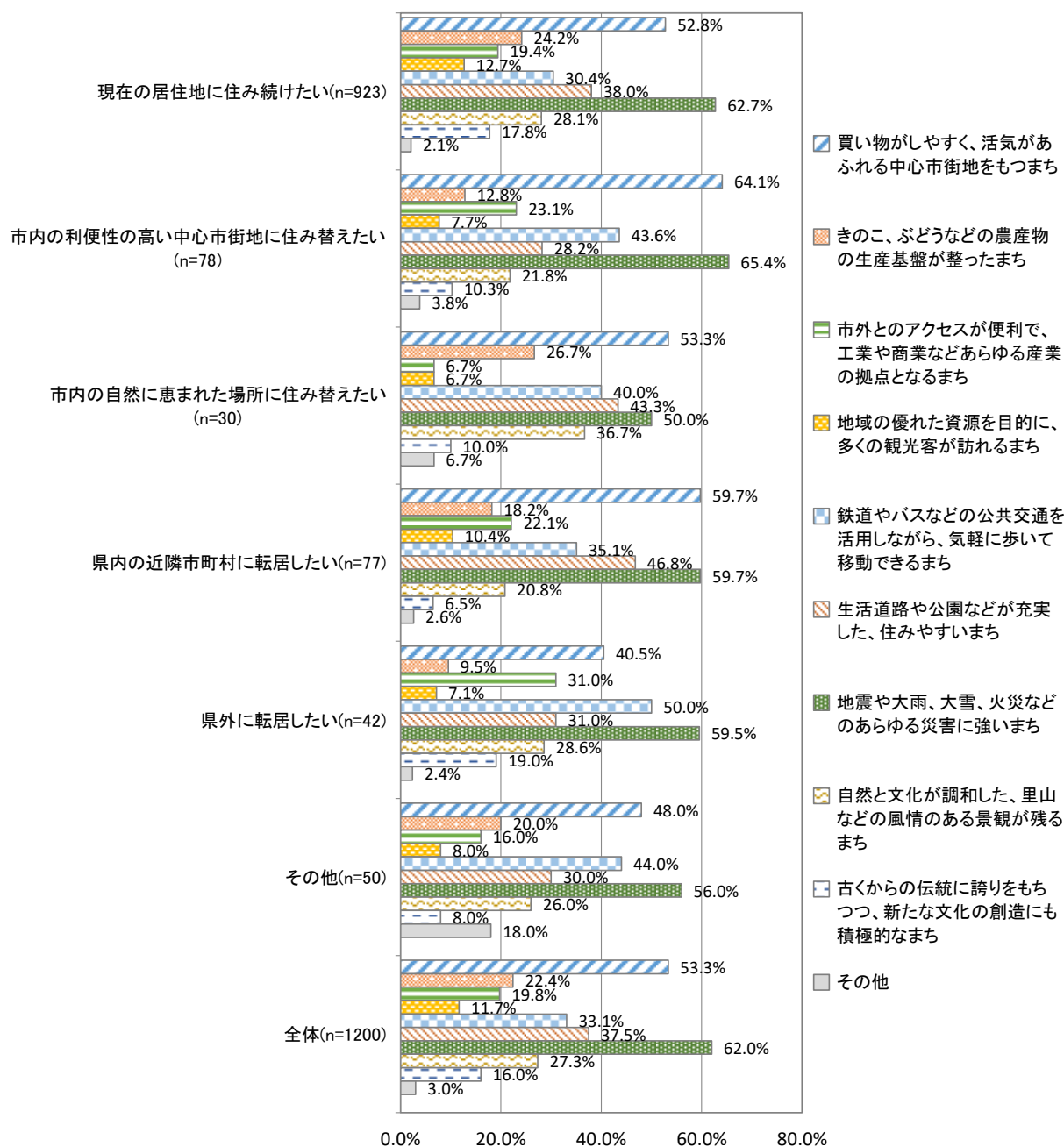
【質問7：クロス集計結果（居住履歴）】



⑧【質問7】クロス集計：居住意向

「市内の利便性の高い中心市街地に住み替えたい」と回答した方は、「買い物がしやすく、活気があふれる中心市街地をもつまち」の回答割合が他と比べて高くなっていますが、「地震や大雨、大雪、火災などのあらゆる災害に強いまち」の回答割合も他の属性よりも高くなっています。

【質問7：クロス集計結果（居住意向）】



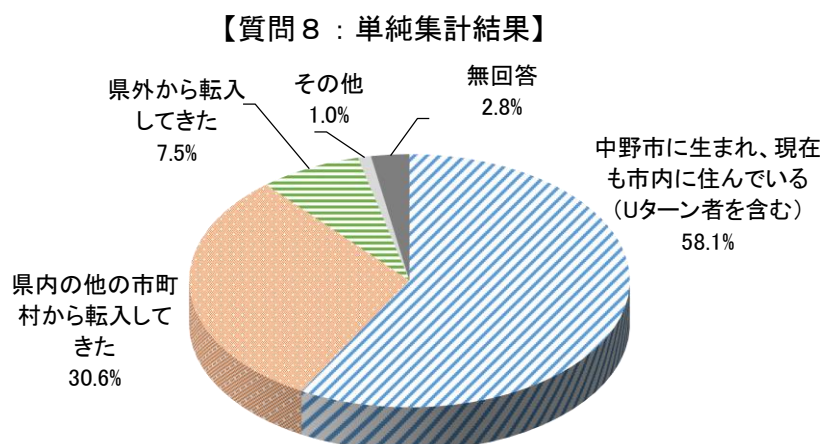
2-3 将来の住み替え(転居)に関する意向について【質問8~10】

質問8 これまでの居住履歴を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください。)

①【質問8】単純集計

質問8の単純集計結果(市全体の傾向)を以下に示します。

これまでの居住履歴は、「中野市に生まれ、現在も市内に住んでいる(58.1%)」が約6割を占めています。また、「県内の他の市町村から転入してきた(30.6%)」と、「県外から転入してきた(7.5%)」を合わせた転入者の方は、約4割(38.1%)となっています。



(n=1247)

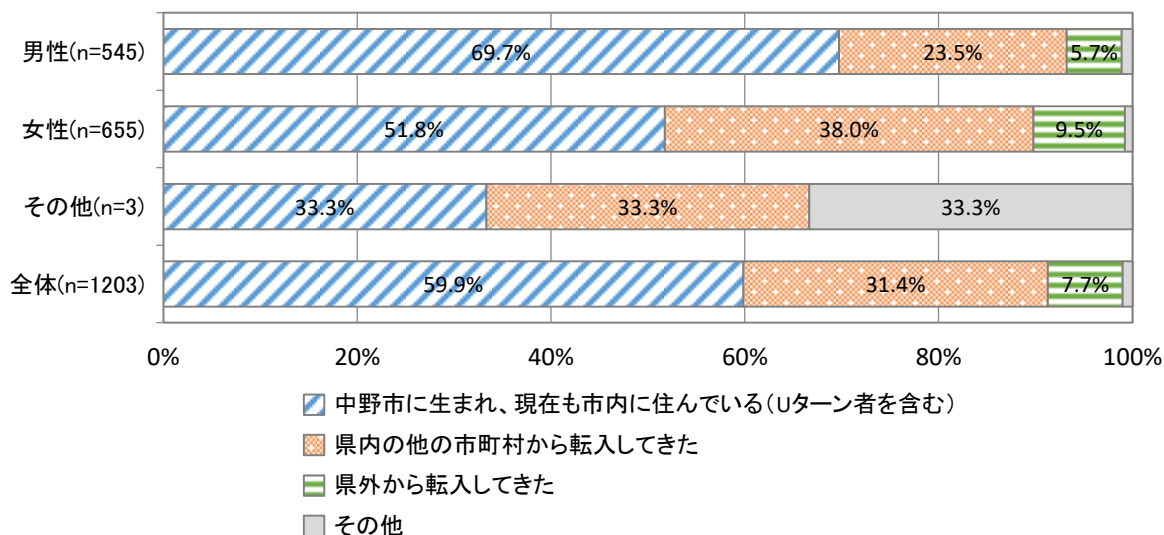
≪「その他」の回答一覧≫

- 永江で平成16年から中野市に住んでいる。
- 30才で中野市を離れ長野市に移り65才で帰省。
- 生まれは須坂、育ちは中野。
- 飯山市から転入。
- 満洲より引上げ。
- 県外で生れ→県内に(現地)→県外へ→県内に(現地)
- 仕事の関係で県内外から転入。
- 中野市外から嫁いできた。
- 結婚してずっと中野に住む
- 進学するまで中野市。
- 中野市に生まれ、県外に住んでいる。
- 中野市に生まれ、現在は東京に住み、専門学校に通っている。

②【質問8】クロス集計：性別

「中野市に生まれ、現在も市内に住んでいる（Uターン者含む）」の割合は、男性回答者で約7割、女性で約5割となっています。

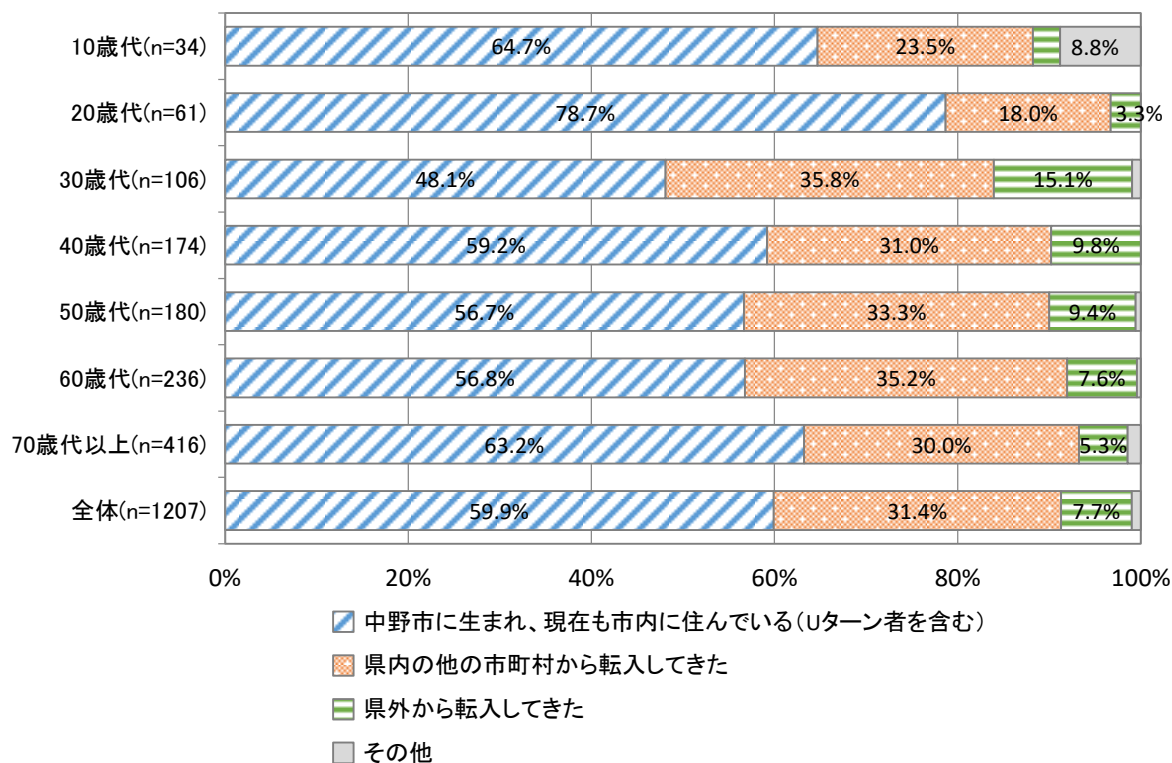
【質問8：クロス集計結果（性別）】



③【質問8】クロス集計：年齢

「中野市に生まれ、現在も市内に住んでいる（Uターン者含む）」の割合が最も高いのは20歳代であり、最も低いのは30歳代となっています。

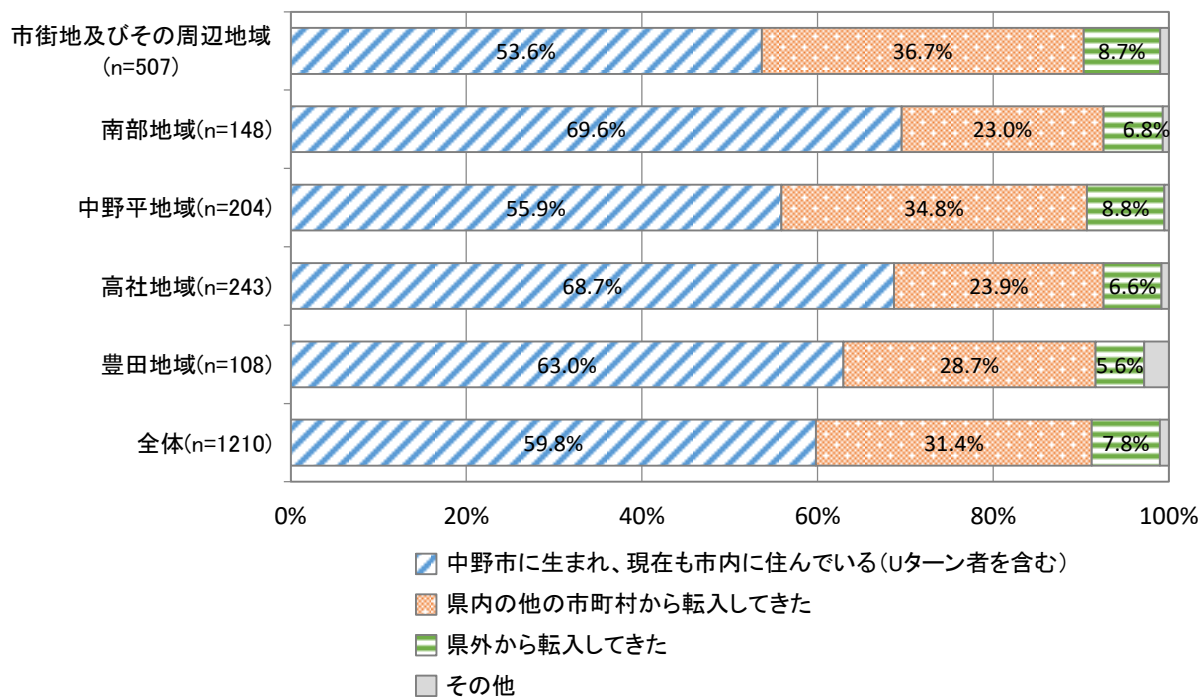
【質問8：クロス集計結果（年齢）】



④【質問8】クロス集計：居住地域

「中野市に生まれ、現在も市内に住んでいる（Uターン者含む）」の割合は、南部地域、高社地域、豊田地域では、市全体の割合を上回っています。

【質問8：クロス集計結果（居住地域）】



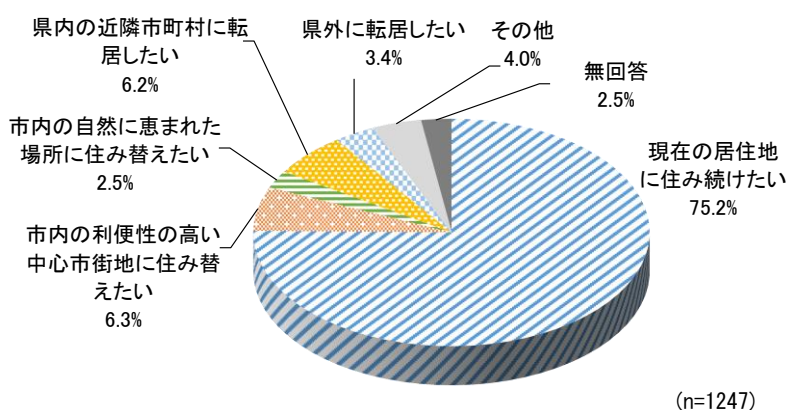
質問 9 今後も中野市に住み続けたいと思いますか。(該当する番号1つに○を付けてください。)

①【質問9】単純集計

質問9の単純集計結果（市全体の傾向）を以下に示します。

今後の居留意向として、「現在の居住地に住み続けたい(75.2%)」が約8割を占めています。また、「市内の利便性の高い中心市街地に住み替えたい(6.3%)」と、「市内の自然に恵まれた場所に住み替えたい(2.5%)」を合わせた、市内へ転居する意向のある方は、8.8%ですが、「県内の近隣市町村に転居したい(6.2%)」と、「県外に転居したい(3.4%)」を合わせた、市外へ転居する意向のある方は、9.6%で市内を上回っています。

【質問9：単純集計結果】



《「その他」の回答一覧》

[未定・わからない]

- 未定
- わからない（未定）
- わかりません。
- 将来のことは分からない。
- まだ、何も考えてない。
- なんとも言えない。
- 特に意向なし。
- 特に希望がない。
- 特に考えていない。

[場所へのこだわりがない]

- 生活できればどこでもいい。
- 長野でもよい。
- 別にこだわらない。安全、安心な場所、公共交通の良い所なら。

[今後の状況による]

- 県内にはいたいが、転居は就職・結婚による。
- 今は運転ができるが、不可能になった時は、不便だがなんとか住まなければならない。(子供の住む都市部へ行かざるを得ないかも！)
- 親、自分自身の老後とコロナの状況による。
- 夫といる間は住み続けたいが1人になったらわからない。

[仕事の状況による]

- 仕事しだい
- 転勤による

[嫁いで来たので転居できない]

- 嫁いでこの地に来たのでここで暮らす他に選択肢はない。
- 嫁に来たので、転居できない。

[転居するか迷っている]

- 雪も少なく住みやすいから良いのですが現在中野市で土地を探して自分達で家を建てたいと思っていますが条件に合う土地が見つからず飯山市が1番の候補に上がっています。
- 迷っている。
- 迷っている。郡外の親の介護や自分の老後を考えどこが良いか模索中。

[自然に恵まれた場所、災害や雪の少ない場所に転居したい]

- 河川の洪水被害のない場所に転居したい。
- 災害のない地区。
- 災害の心配がなく自然豊かな場所に住みたい。
- 次の災害で自宅被害があったら市外に転居したい。
- 自然に恵まれた場所に住みたい。
- 水害、雪害の少ない、無い、自然に恵まれた所。
- 雪の心配のない大通アクセスのいい場へ行きたい。
- 冬に備えて日当りの良い所。

[自然に恵まれた場所、災害や雪の少ない場所に転居したい]

- 河川の洪水被害のない場所に転居したい。
- 災害のない地区。
- 災害の心配がなく自然豊かな場所に住みたい。

[転居したい・住み続けたいと思わない]

- 市外に転居したい。
- 思わない。
- 自分の実家に転居したい。

[転居する予定]

- いずれは市外の実家に戻る予定。
- 就学するので他県に行く。

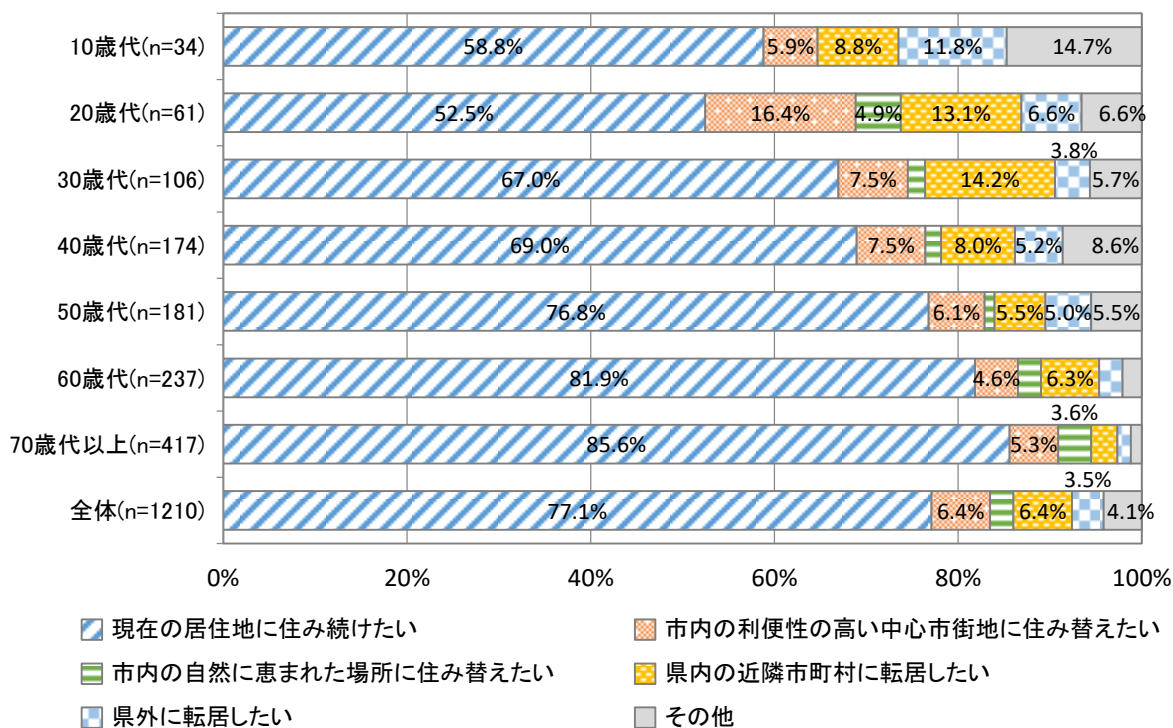
[その他]

- 住み続けにくい。
- 年齢的に希望を持ってない。

②【質問9】クロス集計：年齢

「現在の居住地に住み続けたい」の回答割合は、年代が上がるほど高くなっています。

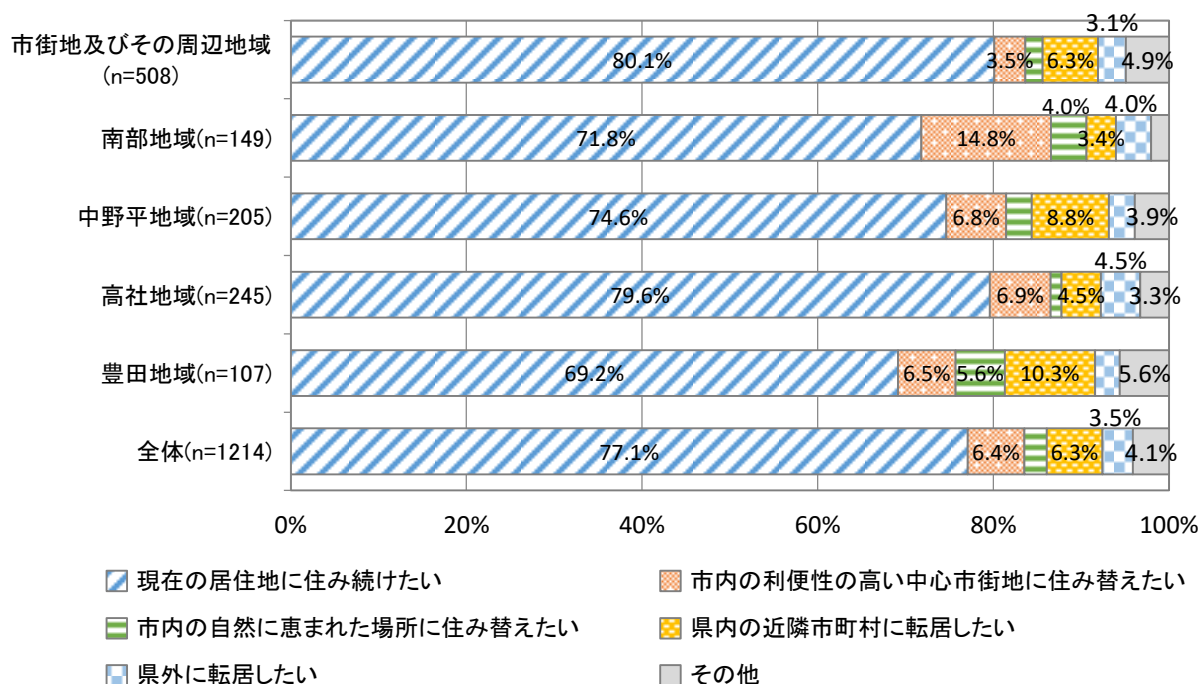
【質問9：クロス集計結果（年齢）】



③【質問9】クロス集計：居住地域

「現在の居住地に住み続けたい」の回答割合が最も高いのは「市街地及びその周辺地域」であり、最も低いのは豊田地域となっています。

【質問9：クロス集計結果（居住地域）】



質問 10

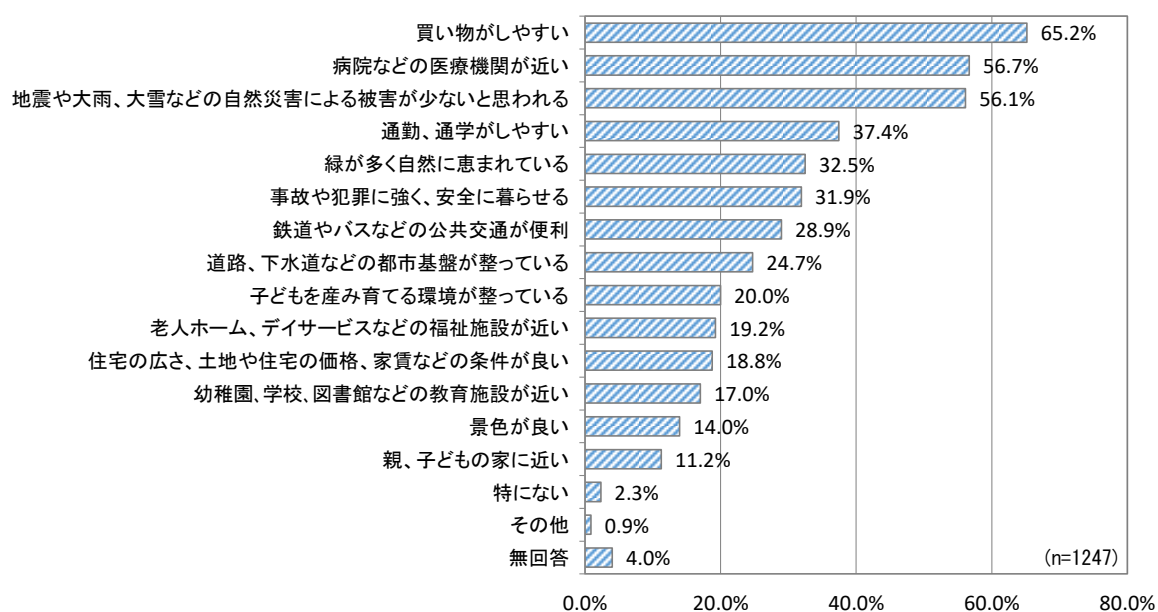
あなたが居住地を選択する際に重視することを教えてください。(該当する番号を5つまで選んで○を付けてください。)

①【質問 10】単純集計

質問 10 の単純集計結果（市全体の傾向）を以下に示します。

居住地を選択する際に、「買物がしやすい(65.2%)」、「病院などの医療機関が近い(56.7%)」、「地震や大雨、大雪などの自然災害による被害が少ないと思われる(56.1%)」といったことが重視されています。

【質問 10：単純集計結果】



《「その他」の回答一覧》

[子育て・学校教育関連]

- 学校関係により移転も視野となる。

[居住環境関連]

- 地区の区費や清潔な環境（ごみ捨て場）
- ゴミが道に捨てられない市町村
- 音が静か
- 静かな場所
- 空家ばかりで景色が悪い。

[都市基盤関連]

- 道幅がせまい！土地さがしをしていてどこも良い土地があっても道路の幅がせまく条件から外れる。

[その他]

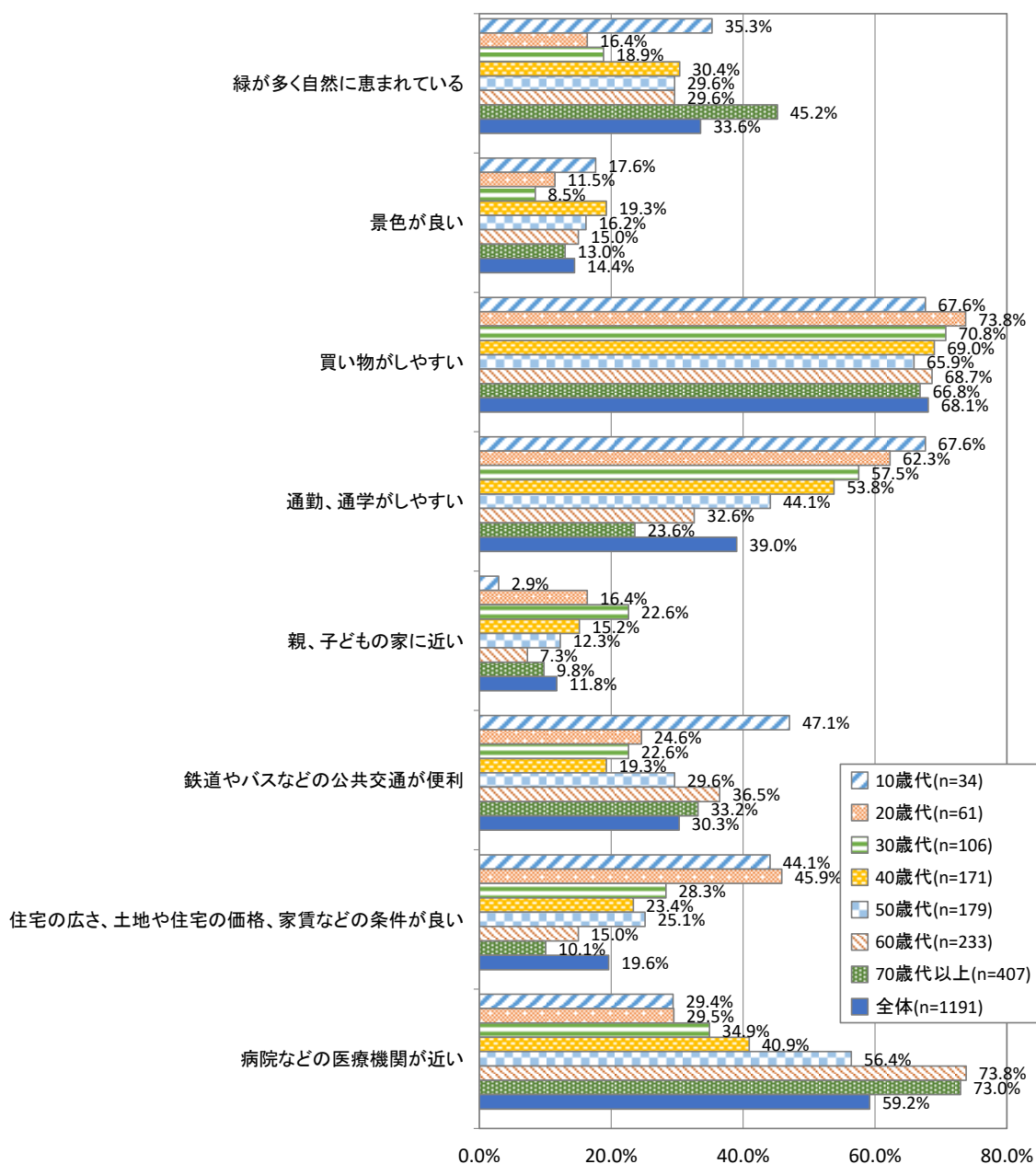
- 登記されていない水路は止めてほしい。
- これから居住地を選択するつもりはありません。

②【質問 10】クロス集計：年齢

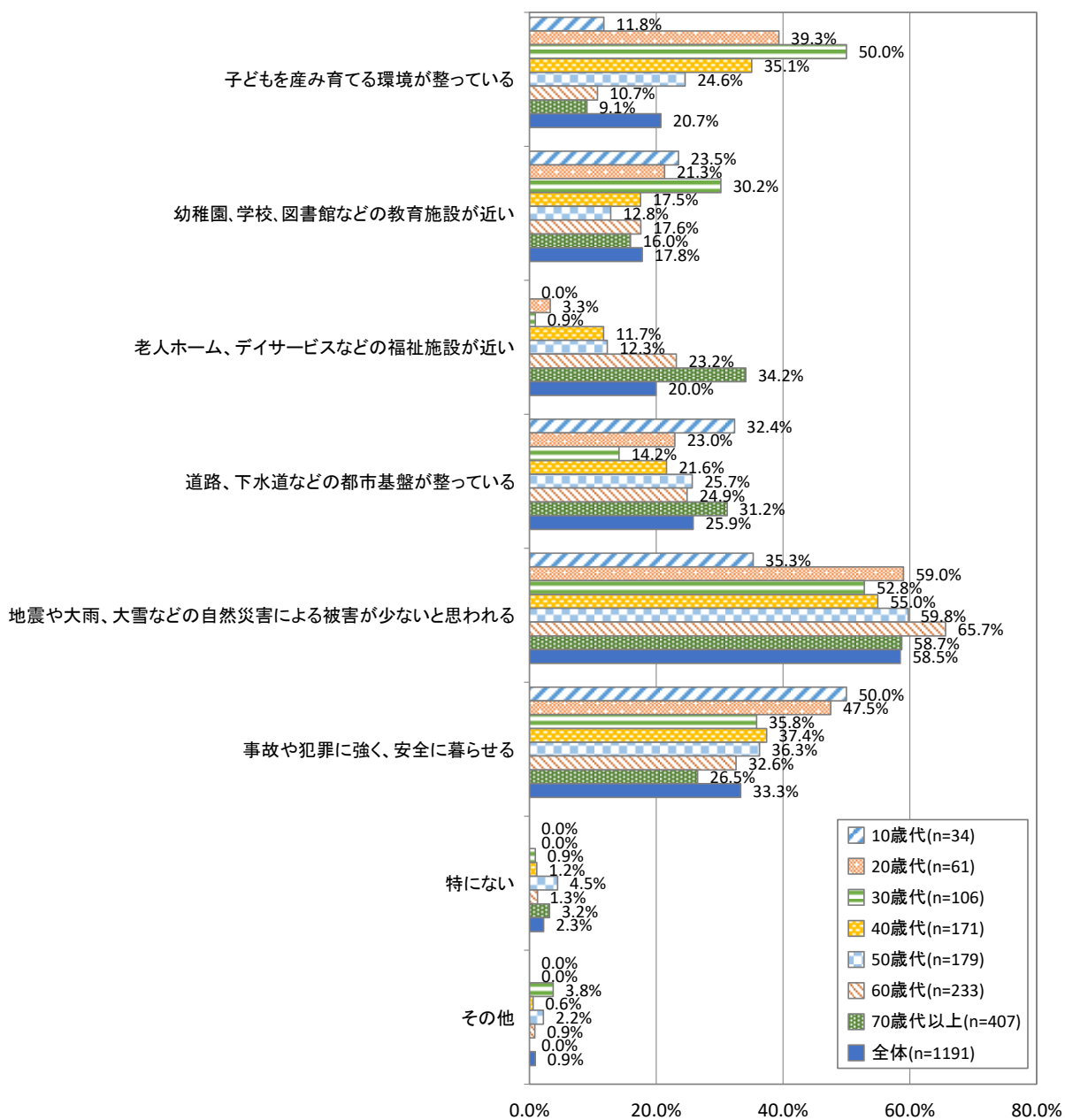
「通勤、通学がしやすい」は、若い年代ほど回答割合が高くなっています。「病院などの医療機関が近い」は、年代が上がるにつれて回答割合が高くなっており、特に 50 歳代以上ではその傾向が顕著となっています。「子どもを産み育てる環境が整っている」は 30 歳代で特に回答割合が高くなっています。

「事故や犯罪に強く、安全に暮らせる」は、若年層ほど回答割合が高くなっています。

【質問 10：クロス集計結果（年齢） 1/2】



【質問 10：クロス集計結果（年齢） 2/2】



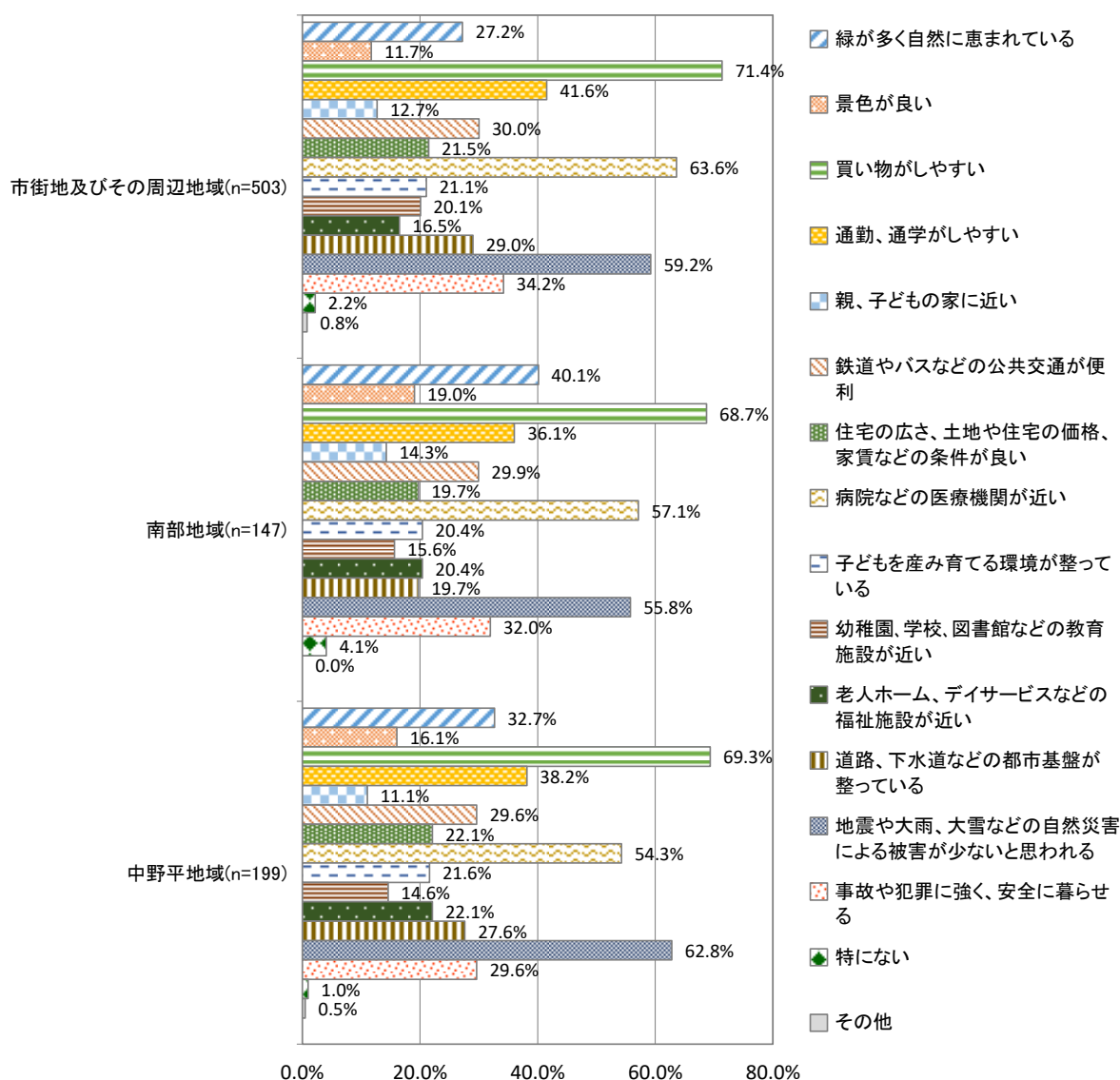
③【質問 10】クロス集計：居住地域

「買い物がしやすい」、「病院などの医療機関が近い」の回答割合が最も高かったのは市街地及びその周辺地域となっています。

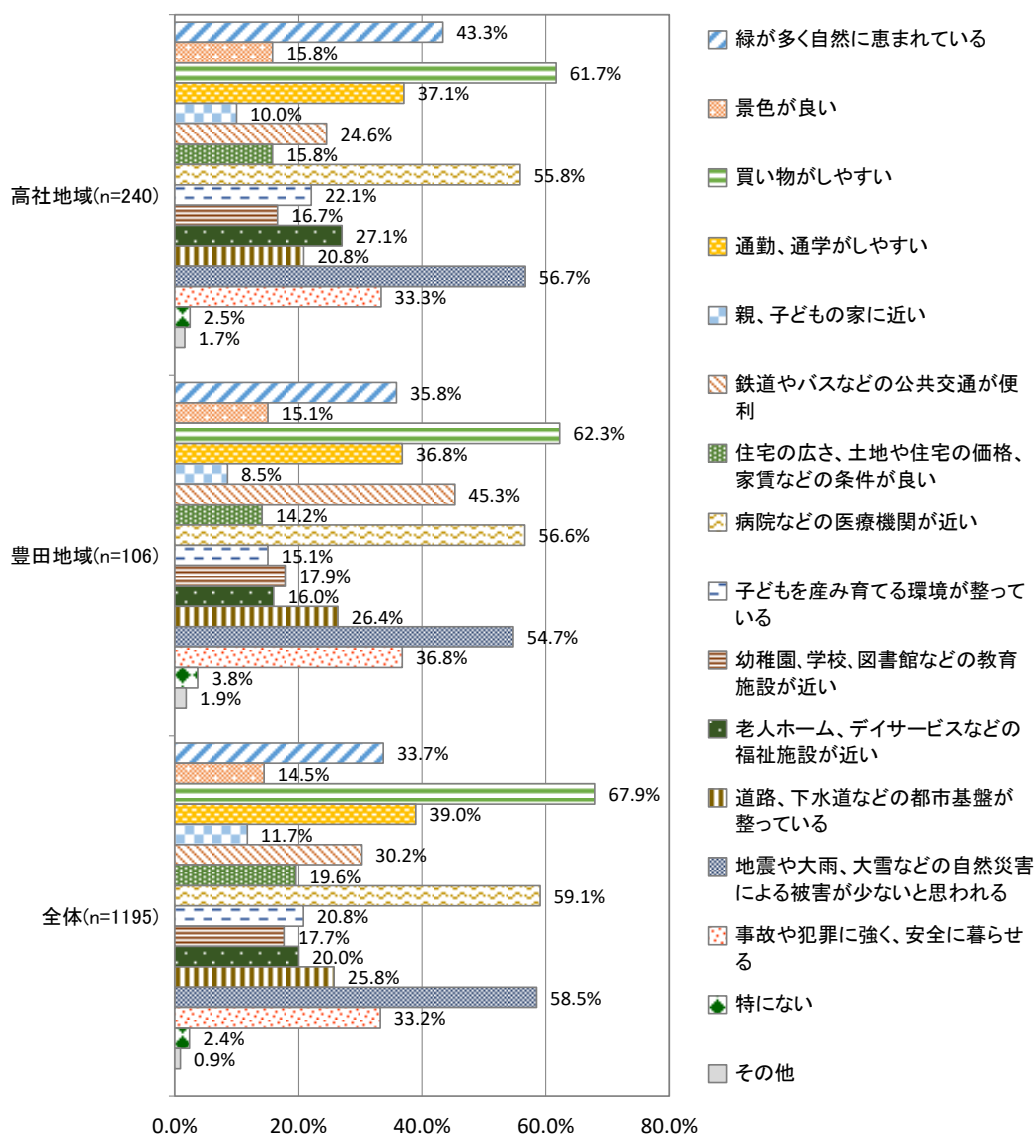
高社地域は、「緑が多く自然に囲まれている」と、「老人ホーム、デイサービスなどの福祉施設が近い」の回答割合が他の地域と比べて高くなっています。

豊田地域では、「鉄道やバスなどの公共交通が便利」の回答割合が他の地域と比べて高くなっています。

【質問 10：クロス集計結果（居住地域） 1/2】



【質問 10：クロス集計結果（居住地域） 2/2】



2-4 あなたの日常生活について【質問 11~12】

質問 11

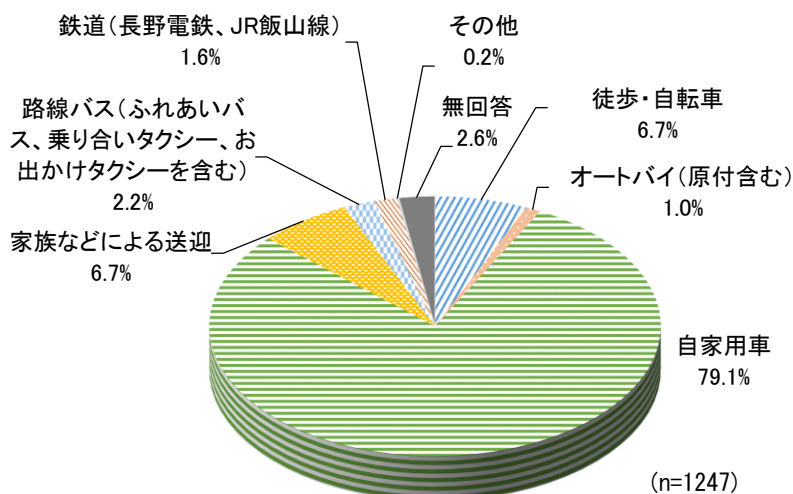
通勤・通学や買い物、通院など、外出する際に最も利用する交通手段を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください)

①【質問 11】単純集計

質問 11 の単純集計結果（市全体の傾向）を以下に示します。

外出時に最も利用する交通手段として、「自家用車(79.1%)」が約8割を占めています。「路線バス(ふれあいバス、乗り合いタクシー、お出かけタクシーを含む)(2.2%)」や、「鉄道(長野電鉄、JR飯山線)(1.6%)」といった公共交通を利用している方は、各々2%前後となっています。

【質問 11：単純集計結果】



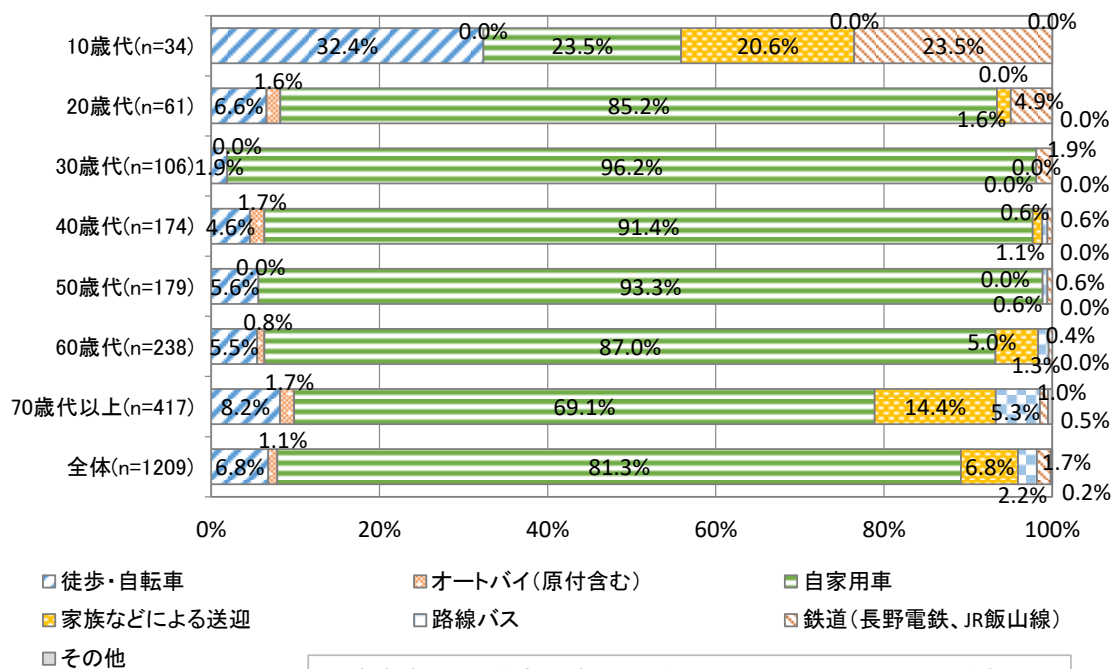
≪「その他」の回答一覧≫

- タクシー
- 免許を返納してまっぴらから不便そのもの。家族にも迷惑かけられず、家にこもりがちになる。
- わからない(未定)

②【質問 11】クロス集計：年齢

10 歳代と 70 歳代以外のすべての年代において、自家用車が概ね 9 割程度となっています。路線バスについては、60 歳代未満の年代は 1 %未満となっています。

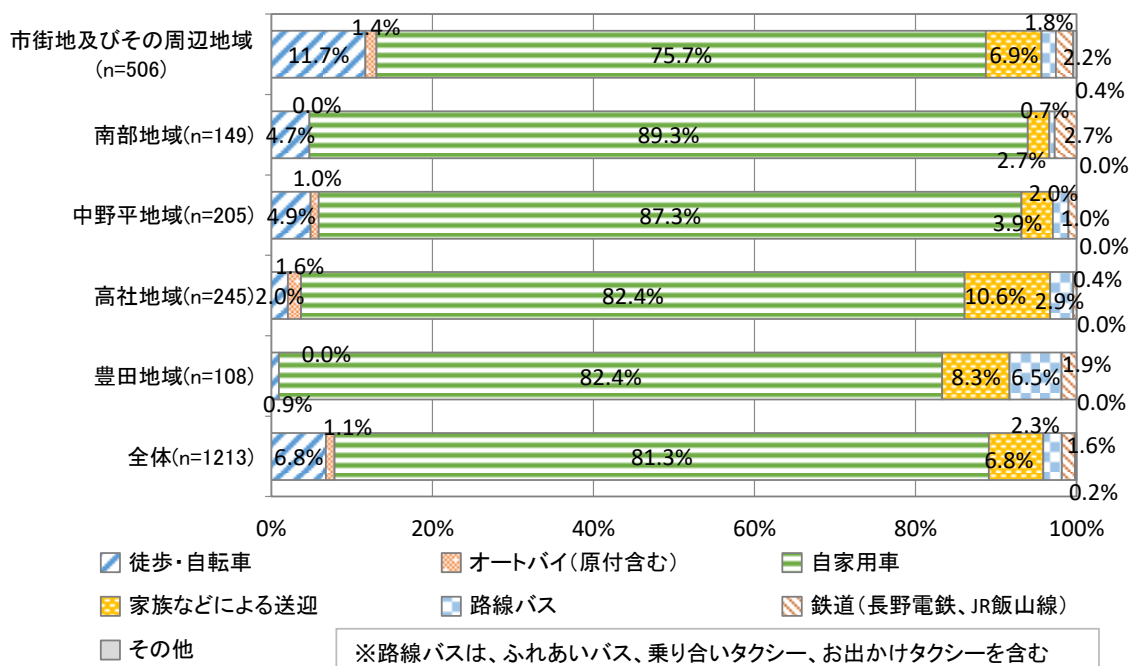
【質問 11：クロス集計結果（年齢）】



③【質問 11】クロス集計：居住地域

市街地及びその周辺地域以外の地域では自家用車が 8 割以上となっています。路線バスの回答割合が最も高いのは豊田地域となっています。

【質問 11：クロス集計結果（居住地域）】



質問 12

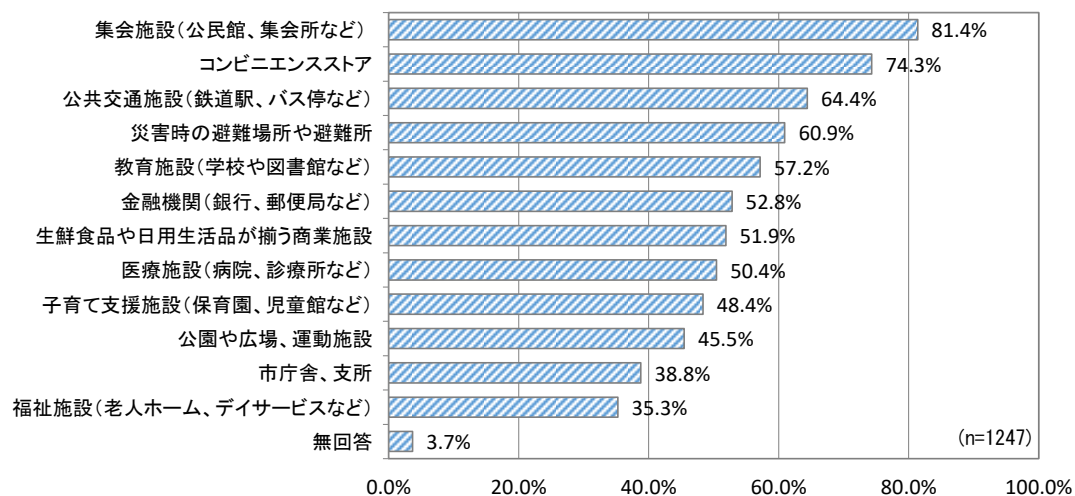
現在のお住まい（自宅）から、徒歩や自転車で行ける範囲（概ね2 km程度）にある施設を教えてください。（該当する番号をすべて選んで○を付けてください。）

①【質問 12】単純集計

質問 12 の単純集計結果（市全体の傾向）を以下に示します。

自宅から徒歩や自転車で行ける範囲にある施設として、「集会施設(81.4%)」、「コンビニエンスストア(74.3%)」、「公共交通施設(鉄道駅、バス停など)(64.4%)」、「災害時の避難場所や避難所(60.9%)」の割合が高くなっています。

【質問 12：単純集計結果】



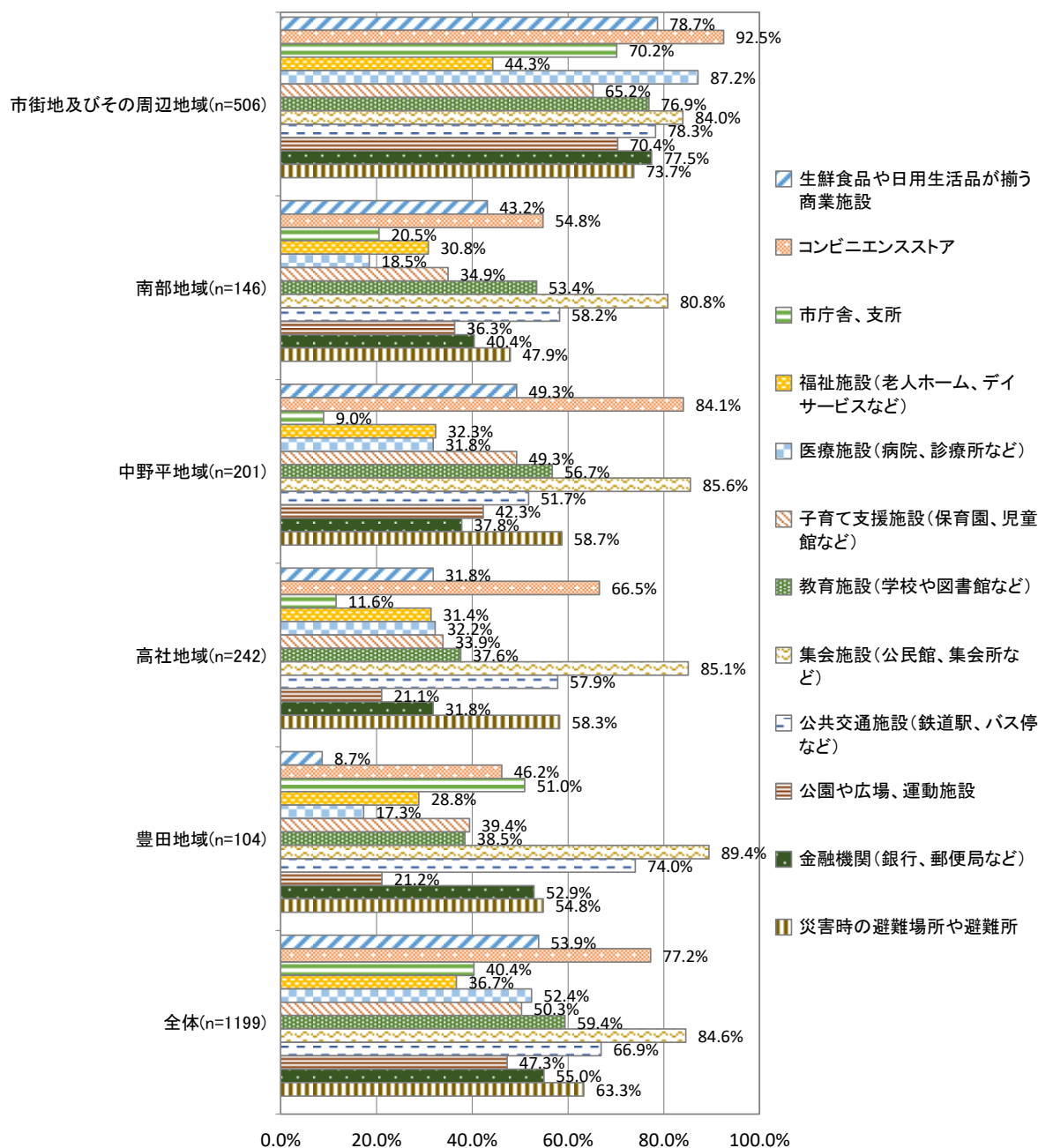
②【質問 12】クロス集計：居住地域

市街地及びその周辺地域では、福祉施設（老人ホーム、デイサービスなど）以外の施設で、約7割以上の方が徒歩・自転車で行ける範囲と回答しています。

豊田地域では、特に「生鮮食品や日用生活品が揃う商業施設」、「医療施設（病院、診療所など）」において徒歩・自転車で行ける範囲と回答した割合が、他地域と比較して低くなっています。

高社地域では「公園や広場、運動施設」の回答割合が、全地域の中で最も低くなっています。

【質問 12：クロス集計結果（居住地域）】



2-5 日常生活を支える施設のあり方について【質問13~14】

質問13

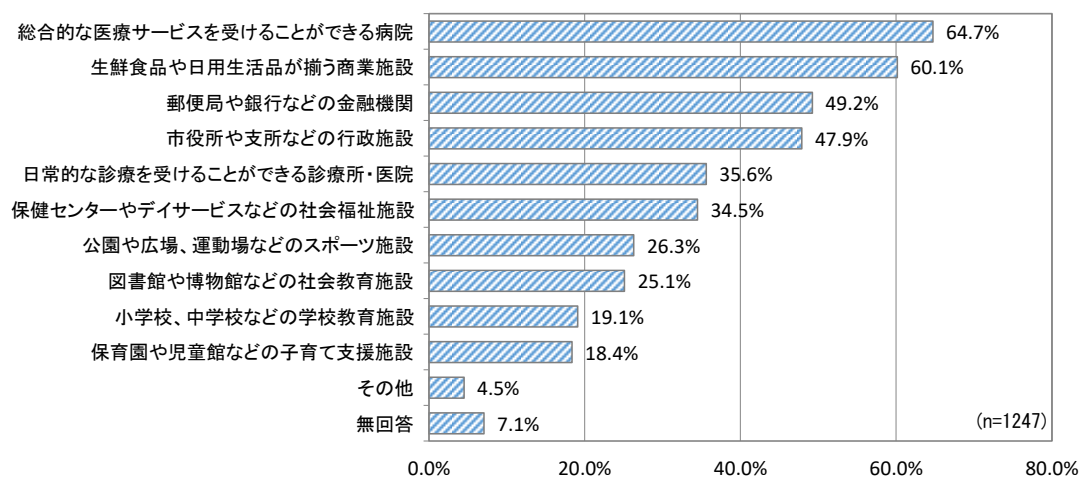
中野市の中心市街地（信州中野駅周辺）で維持・充実すべきだと思う施設を教えてください。（該当する番号を5つまで選んで○を付けてください。）

①【質問13】単純集計

質問13の単純集計結果（市全体の傾向）を以下に示します。

中心市街地（信州中野駅周辺）で維持・充実すべき施設として、「総合的な医療サービスを受けられる病院（64.7%）」、「生鮮食品や日用生活品が揃う商業施設（60.1%）」の割合が特に高く、次いで「郵便局や銀行などの金融機関（49.2%）」、「市役所や支所などの行政施設（47.9%）」の割合が高くなっています。

【質問13：単純集計結果】



《「その他」の回答一覧》

[商店・コンビニエンスストア]

- お菓子屋さん、若者が好むお店
- コンビニエンスストア
- 駅前にコンビニが欲しい
- 昔からある商店街

[飲食店・カフェ・居酒屋]

- カフェなど
- 飲み屋
- 飲食店、カフェ等
- 居酒屋などの飲食店

[複合型商業施設]

- アウトレットモール
- ショッピングモール
- ネットキッサー←宿泊・シャワーのあるやつ、ハローワーク、大型電家店、回転ズシ、100均ショップ
- よりどころとなる空間。公園。お茶。特産物
- 駅ビル
- 電車利用の学生等が待ち時間に気軽に立ち寄れる場所やお店（カフェ・雑貨等）

[遊戯施設・娯楽施設・スポーツ施設]

- 若者の遊べる施設
- スポーツジム（大型）

[劇場・イベントホール]

- 音楽会やイベントの開催できるホール。
- 今のままで十分ですが、文化、芸術に関する施設があると良い。特に施設はなくてもどこかの施設を利用して子供達に本物を見たり、聴いたりさせたいと思う。
- 小劇場
- 文化会館

[観光関連施設・アンテナショップ]

- 観光施設
- 自市や姉妹都市の名産を扱うアンテナショップ

[宿泊施設・居住施設]

- 宿泊施設
- 中野市民、約全員が入れるタワーマンションと各施設（集積）

[子育て・学校教育施設]

- いじめ、先生の対応、登校拒否
- 大学

[避難施設]

- 災害時の避難施設

[駐車場・駐輪場]

- 駐車場
- 駐車場（無料）
- 電車利用のための駐輪場

[中心市街地に限定しないしてほしい]

- ここを中心だと考えていることじたい古い考え！駅前の道路拡張（電柱を地下等）で税金を多額に投入必要だったのか疑問！
- そもそも質問がおかしい！！中心市街地（中野駅周辺）→中心だけではなく市のはずれで医療でも買い出しでも苦勞している人がいるはず！！もっと深い所まで考えるべき
- 今の時代、運賃の高い長電は利用する事はないので駅周辺にお金をかけるなら、他の地域を整備すべき
- 市街地に人が集まる時代ではないので条例を変えて商業施設を郊外に出した方がよいと思います
- 中心よりも郊外にも目を向けてほしい
- 中心街よりも周辺の整備をすべき

[駅までのアクセスや公共交通を充実してほしい]

- 中心市街地までのアクセス
- 中野駅が遠いです
- 電車

[必要ない・要望はない]

- 必要無し
- 特になし
- 現状で十分
- 市役所、郵便局、銀行、小・中・高校等、中野市は整っていると思う。
- 生活習慣の固定化による為要望は持てない。

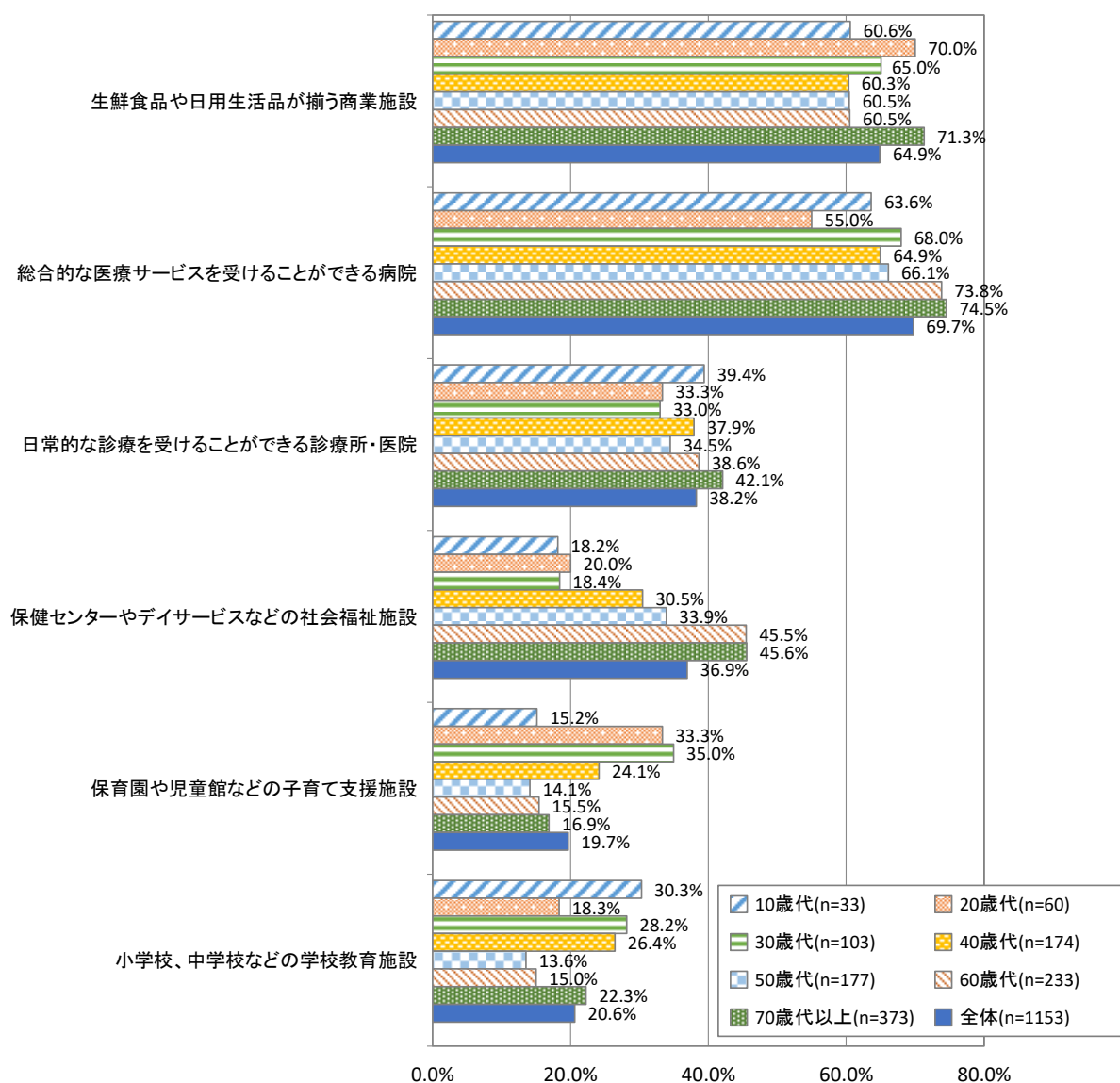
[わからない]

- 駅を使わないので分かりません
- 中心市街地には遠いのでよくわからない
- 中心地に遠いため特になし
- 日頃、利用していないのでわからない

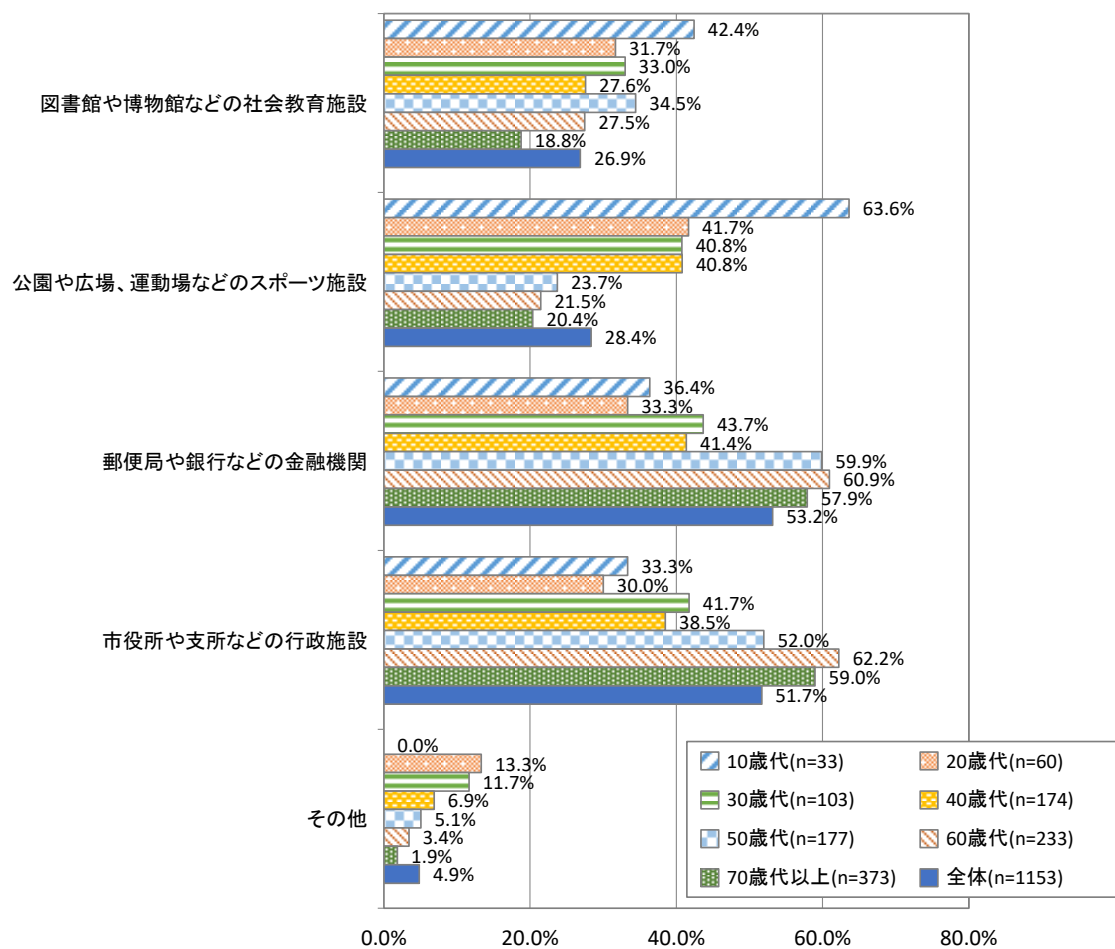
②【質問13】クロス集計：年齢

「生鮮食品や日用生活品が揃う商業施設」、「総合的な医療サービスを受けることができる病院」は、全世代共通して回答割合が高くなっています。「公園や広場、運動場などのスポーツ施設」は、若い年代ほど割合が高くなっており、特に10歳代ではその傾向が顕著となっています。また、「郵便局や銀行などの金融機関」、「市役所や支所などの行政施設」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっています。

【質問13：クロス集計結果（年齢）1/2】



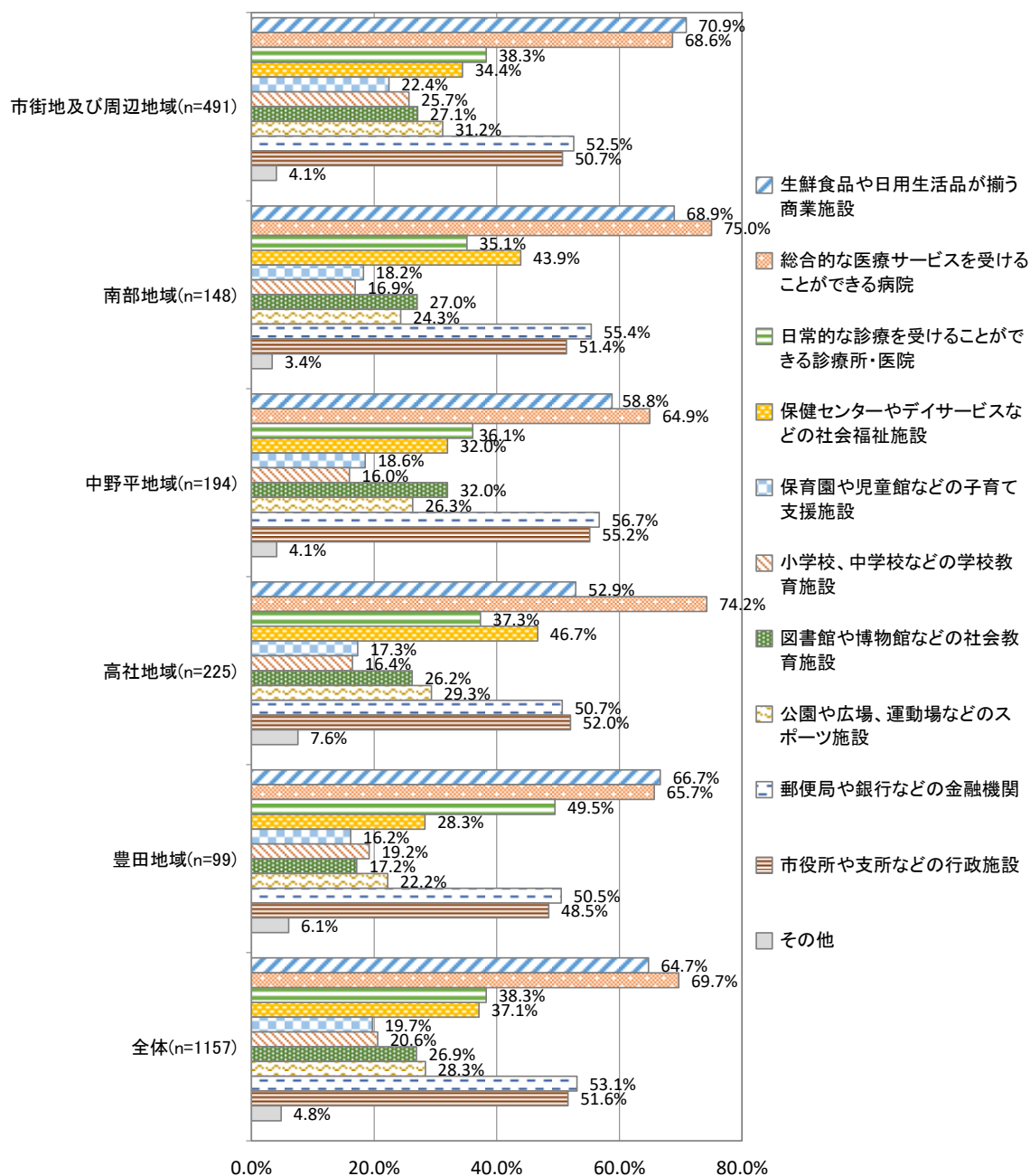
【質問 13：クロス集計結果（年齢） 2/2】



③【質問 13】クロス集計：居住地域

市街地及びその周辺地域、豊田地域では、「生鮮食品や日用品が揃う商業施設」の回答割合が最も高く、その他の南部地域、中野平地域、高社地域では、「総合的な医療サービスを受けることができる病院」の回答割合が最も高くなっています。

【質問 13：クロス集計結果（居住地域）】



質問 14

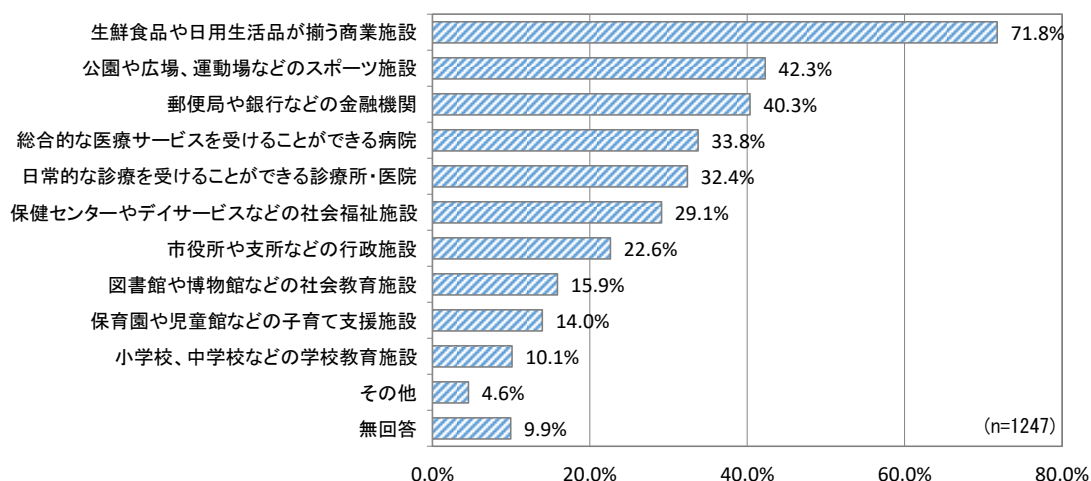
大規模商業施設などが集積する国道 292 号の沿道及びその周辺地域で維持・充実すべきだと思う施設を教えてください。(該当する番号を5つまで選んで○を付けてください。)

①【質問 14】単純集計

質問 14 の単純集計結果（市全体の傾向）を以下に示します。

国道 292 号の沿道及びその周辺地域で維持・充実すべき施設として、「生鮮食品や日常生活品が揃う商業施設(71.8%)」の割合が特に高く、次いで「公園や広場、運動場などのスポーツ施設(42.3%)」、「郵便局や銀行などの金融機関(40.3%)」、「総合的な医療サービスを受けられる病院(33.8%)」、「日常的な診療を受けられる診療所・医院(32.4%)」、「保健センターやデイサービスなどの社会福祉施設(29.1%)」、「市役所や支所などの行政施設(22.6%)」、「図書館や博物館などの社会教育施設(15.9%)」、「保育園や児童館などの子育て支援施設(14.0%)」、「小学校、中学校などの学校教育施設(10.1%)」、「その他(4.6%)」、「無回答(9.9%)」の割合が高くなっています。

【質問 14：単純集計結果】



≪「その他」の回答一覧≫

[衣料品店]

- 衣料品
- 衣料品の商業施設
- 衣料品店

[日用品店・生活雑貨店]

- スポーツ用品の施設、家具用品店がほしいです。

[コンビニエンスストア]

- コンビニ
- コンビニ等

[飲食店]

- レストラン
- 飲食できる店
- 飲食店
- 外食するところ
- 食事処

[複合型商業施設]

- あまり利用しないのでわからない。あったら行くかな？と思うのは総合大型店、大型店など

- 若者が好むお店
- 若者が利用しやすいショッピングモール

[遊戯施設・娯楽施設・スポーツ施設]

- スポーツジム（大型）
- スポーツ施設
- もう少しカラオケ、ゲームセンターなどの施設があると良いかなと思う（小・中・高の子供達や大人でも遊べる施設）
- 映画。買い物など若い人も遊べる場所
- 映画館などの娯楽施設
- 子供や若者たちが、楽しめる施設（遊んだり、スポーツもできたり）

[劇場・イベントホール]

- コンサートホール
- 文化施設

[観光関連施設・道の駅]

- テナントで各地名産を集めた食堂や居酒屋街
- 観光客が寄りやすい店
- 観光施設等
- 道の駅
- 道の駅など

[宿泊施設]

- 宿泊施設

[徒歩で利用できる商業施設]

- あまり歩いたり移動せずに手続や買物が出来る所がほしい

[場所を限定しないでほしい]

- やはり駅周辺と292沿いのことしか考えていないが、もっと広い地域を見るべきだと思う
- 市役所上部に1. 2が必要と思う

[施設より交通利便性を良くしてほしい]

- 交通の利便性
- 交通安全、速度規制すべき
- 公共交通機関施設
- 今の状況から、希望は、むしろかしいので、小型バスを増やし、市内100円で移動できるように、して頂いたほうが良いと思います。
- 混雑しない道路
- 施設の充実よりも交通手段ではないか。車を運転できる時は特に困らない。
- 自動車事故対策
- 信号機付踏切によるアクセスの改善
- 特になし。道路をよくしろ。

[遠いため利用しない]

- 遠いので特になし
- 遠すぎです

[必要ない・要望はない]

- なし、いらない
- もう十分（商業施設は）
- 現在の国道292号沿いは揃っていると思う。
- 現状維持
- 特になし

[その他]

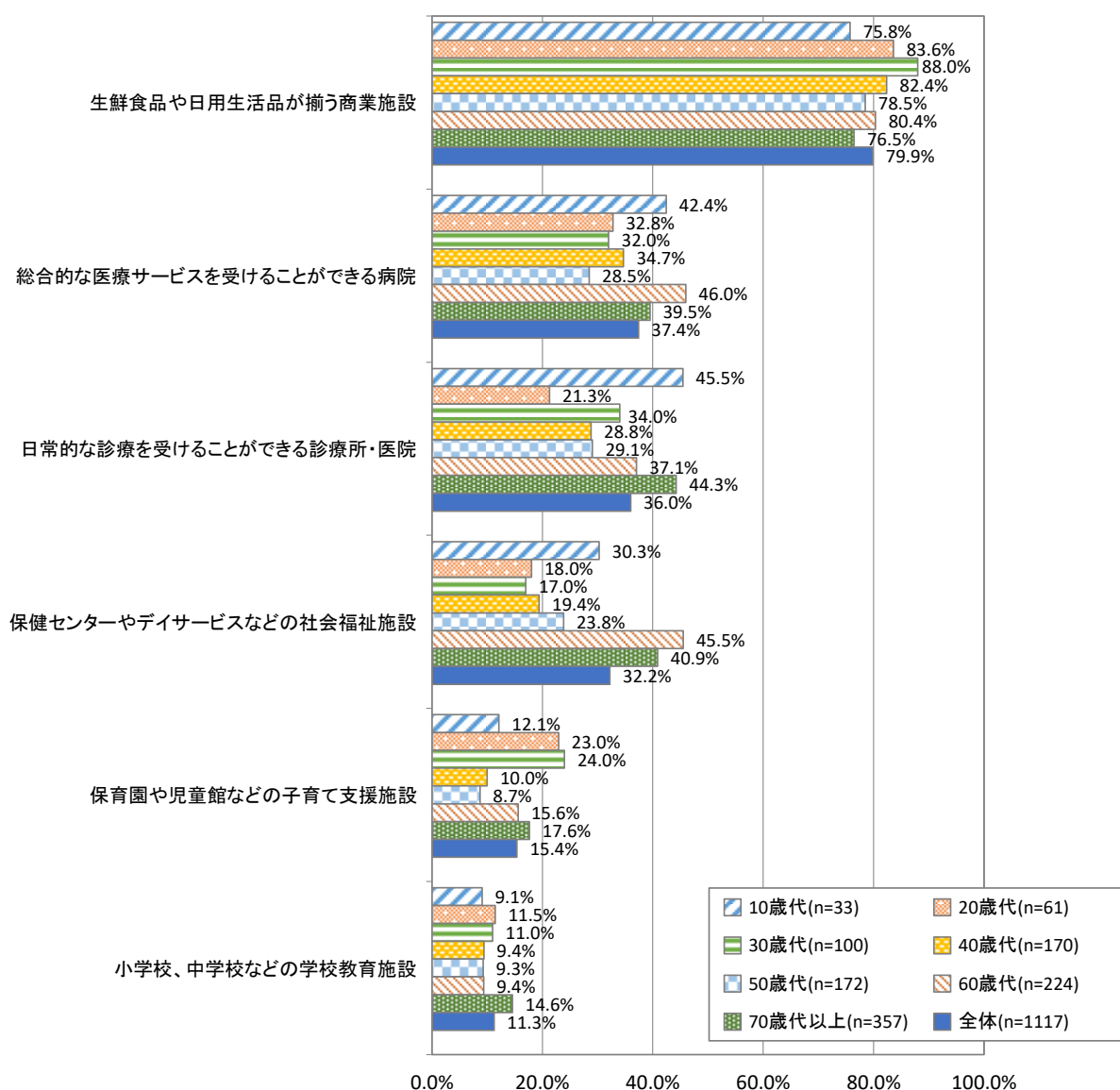
- ウォーキング用の街の灯（夜間）
- パチンコとホームセンター多すぎ
- 教育・文化芸術の施設と商業施設の領域は別にすべき
- 現在の閉鎖的人間関係の生活空間に於いては、どのような施設を構成しても、永続化はむしろかしいと思う。

- 三世代交流施設
- 自然環境の維持（色々な施設、建物が建ちすぎて住みにくくなっている）
- 中野市だけでなく山ノ内、飯山等北信でまとまって総合病院、ゴミ焼却等考えていかないと充実した施設となっていくかと思う。

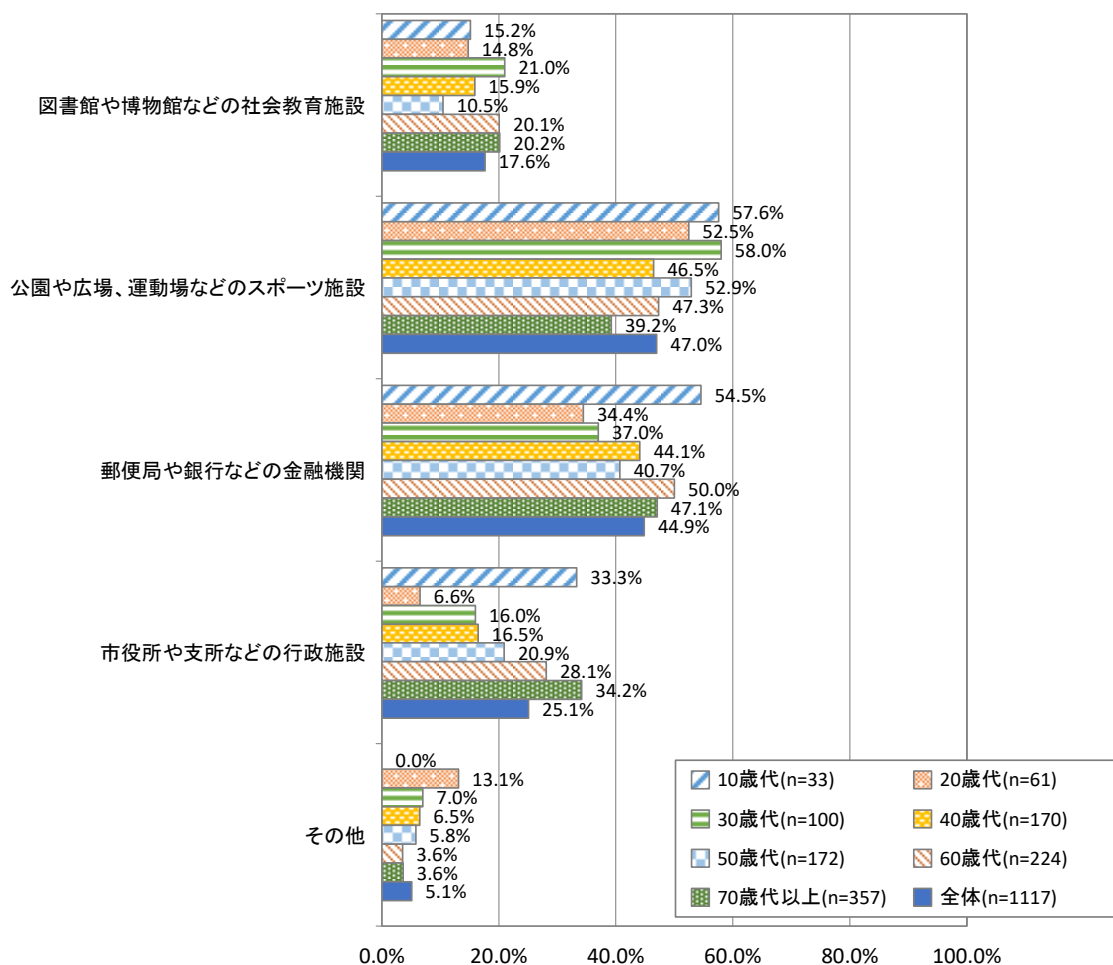
②【質問 14】クロス集計：年齢

「生鮮食品や日用生活品が揃う商業施設」の回答割合が、全世代共通して高い傾向があります。また、「公園や広場、運動場などのスポーツ施設」は、若い世代の割合が高く、「日常的な診療を受けることができる診療所・医院」や「保健センターやデイサービスなどの社会福祉施設」は、60歳以上の世代の割合が高くなっています。

【質問 14：クロス集計結果（年齢） 1/2】



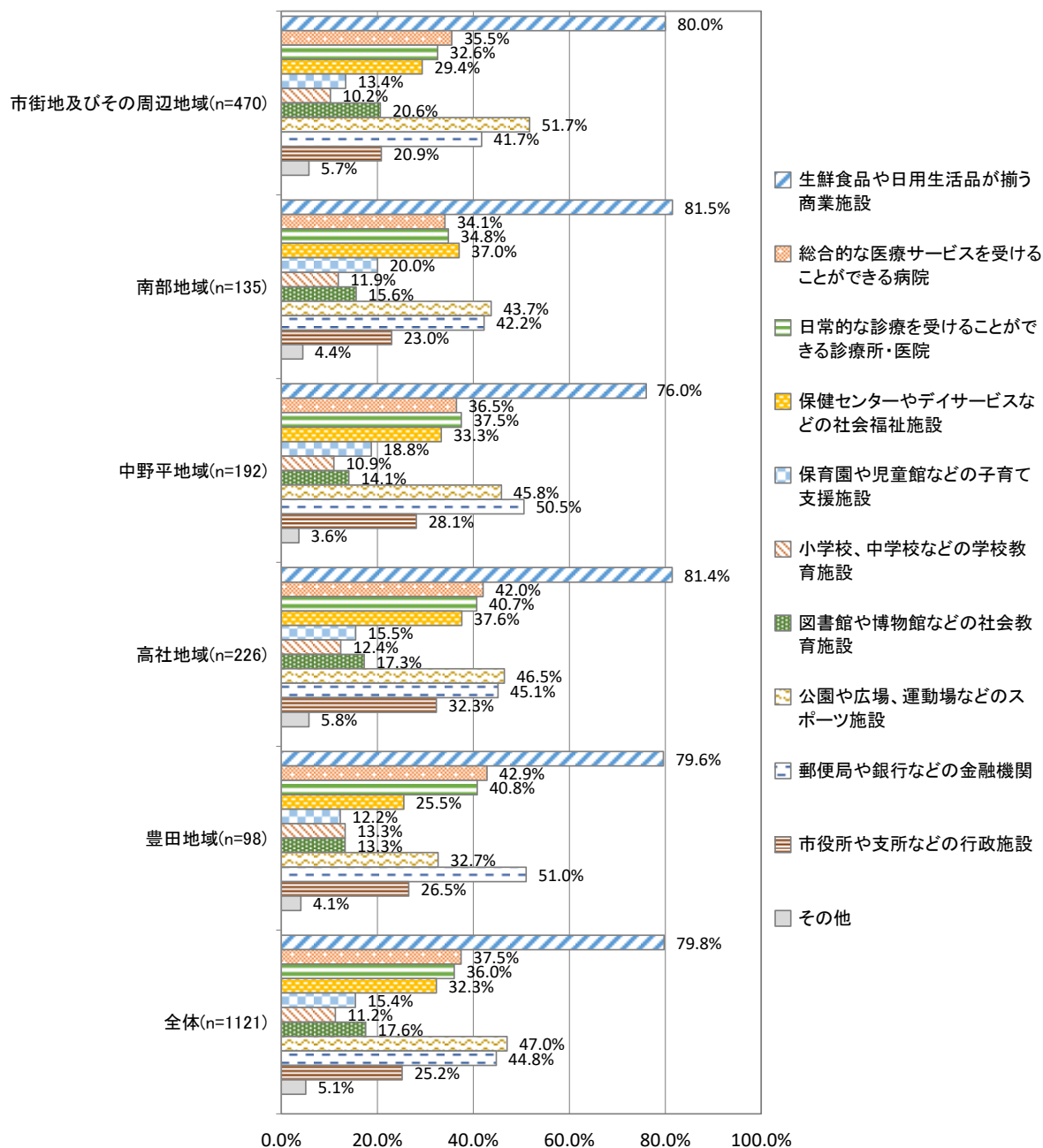
【質問 14：クロス集計結果（年齢） 2/2】



③【質問 14】クロス集計：居住地域

「生鮮食品や日用生活品が揃う商業施設」の回答割合が、全地域共通して最も高く、次いで、「公園や広場、運動場などのスポーツ施設」、「郵便局や銀行などの金融機関」の回答割合が高い傾向があります。

【質問 14：クロス集計結果（居住地区）】



2-6 安心・安全なまちづくりについて【質問 15~16】

質問 15

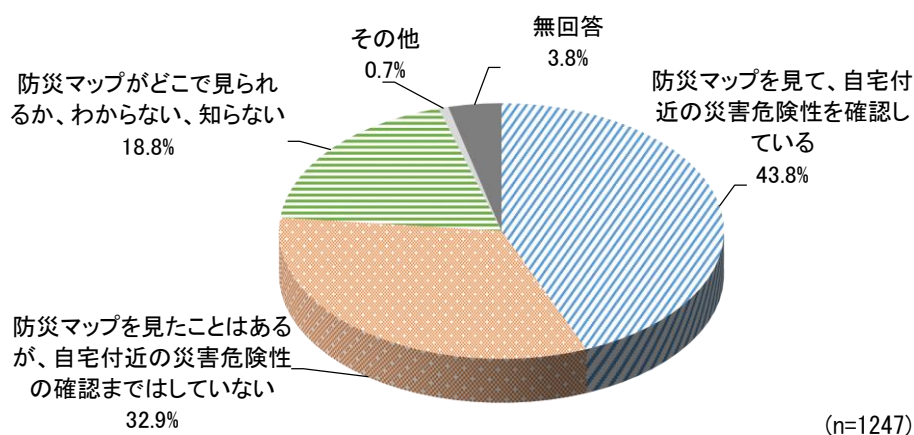
中野市では、浸水想定区域や土砂災害警戒区域などのハザードエリアや、避難場所の位置などをまとめた「防災マップ（ハザードマップ）」を作成し、公表しています。あなたは防災マップを見たことがありますか？（該当する番号1つに○を付けてください。）

①【質問 15】単純集計

質問 15 の単純集計結果（市全体の傾向）を以下に示します。

「防災マップを見て、自宅付近の災害危険性を確認している(43.8%)」が約 4 割を占めています。また、「防災マップを見たことがあるが、自宅付近の災害危険性の確認まではしていない(32.9%)」と、「防災マップがどこで見られるか、わからない、知らない(18.8%)」を合わせた、自宅付近の災害危険性の確認を行っていない方は約 5 割(51.7%)を占めています。

【質問 15：単純集計結果】



≪「その他」の回答一覧≫

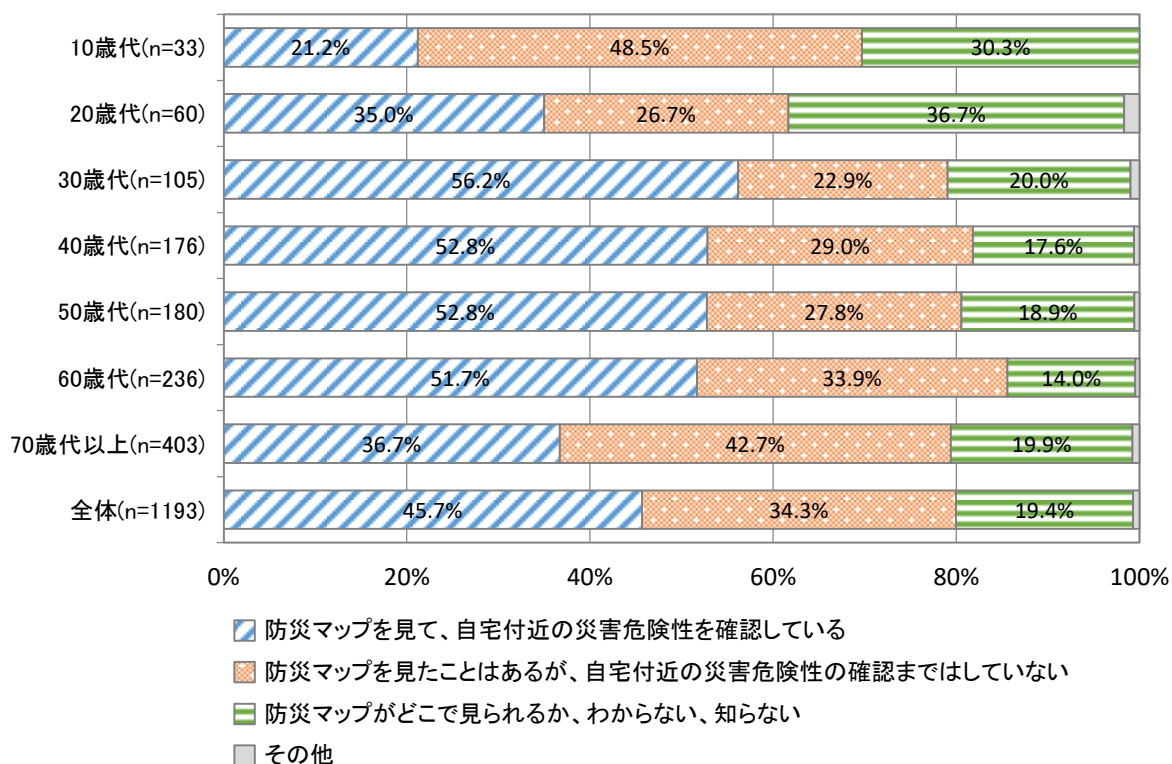
- アパートの内見の時に、不動産屋さんが見せてくれた。
- スマホアプリで調べて中野市の避難場所やマップを確認している。防災マップは防災用のカバンに入れてあります。
- 見易さの点で、どんな人がみてもわかるような表現ではない
- 自宅周辺は確認済み。拡大できず分かりづらい。
- マップがスマホで見られると思うが、見たことがない
- みてない。
- 見たことがない。
- 配布されましたが家族がどこかへしまっしまい、見てません。
- 防災マップ1軒ずつ配って下さい。みたことないです。
- 家族の指示に従う

②【質問 15】クロス集計：年齢

「防災マップを見て、自宅付近の災害危険性を確認している」の回答割合をみると、30歳代から60歳代では約50%と高い傾向がありますが、10歳代・20歳代・70歳代以上では、回答割合が低くなっています。

また、「防災マップがどこで見られるか、わからない、知らない」の回答割合をみると、30歳代から70歳代以上では20%前後、10歳代・20歳代では約30%と、防災マップを確認したことがない方が一定数存在しています。

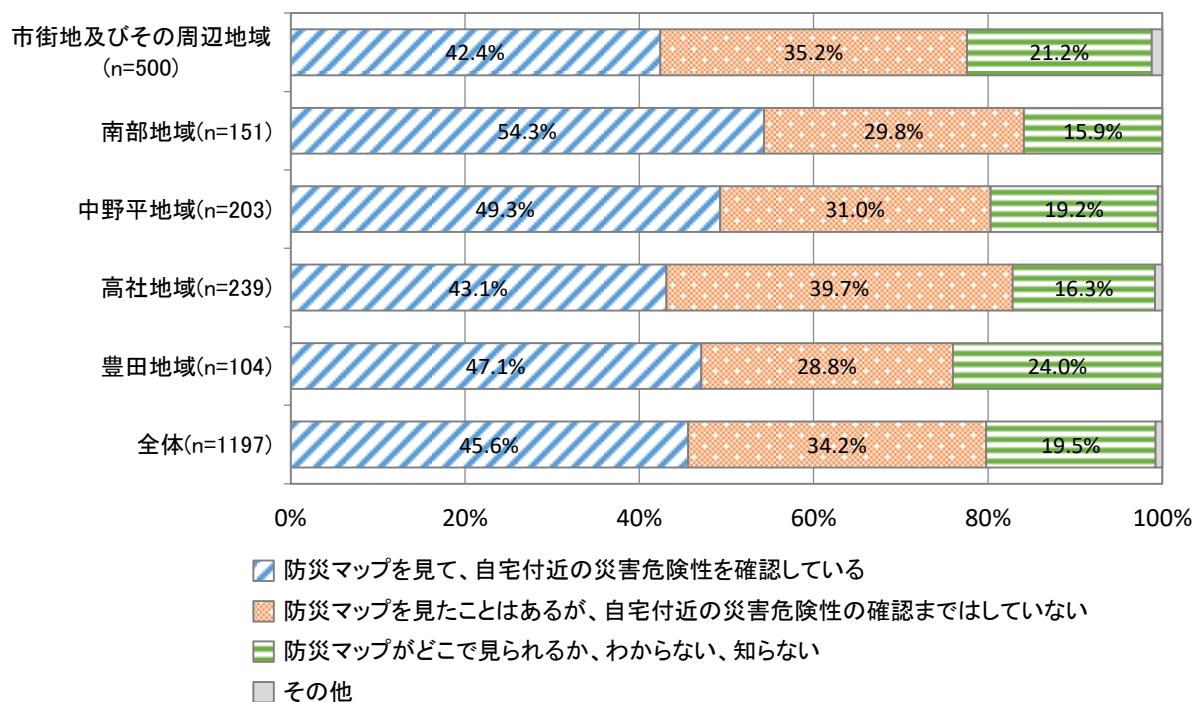
【質問 15：クロス集計結果（年齢）】



③【質問 15】クロス集計：居住地域

「防災マップを見て、自宅付近の災害危険性を確認している」の回答割合をみると、南部地域が 54.3% で最も高く、市街地及びその周辺地域で 42.4% と最も低くなっています。

【質問 15：クロス集計結果（居住地区）】



質問 16

近年、頻発・激甚化する自然災害に対する防災・減災対策として、重視すべきだと思う取り組みについて教えてください。

(1)

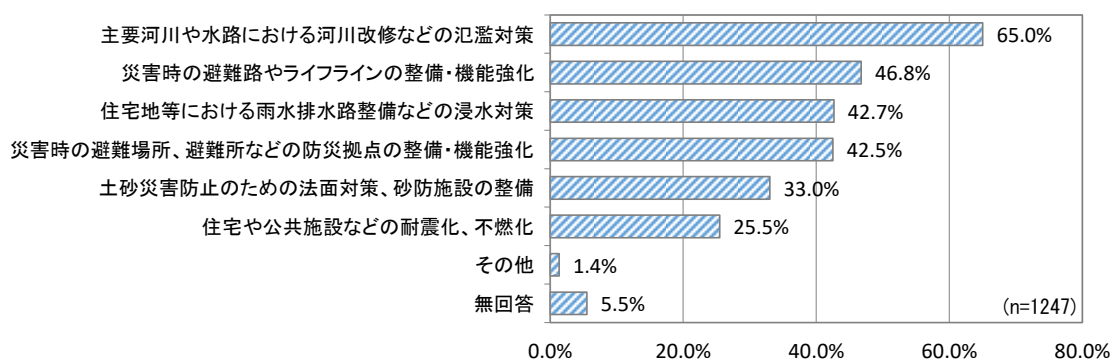
防災・減災に向けた「ハード対策」(3つまで選んで○を付けてください。)

①【質問 16(1)】単純集計

質問 16(1)の単純集計結果(市全体の傾向)を以下に示します。

ハード対策として、特に「主要河川や水路における河川改修などの氾濫対策(65.0%)」を重視している傾向があります。

【質問 16(1)：単純集計結果】



≪「その他」の回答一覧≫

[雪害対策]

- 除雪対策：業者まかせで市として何もしていない。ずさんな除雪で毎年苦労している。
- 雪の捨て場
- 冬の雪降った後の除雪、家の前を雪でふさがれ後始末が大変。言い方が悪いが下手。もっと丁寧にキレイにすべき。市民のためになっていない。

[氾濫対策]

- 特に小河川の氾濫対策—改修してほしい

[浸水対策・浸水想定区域の優先整備対策]

- ハザード地域からの転居支援
- 雨水が直接地に入るような道路
- 延徳・小沼地区周辺は緊急整備すべき！

[避難場所・避難施設の増設]

- 自宅近くに避難場所がある事
- 避難場所を増やしてほしい

[居住地の集約]

- 人間を1ヶ所に集める。居住地(街)

[温暖化対策]

- 温暖化対策

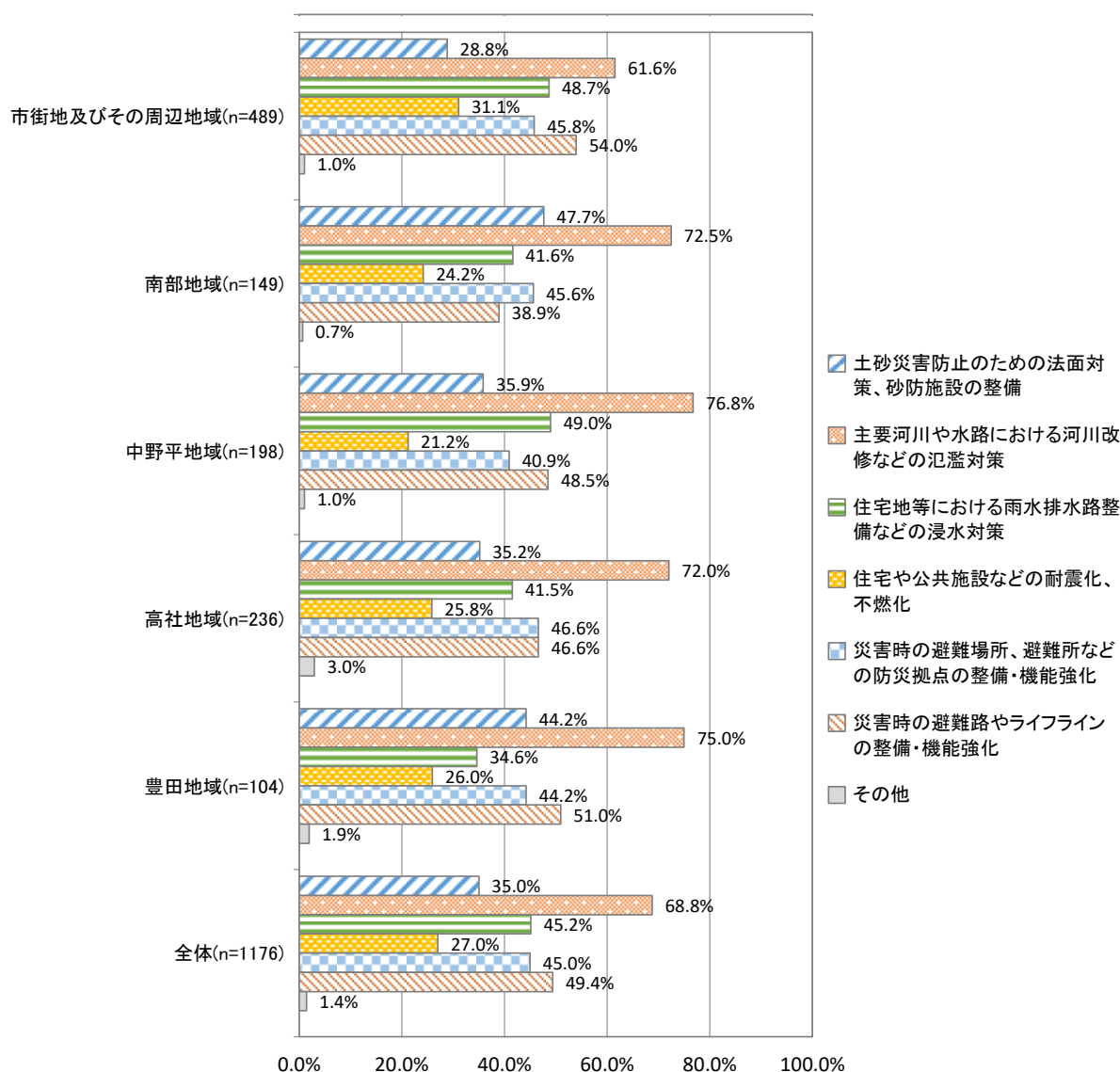
[その他]

- 自然の威力はすごい
- 住民全てが納得出来る都市計画は立つでしょうか？
- 登記されていない水路に困っている
- 住民参加（画）の対策※Q15の「マップの見方」研修なども含むとよい

②【質問 16(1)】クロス集計：居住地域

各地域共通して、「主要河川や水路における河川改修などの氾濫対策」の割合が最も高く、特に、千曲川や夜間瀬川、篠井川等の主要河川が位置している南部地域、中野平地域、高社地域、豊田地域では、その傾向が顕著となっています。

【質問 16(1)：クロス集計結果（居住地区）】



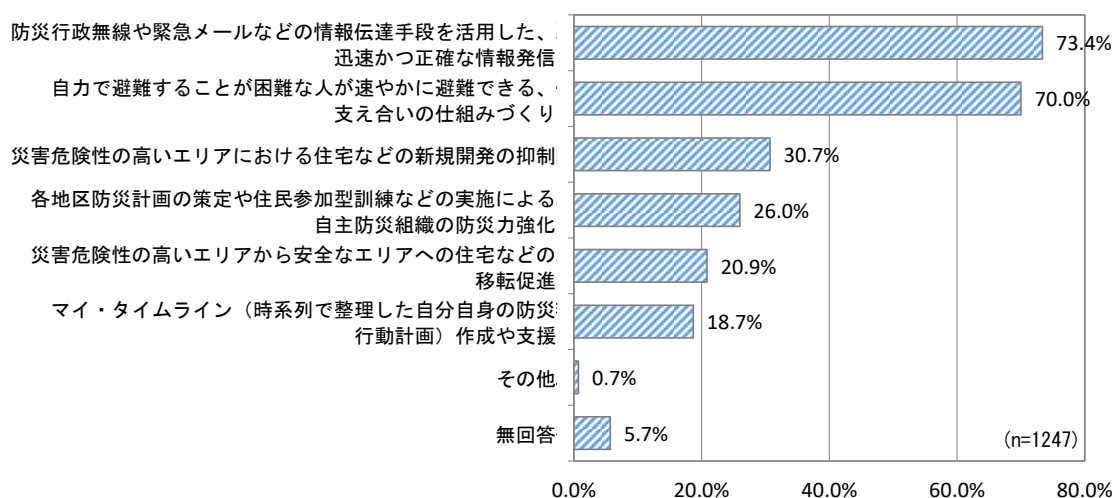
(2) 防災・減災に向けた「ソフト対策」(3つまで選んで○を付けてください。)

①【質問 16(2)】単純集計

質問 16(2)の単純集計結果(市全体の傾向)を以下に示します。

ソフト対策として、特に「防災行政無線や緊急メールなどの情報伝達手段を活用した、迅速かつ正確な情報発信(73.4%)」、「自力で避難することが困難な人が速やかに避難できる、支え合いの仕組みづくり(70.0%)」を重視している傾向があります。

【質問 16(2)：単純集計結果】



《「その他」の回答一覧》

[全市民対象の防災研修]

- 3年か5年に1回は全市民が受講すべきといったような条例づくりで参加を促す(役職研修だけでない)

[避難生活グッズの配布]

- 自宅で避難生活ができるような防災グッズの配布(ライフラインが止まった時に備えて)

[防災無線の点検整備]

- 豊歳行政無線は声が割れて情報が理解できない

[空き家の確認整備]

- 倒壊の恐れのある空き屋の整備

[浸水想定区域の優先的移転促進]

- 延徳小沼地区周辺住民は早急な移転促進をすべき。そうでなければ早急な防災整備必要!

[防災意識の醸成]

- 噴火、巨大地震のそなえ(ライフライン、経済復興、難民)自然の威力はすごい

[わからない]

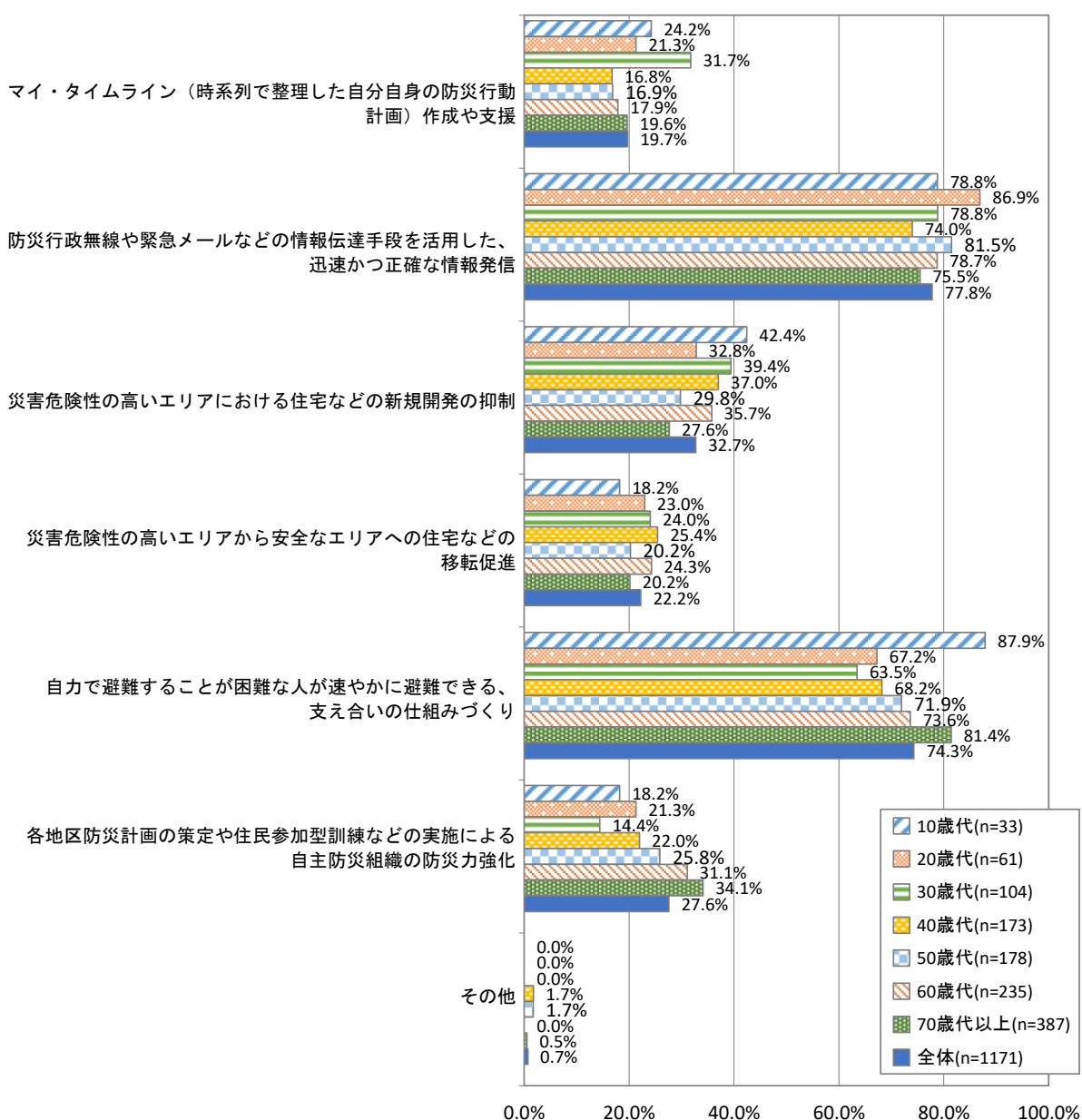
- よくわからない
- よくわかりません

②【質問 16(2)】クロス集計：年齢

各年代共通して、「防災行政無線や緊急メールなどの情報伝達手段を活用した、迅速かつ正確な情報発信」の回答割合が高くなっています。

また、「自力で避難することが困難な人が速やかに避難できる、支え合いの仕組みづくり」、「各地区防災計画の策定や住民参加型訓練などの実施による自主防災組織の防災力強化」は、年代が上がるほど、回答割合が高く、「災害危険性の高いエリアにおける住宅などの新規開発の抑制」は、若い年代の方の回答割合が高くなっています。

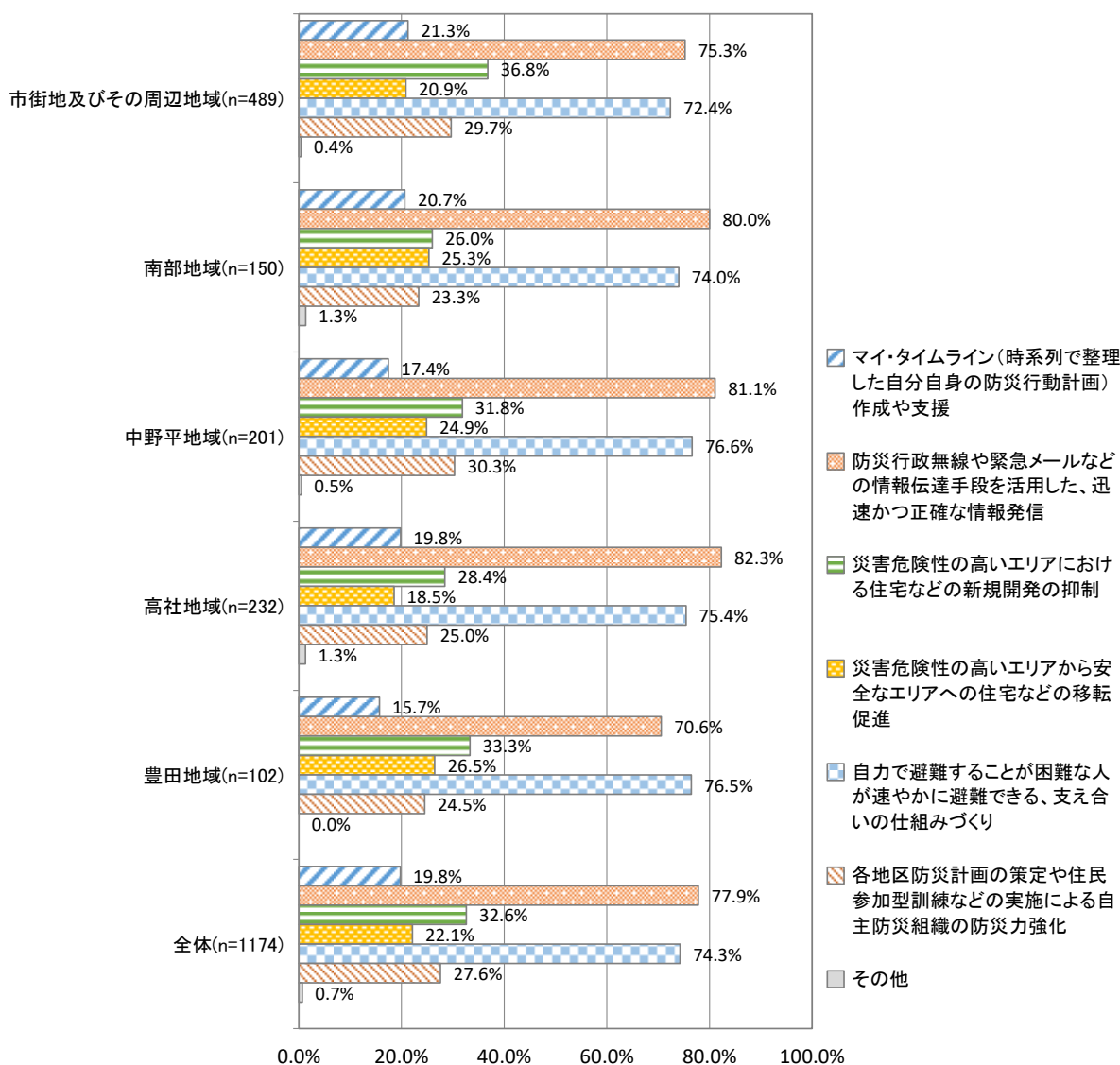
【質問 16(2)：クロス集計結果（年齢）】



③【質問 16(2)】クロス集計：居住地域

市街地及びその周辺地域、南部地域、中野平地域、高社地域では、「防災行政無線や緊急メールなどの情報伝達手段を活用した、迅速かつ正確な情報発信」の回答割合が最も高く、豊田地域では、「自力で避難することが困難な人が速やかに避難できる、支え合いの仕組みづくり」の回答割合が最も高くなっています。

【質問 16(2)：クロス集計結果（居住地域）】



【資料編】

■ 依頼文

中野市のまちづくりに関するアンケート調査 (調査ご協力をお願い)

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年、全国的に少子高齢化や人口減少等が進み、社会情勢は大きく変化しつつあります。中野市においてもこのような状況に対応していくため、都市計画に関する基本的な方針である「中野市都市計画マスタープラン」の見直し及び「中野市立地適正化計画」の策定を進めています。

これらの検討にあたり、市民の皆様のご意見やご提案をまちづくりの参考とさせていただきます。アンケート調査を実施することと致しました。

本調査は、市内在住の16歳以上の方から無作為に選ばせていただいた3,000人にご協力をお願いしています。ご回答頂きました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答のうえ期限までに返信くださるようご協力をお願い申し上げます。

令和3年9月

中野市長 湯本 隆英

【アンケート記入にあたって】

1. アンケートの記入方法について

- ご回答は、宛名にあるご本人がご記入くださいますようお願いいたします。但し、何らかの事情により、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方、介護者の方が代わりにお答えいただいても結構です。なお、**記名は不要**です。
- 回答は、番号を選択していただくものと、ご記入いただくものがあります。()内には、具体的な内容をご記入ください。

2. アンケートの回答方法について

- 本アンケートには、「A. 郵送による回答」と「B. インターネットによる回答^{※1}」の2つの回答方法があります。いずれの方法で回答して頂いても構いませんが、**どちらか1つの方法**にて回答いただきますようお願いいたします。
- インターネットでご回答の際には同封の調査票に記載されている**4桁の整理番号**が必要となりますので、回答ページでご入力をお願いします。
(この番号から個人が特定されることはありません。)

A. 郵送による回答

- ご記入が完了しましたアンケートは、**同封の返信用封筒**に入れ、**ポストにご投函**ください。(切手は不要です)

【回答期限】

9月28日(火)までに
ご回答ください。

B. インターネットによる回答

- 下記の方法でパソコンまたはスマートフォン^{※2}で回答ページにアクセスしていただき、ご回答ください。

「パソコン」
による回答を
希望される方

▼回答ページ(電子申請サービス)へのアクセス手順

中野市ホームページ → 暮らしの情報 → まちづくり → 中野市のまちづくりに関するアンケート

▼回答ページ URL

<https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2021082400098/>

「スマートフォン」
による回答を
希望される方

右のQRコードを
読取ることで、
スマートフォン専用
の回答ページ(電子
申請サービス)に
移動します。



※1 ながの電子申請サービス(県及び県内市町村で運営しているインターネット行政手続きサービス)を活用します。

※2 対応スマートフォン等 iPhone (iOS10以降)、Android系 (Android8.0以降)

【このアンケートについてのお問い合わせ先】

中野市役所 建設水道部 都市計画課 監理計画係 電話：0269-22-2111 (内線：269)

都市計画マスタープランとは？

- 土地利用や建物の建て方のルール、道路や公園などの計画を定めるものが「都市計画」です。さらに、より良いまちをつくっていくために、総合的な指針としてまとめたものが「都市計画マスタープラン」です。（都市計画法第18条の2により、市町村が定める）
- 「都市計画マスタープラン」では、長期的視点にたった都市の将来像を明確にし、その実現にむけての大きな道筋を明示します。
- 中野市では平成21年度に都市計画マスタープランを策定していますが、人口減少・少子高齢化の進行など社会・経済情勢の変化を踏まえ、都市計画マスタープランの見直しに着手していきます。

立地適正化計画とは？

- 平成26年8月に都市再生特別措置法の一部が改正され、立地適正化計画が制度化されました。
- 立地適正化計画の方向性として、**集約型都市構造**（市街地の無秩序な拡大を抑制し、公共交通にアクセスしやすい場所に居住や都市機能などを集積させる都市構造）を目指す取組を推進することが求められています。
- 立地適正化計画は、都市計画マスタープランの一部と見なされる計画です。

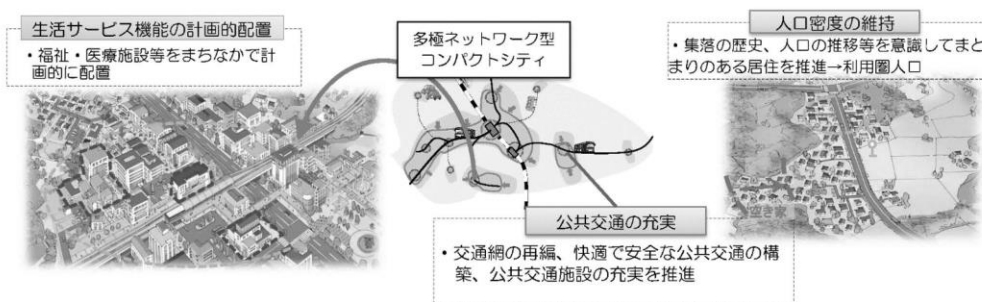
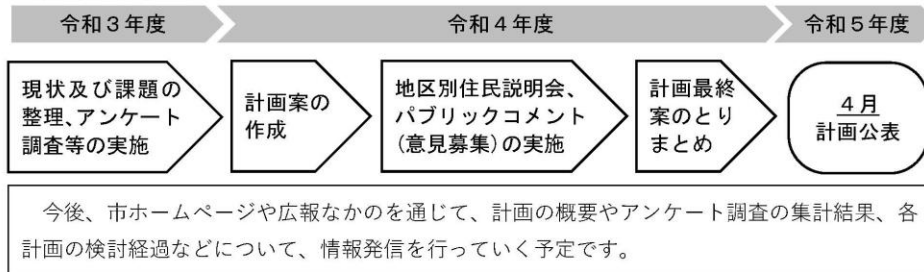


図 立地適正化計画策定の目的（国土交通省資料より）

《計画策定の流れ》



今後、市ホームページや広報なかのを通じて、計画の概要やアンケート調査の集計結果、各計画の検討経過などについて、情報発信を行っていく予定です。

2. 現在のお住まい周辺の住みやすさなどについて、お尋ねします。

質問6 「あなたのお住まい周辺」における「住みやすさ」について、あなたがどの程度満足しているか（満足度）、どの程度重要と考えているか（重要度）を教えてください。（○を満足度・重要度に1つつ付けてください。）

満足度について、「1 非常に満足」から「4 不満」の中で、該当する番号に○をしてください。
重要度も同様に○をしてください。

| | 満足度 | | | | 重要度 | | | | |
|-----------|------------------------|-----------|-----------|---------|------------|-----------|----------------|-------------|---|
| | 1 非常に満足 | 2 ほぼ満足 | 3 やや不満 | 4 不満 | 1 非常に重要 | 2 やや重要 | 3 あまり重要ではない | 4 重要ではない | |
| 土地利用・居住環境 | 1. 子ども・子育て世代の生活のしやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 2. 高齢者・障がい者の生活のしやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 3. 日照や静かさのある環境 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 4. 空き家・空き店舗の少なさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 5. 近隣の建物の密集や老朽の程度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 6. 近所での買い物の便利さ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 7. 市内の中心部での買い物の便利さ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 8. 工業団地の整備・工場などの立地状況 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 9. 優良な農地の保全 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 道路・交通 | 10. 歩行者に対する安全性 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 11. 道路の通行しやすさ（自転車・バイク） | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 12. 道路の通行しやすさ（自動車） | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 13. 広域（市外）への行きやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 14. 通勤・通学のしやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 15. 買い物への行きやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 16. 医療・福祉施設などへの行きやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 17. 鉄道の利用しやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 18. バスの利用しやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |

満足度について、「1 非常に満足」から「4 不満」の中で、該当する番号に○をしてください。
重要度も同様に○をしてください。

| | 満足度 | | | | 重要度 | | | | |
|-------|---------------------------|-----------|-----------|---------|------------|-----------|----------------|-------------|---|
| | 1 非常に満足 | 2 ほぼ満足 | 3 やや不満 | 4 不満 | 1 非常に重要 | 2 やや重要 | 3 あまり重要ではない | 4 重要ではない | |
| 公園・緑地 | 19. 森林など自然環境の保全 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 20. 寺社の境内地などの森の保全 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 21. 河川や湖など水辺空間の環境保全 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 22. スポーツ・レクリエーション施設・公園の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 23. 身近にある子どもの遊び場の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 24. 道路や公共施設の敷地の緑化 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 25. 民間施設や工場の敷地の緑化 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 景観 | 26. 沿道や街並み、家並みの美しさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 27. 水辺や眺望などの風景の美しさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 28. 駅周辺や市街地の都市景観の美しさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 29. 田園景観の美しさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 30. 寺社や文化財など歴史・文化的景観の保全状況 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 31. 看板やサインなど屋外広告物の規制 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 安全・安心 | 32. 火災、延焼に対する安全性 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 33. 地震に対する安全性 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 34. 土砂災害・風水害に対する安全性 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 35. 雪害に対する安全性 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 36. 避難場所・避難路の分かりやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 37. まちの防犯対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 市民参画等 | 38. ご近所付き合いの機会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 39. まちづくりへの市民参画の機会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 40. まちづくりに関する情報提供 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |

質問7 あなたは、中野市が将来どのようなまちになってほしいと考えていますか。

(該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。)

1. 買い物しやすい、活気があふれる中心市街地をもつまち
2. きのこと、ぶどうなどの農産物の生産基盤が整ったまち
3. 市外とのアクセスが便利で、工業や商業などあらゆる産業の拠点となるまち
4. 地域の優れた資源を目的に、多くの観光客が訪れるまち
5. 鉄道やバスなどの公共交通を活用しながら、気軽に歩いて移動できるまち
6. 生活道路や公園などが充実した、住みやすいまち
7. 地震や大雨、大雪、火災などのあらゆる災害に強いまち
8. 自然と文化が調和した、里山などの風情のある景観が残るまち
9. 古くからの伝統に誇りをもちつつ、新たな文化の創造にも積極的なまち
10. その他 ()

3. 将来の住み替え(転居)に関する意向について、お尋ねします。

質問8 これまでの居住履歴を教えてください。

(該当する番号1つに○を付けてください。)

1. 中野市に生まれ、現在も市内に住んでいる (Uターン者を含む)
2. 県内の他の市町村から転入してきた
3. 県外から転入してきた
4. その他 ()

質問9 今後も中野市に住み続けたいと思いますか。

(該当する番号1つに○を付けてください。)

1. 現在の居住地に住み続けたい
2. 市内の利便性の高い中心市街地に住み替えたい
3. 市内の自然に恵まれた場所に住み替えたい
4. 県内の近隣市町村に転居したい
5. 県外に転居したい
6. その他 ()

質問 10 あなたが居住地を選択する際に重視することを教えてください。

(該当する番号を5つまで選んで○を付けてください。)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 緑が多く自然に恵まれている | 10. 幼稚園、学校、図書館などの教育施設が近い |
| 2. 景色が良い | 11. 老人ホーム、デイサービスなどの福祉施設が近い |
| 3. 買い物しやすい | 12. 道路、下水道などの都市基盤が整っている |
| 4. 通勤、通学しやすい | 13. 地震や大雨、大雪などの自然災害による被害が少ないと思われる |
| 5. 親、子どもの家に近い | 14. 事故や犯罪に強く、安全に暮らせる |
| 6. 鉄道やバスなどの公共交通が便利 | 15. 特にない |
| 7. 住宅の広さ、土地や住宅の価格、家賃などの条件が良い | 16. その他 |
| 8. 病院などの医療機関が近い | () |
| 9. 子どもを産み育てる環境が整っている | |

4. あなたの日常生活について、お尋ねします。

質問 11 通勤・通学や買い物、通院など、外出する際に最も利用する交通手段を教えてください。(該当する番号1つに○を付けてください。)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 徒歩・自転車 |
| 2. オートバイ (原付含む) |
| 3. 自家用車 |
| 4. 家族などによる送迎 |
| 5. 路線バス (ふれあいバス、乗り合いタクシー、お出かけタクシーを含む) |
| 6. 鉄道 (長野電鉄、JR飯山線) |
| 7. その他 () |

質問 12 現在のお住まい (自宅) から、徒歩や自転車で行ける範囲 (概ね 2 km 程度) にある施設を教えてください。(該当する番号をすべて選んで○を付けてください。)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 生鮮食品や日用生活品が揃う商業施設 | 7. 教育施設 (学校や図書館など) |
| 2. コンビニエンスストア | 8. 集会施設 (公民館、集会所など) |
| 3. 市庁舎、支所 | 9. 公共交通施設 (鉄道駅、バス停など) |
| 4. 福祉施設 (老人ホーム、デイサービスなど) | 10. 公園や広場、運動施設 |
| 5. 医療施設 (病院、診療所など) | 11. 金融機関 (銀行、郵便局など) |
| 6. 子育て支援施設 (保育園、児童館など) | 12. 災害時の避難場所や避難所 |

